

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正十五年二月五日(金曜日)午前十時
二十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 永田善三郎君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君

神部 爲藏君

工藤 鐵男君

三好榮次郎君

中島 守利君

堀切善兵衛君

佐々木文一君

星島 二郎君

本多貞次郎君

清水 長郷君

岡田 溫君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 濱口 雄幸君

農林大臣 早速 整爾君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏參與官 三木 武吉君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏書記官 佐野 正次君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

商工政務次官 桐瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ前日ニ引續イテ

委員會ヲ開キマス——堀切君

○堀切委員 昨日大藏大臣ガ、豫算委

員會及稅制委員會等ニ御出席ニナラ

ナケレバナラスト云フ御多忙ヲ察シマ

シテ、大藏大臣ニ對シマシテハ彼ノ程

度デ止メヤウト思ヒマシタガ、幸ヒ今

日御出デ下サイマシタカラ、更ニ二、

三箇條御尋致シタイト思ヒマス、一寸

申上ゲテ置キマスガ、私ノ尋ネタ要點ニ

對シテハ直ニ御答ヲ願ヒタイ、堀切君

ハ斯ウ思ッテ居ルノデハナイカト想像

シテ御答辯ヲナサルト、私ノ豫想セヌ

コトニ御答辯下サツテ、却テ有難迷惑デ

アリマス、一例ヲ申シマスレバ、通行稅

ヲ直接國稅ト仰シヤツタカラ、是ハ間接

國稅ト解スルノガ當然ト思ッテ居ル、然

ルニ堀切君ハ消費稅ト思フカト言ウテ

御反駁ヲナサレト云フガ如キコト

モ、私ノ考トハ矛盾ヲ致シマスカラ、サ

ウ云フコトノナイヤウニ、私ノ考ヲ付

度シテ御答辯下サルコトハ御止メヲ願

ヒタイ、ソコデ第一ニ改正案御提出ノ

際御説明ニナリマシタ中デ、一、二、三、

四、五ノ五ツニ別ケテ大體ノ目的ヲ御

示シニナツテ居リマスガ、其中デ重要產

業ニシテ今尙ホ發達ノ程度ニアルモ

ノ、及將來新ニ成立ノ見込アルモノニ

對シテハ、外國品ノ競爭ニ對シテ必要

ナル程度ノ保護ヲ與ヘルト云フコト

ガ書イテアリマスガ、其中デ私ノ不

議ニ感ズルノハ、保護關稅ヲ設ケル際

ニハ、先ツ普通一般ニ所謂幼稚產業ノ

如キモノ「インハント、インダストリ

」、教育的ノ觀念「イルチャーフンブス、

ソルト」言ッタヤウナコトデ存在ハシテ

居ル、併シ之ガ未ダ幼稚ノ狀態デア

カラ、之ガ成人シテ一人前ノ人間ニ育

チ上ルマデノ間、之ヲ保護シヤウト云

フ意味デ課ケテ居ルノガ普通デアリマ

ス、未ダ存在セザル產業ニ對シテ、生

ヌ前カラ保護ヲ加ヘルト云フノハ、保

護政策ノ限度ヲ超越シタルモノト思ヒ

マス、將來新ニ成立ノ見込アルモノ

ニ對シテトアリマスカラ、マダ現ニ生

レテ居ナイノデアアル、既ニ萌芽ヲ生ジ

テ居ルガ、併シ之ガ段々大キナ木ニ成長

シテ行ク其ノ途中、外國ノ荒キ風——詰

リ競争ニ侵サレテハイカヌカラ保護ス

ルト云フノガ普通デアアル、マダ生レヌ

前カラ保護ヲスルト云フノハ、無益ナ

保護ヲ加ヘラレルモノト感ジマスガ、

此新ニ成立ノ見込アル產業ヲ保護スル

ト云フ御趣意ハドウ云フ御趣意デア

マスカ、ソレヲ承リタイ

○濱口國務大臣 御答致シマス、將來

新ニ成立ノ見込アルモノニハ、必要ノ

程度ノ保護ヲ與ヘルコトニ致シタト云

フコトヲ説明致シテ置キマシタガ、一

レニ對シテノ御質問デアリマスガ、一

例ヲ申シマス、毛織物ノ一部デア

マス、御承知ノ通り此毛織物ハ毛織物

トシテ成立ッテ居リマスガ、ソレハ主ト

シテ厚地ノ方、即チ上等品デナイ方

成立ヲ致シテ居リマス、所デ薄地ノ方、

上等品ノ方ハマダ成立ヲ致シテ居ラヌ、

併シ毛織物全體トシテハ成立ヲシテ居

ルノデ、此度相當保護ヲ加ヘマスレバ、

全體トシテハ發達ヲシテ居ルガ、一部

マダ發達ノ程度ニ達シテ居ナイモノマ

デモ、是マデ成立ヲシテ居ルモノト同

様ニ成立ノ見込アルモノニ對シテハ、

相當ノ保護ヲ加ヘテモ宜カラウト、斯

ウ云フ趣意デアリマス、將來新ニ成立

ノ見込アルモノト申シマシテモ、絶對

ニ萌芽モ何モ無イト云フモノデアレ

バ、御説ノ通り保護ノ必要ハナイダラ

ウト思ヒマスガ、全體トシテハ成立ヲ

シテ居ルガ、其全部ノ中ノ一部ガマダ

成立ヲシテ居ナイモノガアル、サウ云

工業ニ付テハ相當ノ保護ヲ加ヘマス
レバ、既ニ成立ラシテ居ルモノト相立
ンデ是カラ成立スルヤウニナラウト云
フモノニ對シテ、相當ノ保護ヲ加ヘル
ガ宜カラウト云フ趣意デ出來テ居ルノ
ガ一例デアリマス、ソレカラ尙ホ一例
ヲ申シマス、事技術的關係ニナリマ
スカラ、私カラ内容ニ付テ詳細説明ス
ルダケノ知識ヲ持ッテ居リマセヌガ、例
ヘバ「アルミニウム」ト云フヤウナ事
業ニ付キマシテモ——是ハマダ成立ラ
致シテ居ラスト致シマシテモ、相當ノ
保護ヲ加ヘレバ確ニ成立ノ見込ガアル
ヤウナモノニ對シテハ、相當ニ關稅ヲ
或ハ据置クト云フヤウナ趣意デ出
來テ居ル、全然見込ノナイモノハ無論
此中ニハ入レテナイ、見込ノアルモノ
ダケヲ提案致シタ次第デアリマスカ
ラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○堀切委員 大キナ事業ノ中ノ一部分
ニシテ尙ホ成立シテ居ナイモノ、新ニ
成立スルダラウト云フモノニ對シテ保
護ヲ加ヘタ、或ハ「アルミニウム」ト
カ、何カ化學工 品等ニ例外的ニ之
ヲ御認メニナタト云フ御解釋ナラバ、
強テ是ハ追窮シマセヌ、唯原則ト致シ
マシテハ、マダ生レヌ先カラ保護シテ
行クト云フノハ、是ハ餘リニ餘計ナコ
トニ互ルト思フ、サウ云フモノニハ關稅
ヲ課スル、是ハ國內ニチットモ無イノ
デスカラ、全然外國ノ供給ヲ仰ガナケ
レバナラヌ、全然外國ノ供給ヲ仰グノ

デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ全部
國民ノ負擔ニナルヤウニシテモ宜シ
イ、而シテ其稅額モ大シタ多額ナモノ
ニハ上ラナイト思ヒマスカラ、其程度
ニ致シテ置キマス、次ニ矢張同ジ條項
ノ中ニ、外國ノ競争ニ對シ必要ナル程
度ノ保護ト云フノハ、甚ダ漠然タル言
葉デアリマシテ、是ガ所謂外國ノ競争
ニ對シテ、此競争ヲ防遏シ得ル程度、即
チ輸入品ヲ杜絶セシメテ、内地ノ産業
ヲ發達サセルト云フ御趣意デアリマス
カ、但シハ外國ノ競争ト——競争ガアッ
テモ尙且ツ國內ニ發達シ得ル程度、所
謂關稅政策上デ申ス「コンベチトリ」
競争の關稅、斯ウ云フ御趣意デ御設ケ
ニナタノデアリマスカ、之ヲ御尋シタ
イ

○濱口國務大臣 只今ノ御趣意ハ後段
ノ趣意デ出來テ居リマス、絕對ニ輸入
品ヲ防遏スルト云フ程度ニ出來テ居リ
マセヌ、ソレヲヤリマスト云フト、内地
ノ物價ハ急ニ騰ルト云フ虞ガアリマ
ス、ソレマデニ至リマセヌデモ、外國品
ト内地ノ市場ニ於テ競争ノ出來ル程度
ニヤッタ宜カラウト思フノデ、其尺度
デ稅率ヲ盛ッテアリマス
○堀切委員 只今ノ御答辯ニ満足致シ
マス、左様ニアルベキ筈ト思ヒマスカ
ラ、若シサウデ無カッタ意味ノ稅率ガ盛
ツテアッタナラバ、吾々ハ今後之ヲ或ハ
修正致スカモ知レヌ、ソレダケヲ申上
ゲテ置キマス、次ニ是ハ平年度ニ於テ

七百五十萬圓、次年度以降千九百三十
萬圓ノ增收ニナル、是ハドウ云フ計算
ノ方法ヲ御取リニナタノデアリマス
カ、此基礎數字ヲ御話願ヒタイノデア
リマスガ、只今御答辯ガ御困難ダラウ
ト思ヒマスカラ、數字ヲ表デ頂戴シテ
モ宜イト思ヒマス

○黑田政府委員 私カラ御答致シマス
ガ、關稅ノ收入ヲ出シマスルニ付キマ
シテ、十五年度ニ於キマシテハ十三年
度ノ輸入額ヲ基礎ト致シタノデアリマ
ス、御承知ノ通り十三年ハ一月カラ曆
年ヲ初メニ取リマシテ、ソレヲ年度ニ
直シタノデアリマスガ、曆年ヲ取ルト
一月カラ三月マズハ種々ノ關係ガアリ
マシテ、隨テソレ等ノ品物ノ輸入額ト
云フモノハ非常ニ多カッタノデ、ソレヲ
適當ニ直シマシテ、サウシテ之ヲ曆年ニ直
シテ見マスト云フト、丁度十三年ト十
四年トヲ比較シテ見マスト云フト、ソ
コニ輸入額ノ減少ガ相當ニアルノデア
リマスガ、約一割五分見當ノ減少ガア
リマスカラ、其減少ヲ見マシテ、平常ノ
輸入ノ數ヲ取リマシテ、ソレヲ以テ十
五年度ノ一應ノ——若シ改正ガ無カ
タトキニ於ケル輸入額ト見タノデア
リマス、ソレニ對シテ稅率ヲ乘ジマシ
テ、改正ニナリマシタ品物ニ對シテ稅
率ヲ盛ッテ見マシテ、主ナル品物ニ付キ
マシテ、ソレゾレ品物ニ依テ輸入額ノ
減少ノ程度ガ違フノデアリマスカラ、
違フヤウニ見ルコトガ至當ダラウト考
ヘルノデアリマスカラ、ソレヲ適當ニ
輸入減ヲ見タノデアリマス、ソレヲ詰
リ平年ニ於ケル輸入額ト見マシテ、若
シ稅率ヲ改正シナカッタ場合ノ稅額ト、
今申上ゲタヤウナ方法ヲ取ッテ致シマ
シタ稅額トヲ比較シマシテ、千九百三
十餘萬圓ノ增收ニナルト云フコトニ
ナッテ居ルノデアリマス、勿論其中デモ
主ナ——細カク申シマスレバ米トカ
云フモノハ、是ハ免稅ニナッテ居ルノデ
アリマスガ、免稅ニナラナイ稅率ヲ課
シテ居リマシタトキノ期間ヲ取リマシ
テ、更ニ算出ヲ致シテ居リマス、贅澤品
ニ付テハ是ハ別個ノ方法デ、今申上ゲ
タ方法ト離レテ、今回ハ手ヲ觸レテ居
リマセヌカラ、別個ノ意味カラ算出致
シテ、ソレ等ヲ加ヘテ出シテ居ルノデ
アリマス、勿論此稅率ノ改正ガアリマ
スレバ、漸次其輸入ガ減ッテ參ルト云フ
ヤウナ感モアリマスシ、或ハ中ニハ殆
ド驅逐スルモノモ出來テ來ヤウト思ヒ
マスガ、是ハ相當時ヲ經ルノデ、先ヅ關
稅收入ニ付テノ平年ト云フノハ非常ニ
ムヅカシイト思フノデアリマスガ、先
ヅ今申上ゲタヤウナ、近年ニ於ケル現
象トシテハ斯ウ云フ風ニ現ハレルト云
フ豫想ヲ以テ、先程申上ゲタヤウナ算
出ヲ取ッタノデアリマス、十五年度ニ付
テハ、是ハ改正ニナタ直グノ年デアリ
マスカラ、色々ナ事情ガアッテ、ドウシ
テモ稅率ノ上リマシタ當分ト云フモノ
ハ、自然輸入モ控エル、或ハ消費モ減ル

ト云フ現象モアラウト思ヒマス、又好マシイ事デハナイノデアリマスガ、幾分カ施行前ニ入ッテ來ルモノモアラウト思ヒマス、ソレ等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、平年度ト云フノガ、前ニ中上デマシタモノカラ算出シテ相當ノ額ヲ引キマシタモノデス、其結果七百五十餘萬圓ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ數字ニ付キマシテハ、別ニ拵ヘマシテ御目ニ懸ケマセウ

○濱口國務大臣 基準期間ノ物價ハ大體戰前ノ二倍ト思ッテ居リマス、端數ハ記憶致シマセヌガ、其基準ヲ百ト致シマスレバ、基準期間ノ標準ノ二百位ト記憶致シマス、倍テ其物價ガ將來如何ニ變化スルカ、戰前ノ二倍デ我國ノ物價ハ落付クモノト思ッテ居ルカト云フ御質問デアリマス、是非常ニムヅカシイ問題デアリマス、大體大正九年三月ノ大反動ガ參リマシテ、ソレガ漸次ニ落付イテ參ッタノガ大正十一年七月カラ十二年ノ六月マデ、即チ震災前ノ狀態、是ハ財界ノ總テノ形勢ガ落付イテ參ッタ次第デアリマス、其時代ノ平均ヲ取ッテ見ルト云フト、物價ガ二倍ニナッテ居ル、ソレカラ震災ガアリマシテ、又總テノ經濟狀態、殊ニ物價ノ狀態ニ於テモ大分變化ガアリマシタ、是ハ取

○加藤委員長 堀切君マダ澤山アリマスカ
○堀切委員 モウ澤山ハアリマセヌガ、斯ウ云フ重大ナ問題ハ論ゼザルヲ得マセヌ、物價ニ對スル前途ハ伺フコトガ出來ナカッタ、成程是ハムヅカシイ問題ガアル、ムヅカシイ問題デアレバコソ大藏大臣ニ御尋シタノデアリマス、簡單ナ問題ナラ外ノ大臣デモ宜シイ、然ラバ大藏大臣ハ此物價ハ最早此位デ宜イカラ——此位デ宜イトモ御考ニナラヌデセウカ、下ゲナケレバナラヌカラ、大ニ此物價ヲ下ゲヤウト云フ御努力ハ最早爲サラナイノデアリマス

銀行當座預金在高トノ合計二十九億二千五百萬圓デアッテ、アレダケノ好景氣ヲ沸騰セシメタルニ、昨年六月末調ニハ兩通貨合計三十四億五千二百萬圓デアッテ、五億二千七百萬圓増加セルニ拘ラズ不景氣ヲ啣ッ所以ノモノハ——即チ大正八年ノ狀態ノ勢ニシロ、濱口大藏大臣ハ極力之ヲ非難サレマシタ、通貨ヲ收縮シナケレバイカヌ、之ヲ財政經濟策ノ根本策トシテ論ゼラレタ、然ルニ只今御示ニナッテ居ルガ如ク、今日ノ通貨ノ現在高ハ近年ニ較ベテ五億以上膨脹シテ居ル、之ヲ此儘放置シテ置クノハドウ云フ譯デアアル、何故ニ之ヲ放置シテ、此根本ノ御論旨ヲ徹底的ニ行ハナイノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタ

○堀切委員 ドウゾ左様ニ願ヒマス、今ノ數字ノ表ヲ頂戴スルコトヲ要求シテ置キマス、ソレカラ大藏大臣ニ御伺致スノハ、昨日ハ私ハ爲替關係ヲ考慮ニ御入レニナッタ、一割爲替ガ——圓ガ下ッテ居ル、恢復シタ曉ニハ、是ハ一割ダケドウニカシナケレバナラヌ問題ニ逢著スル、斯様ニ考ヘタノデアリマスガ、之ニ對スル御答辯ハ、サウ云フ關係ハ計算ノ中ニ入レル譯ニハイカスト云フ御答辯デアリマシタカラ致方ガナイ、今日ハ物價ノ關係ヲ大藏大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居ルカ、之ヲ御伺シタイ、稅率表ノ基礎ハ大正十一年ノ四月カラ大正十二年ノ六月マデノ此指數ヲ基礎ニ取ラレタノデアリマス、即チ震災前ノ指數、是ハ今日ノ物價——只今

其期間ヲ取ル外ハナイト思ッタノデアリマス、然ラバ我國ノ物價ハ將來トモ戰前ノ二倍ト云フ所ガ適當デアアル、之ヲ調節スル意思ハナイカト云フ問題ニナリマス、是ハ大分ムヅカシイ問題ニナリマス、將來物價ノ變動等ヲ見マスレバ、ソレハ其時ニ當ッテ相當ニ考慮スルヨリ外ハアルマイト考ヘマス、又爲替ノ關係ハ、昨日申シマシタ通り基準期間ノ標準ハ非常ニ低イガ稍安定シテ居ル、物價ノ方モ其安定ヲ捉ヘテ基準ニスルト云フノガ、今日ニ於テ出

○濱口國務大臣 是ハ大分大キナ問題ニナッテ來マシタガ、物價調節論ト通貨收縮論ノ一般的ニ付テノ問題ト思ヒマス、成ベク要點ダケヲ簡單ニ申ス積リデアリマス、問題ガ重大デアリマスルダケ多少ノ時間ヲ要スルト思ヒマスガ、豫メ御承知ヲ願ヒマス（堀切委員「結構デス」ト呼フ）此關稅ノ定率ヲ改定スル時ニ當ッテ、物價ノ基準ヲ調査ノ根本トセンケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、然ラバ何時ノ物價ヲ以テ基準トスベキカト云フ問題ニナリマス、ソレニ付テハ將來ヲ見越ス譯ニハ參リマセヌ、隨テ過去ノ或ル期間マデ、其期間タルヤ先ヅ大體ノ狀況ガ落付イタト

來得ベキ一番適當ナ方法デアルト考ヘマシタカラ、其期間ヲ取ッテ譯デアリマスカ
○堀切委員 モウ澤山ハアリマセヌガ、斯ウ云フ重大ナ問題ハ論ゼザルヲ得マセヌ、物價ニ對スル前途ハ伺フコトガ出來ナカッタ、成程是ハムヅカシイ問題ガアル、ムヅカシイ問題デアレバコソ大藏大臣ニ御尋シタノデアリマス、簡單ナ問題ナラ外ノ大臣デモ宜シイ、然ラバ大藏大臣ハ此物價ハ最早此位デ宜イカラ——此位デ宜イトモ御考ニナラヌデセウカ、下ゲナケレバナラヌカラ、大ニ此物價ヲ下ゲヤウト云フ御努力ハ最早爲サラナイノデアリマス

ト云フ現象モアラウト思ヒマス、又好マシイ事デハナイノデアリマスガ、幾分カ施行前ニ入ッテ來ルモノモアラウト思ヒマス、ソレ等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、平年度ト云フノガ、前ニ中上デマシタモノカラ算出シテ相當ノ額ヲ引キマシタモノデス、其結果七百五十餘萬圓ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ數字ニ付キマシテハ、別ニ拵ヘマシテ御目ニ懸ケマセウ

○堀切委員 ドウゾ左様ニ願ヒマス、今ノ數字ノ表ヲ頂戴スルコトヲ要求シテ置キマス、ソレカラ大藏大臣ニ御伺致スノハ、昨日ハ私ハ爲替關係ヲ考慮ニ御入レニナッタ、一割爲替ガ——圓ガ下ッテ居ル、恢復シタ曉ニハ、是ハ一割ダケドウニカシナケレバナラヌ問題ニ逢著スル、斯様ニ考ヘタノデアリマスガ、之ニ對スル御答辯ハ、サウ云フ關係ハ計算ノ中ニ入レル譯ニハイカスト云フ御答辯デアリマシタカラ致方ガナイ、今日ハ物價ノ關係ヲ大藏大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居ルカ、之ヲ御伺シタイ、稅率表ノ基礎ハ大正十一年ノ四月カラ大正十二年ノ六月マデノ此指數ヲ基礎ニ取ラレタノデアリマス、即チ震災前ノ指數、是ハ今日ノ物價——只今

其期間ヲ取ル外ハナイト思ッタノデアリマス、然ラバ我國ノ物價ハ將來トモ戰前ノ二倍ト云フ所ガ適當デアアル、之ヲ調節スル意思ハナイカト云フ問題ニナリマス、是ハ大分ムヅカシイ問題ニナリマス、將來物價ノ變動等ヲ見マスレバ、ソレハ其時ニ當ッテ相當ニ考慮スルヨリ外ハアルマイト考ヘマス、又爲替ノ關係ハ、昨日申シマシタ通り基準期間ノ標準ハ非常ニ低イガ稍安定シテ居ル、物價ノ方モ其安定ヲ捉ヘテ基準ニスルト云フノガ、今日ニ於テ出

來得ベキ一番適當ナ方法デアルト考ヘマシタカラ、其期間ヲ取ッテ譯デアリマスカ
○堀切委員 モウ澤山ハアリマセヌガ、斯ウ云フ重大ナ問題ハ論ゼザルヲ得マセヌ、物價ニ對スル前途ハ伺フコトガ出來ナカッタ、成程是ハムヅカシイ問題ガアル、ムヅカシイ問題デアレバコソ大藏大臣ニ御尋シタノデアリマス、簡單ナ問題ナラ外ノ大臣デモ宜シイ、然ラバ大藏大臣ハ此物價ハ最早此位デ宜イカラ——此位デ宜イトモ御考ニナラヌデセウカ、下ゲナケレバナラヌカラ、大ニ此物價ヲ下ゲヤウト云フ御努力ハ最早爲サラナイノデアリマス

思フ所ノ期間、其期間ニ於ケル所ノ物價ノ基準ヲ取りマシテ、ソレニ依テ率ノ改正案ヲ出スト云フ手段ニ出タノデアリマス、其期間ハ即チ大正十一年ノ七月カラ十二年ノ六月デアッタト云フコトヲ申上ゲマシタ、其時ニ物價ノ將來ヲドウ見ルカト云フコトデアリマシタカラ、物價ノ將來ヲ見ルハ非常ニ困難デアル、戰前ノ二倍ト云フコトデ宜シイカ、斯ウ云フコトニナリマス、併シサウハ申シマセヌ、勿論我國ノ物價ハ國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フ點カラ考ヘマスレバ、合理的ノ方法ニ依テ、殊ニ弊害ノナイ調節ニ依テ是ガ安定ニ努メルコトハ勿論デアリマス、政府モ其方針ニ依テ調節ニ努メテ居ルデアリマス、是ニ於テ堀切君ノ御質問タル要點ニナッテ居リマスガ、即チ通貨ノ收縮問題デアリマス、私ガ在野黨ノ當時ニ於テ物價調節ノ根本策ハ通貨ノ收縮ニ依ルト云フコトヲ申シタコトハ正ニ其通リデアリマス、全ク相違アリマセヌ、然ラバ其説ヲ今日モ持ッテ居ルナラバ何故ニ通貨ノ收縮ヲシナイカ、現ニ最近ノ通貨ハ、私共ガ通貨ノ收縮ヲ唱ヘタ當時ヨリモ却テ數字ニ於テ多クナッテ居ルノデハナイカ、然ルニモ拘ラズ其通貨ノ收縮ニ努メヌト云フノハドウ云フ譯デアルカ、斯ウ云フ意味ノ御質問ト承リマシタ、ソレニ付テ私ハ自分ノ所見ヲ申上ゲテ御答ト致シタイト思ヒマス、私共ガ在野黨トシテ、物價調節ノ

主ナル方策ト致シテ通貨ノ收縮論ヲ唱ヘタコトハ、戰時カラ戰後ニ互テ日本ノ外國貿易ハ累年輸出超過ヲ重ネテ、其金額ハ四年間ニ於テ十四億圓ノ多キニ達シタ、其結果トシテ貿易ノ差額ニ相當スル正貨ガ、外國カラ滔々トシテ内地ノ經濟界ニ流入ヲスルト云フ狀態デアッタノデアリマス、其狀態ヲ自然ニ放任ヲシテ置キマスト通貨ノ膨脹ヲ來シ、通貨ノ膨脹ガ來マスレバ一般ノ物價ノ騰貴トナル、固ヨリ物價ノ騰貴ト云フコトハ種々ノ原因ガアリマス、單リ通貨ノ膨脹ノミデハアリマセヌ、需要供給ノ關係等モアリマスガ、普遍的ノ物價騰貴ハ通貨ノ膨脹ガ其主因ヲ成スモノデアアル、ソレ故ニ其時ニ當ッテ私共唱ヘマシタコトハ、貿易ノ出超カラ生ズル所ノ正貨ノ流入、通貨ノ膨脹ト云フモノヲ其儘ニ放任セズシテ、之ヲ未然ニ豫防スル、即チ通貨ノ膨脹抑制論デアアル、通貨ノ收縮ト申シマスト直接ニナリマスガ、通貨ノ膨脹抑制論ト云フノガ當時ノ議論デアッタノデアリマス、其通貨ノ膨脹ヲ抑制スルニハドウ云フ方法ガアルカト云フト、其時ニ唱ヘマシタノハ、第一ニ海外放資ヲ唱ヘタ、貿易ノ出超ノ結果内地ニ入ッテ來テ通貨ノ膨脹ヲ招カントスル所ノ其正貨ヲ、未ダ内地ニ入ラザルニ先ダッテ之ヲ外國ニ放資ヲスルト云フコトヲ獎勵スベキデアアル、但シ内外ノ金利ニ開キガアルニ依テ、内地ヘ持ッテ來レバ高

利デ運轉ノ出來ルモノヲ、海外ヘ放資ヲ致シテ低利ニ甘ンズル、是ハ普通ノ事業家、資本家トシテ損失デアアル、ソレ故ニ幾ラ海外放資ヲ獎勵シテモ、其金利ノ開キヲ政府ガ補償シテヤラヌ限りハ成功スルモノデハナイト云フ議論デアッタ、其時ニ當ッテ私共ハ利鞘ノ損失ハ、大局上カラ政府ガ或ル方法ニ依テ補償スルモ差支ナイデハナイカト云フ議論マデ唱ヘタ、又利鞘ノ開キノミデハナイ、爲替ノ危險ヲ胃スコトニナル、其爲替ノ變動ノ危險ニ對シテハ、政府ガ或ル方法ニ依テ補償シテヤッテモ宜シイデハナイカ、ソレ程マデニ心配ヲ致シテ海外ノ放資ヲ獎勵スベキデアルト云フコトヲ主トシテ唱ヘマシタ、第二ニ唱ヘマシタノハ、日本銀行ノ金利ノ引上ノ問題デアッタノデアリマス、然ルニ其當時私共ノ主張ハ時ノ政府ノ容ル、所トナラズ、海外ノ放資モ行ハレマセヌ、又日本銀行ノ金利ノ引上モ行ハレマシタガ其時期ハ餘程遅レテ居ッタノデアリマス、適當ノ時期ニ於ケル引上ガ不幸ニシテ行ハレナカッタノデアリマス、其結果トシテ通貨ハ果セル膨脹ヲ致シ、其膨脹ノ結果トシテ物價ノ騰貴ヲ致シテ、國民ノ生活ヲ脅カスト云フ結果ヲ惹起シタノデアリマス、吾ガ通貨ノ膨脹抑制ノ爲ニ海外ノ放資ヲ唱ヘタ時ノ事情ハ正ニ其通りデアッタノデアリマス、ソレハ大正八年、九年頃デアッタト記憶致シマス、其説ガ容レ

ラレズシテ通貨ハ膨脹シテシマッタ、其通貨膨脹ノ結果ノミデハアリマセヌガ、主トシテ通貨膨脹ノ結果公私經濟ノ膨脹トナッタノデアリマス、公ノ經濟トハ政府ノ財政デアアル、私ノ經濟トハ國民ノ經濟デアアル、殊ニ事業界、經濟界全體ノ膨脹トナッタノデアリマス、ソコデ貿易ノ出超ノ結果、海外カラ入ッテ來ル正貨ヲ入ッテ來ナイヤウニ外國ヘ放資シテ置カウト云フノデアッタ、其政策ハ最早唱ヘルコトガ出來ナクナッタ、ソコデ大正十年ノ秋ト覺エテ居リマスガ、憲政會ハ物價調節ノ方策ヲ政務調査會デ決議ヲ致シテ、私共ソレヲ承認致シテ天下ニ發表致シマシタ、其物價調節ノ方策ニ依リマスレバ、大體ニ於テ通貨ノ膨脹ト云フコトハ、其未ダ膨脹セザルニ先ダッテ之ヲ豫防スルコトハ比較的易イノデアアルガ、一度膨脹シタル通貨ヲ積極的ニ進ンデ收縮セントスルコトハ、非常ニ困難ナ仕事デアアル、其膨脹シタル通貨ト云フモノハ既ニ政府ノ財政ニ喰入ッタ、國民ノ私經濟ニ喰入ッテシマッタノデアリマス、六千萬國民ノ懷中ニ悉ク行渡ッテシマッタ、最早海外放資ヲ以テ抑ヘル譯ニハ行カナイ、日本銀行ノ金利引上デ收縮スル譯ニ行カナイ、然ラバ其當時ノ狀態ニ於テ物價調節ノ方策ハドウ云フ方法デアアルカト云フコトヲ數箇條ニ互ッテ發表致シマシタ、其時ニ第一ニ舉ゲマシタ所ノ方策ハ、政府ノ財政ノ整理緊縮ト

云フコトヲ唱ヘマシタ、第二ニハ國民生活ノ必需品ニ對スル課税ノ減免ト云フコトヲ唱ヘマシタ、第三ニハ廣ク國民全體ニ向テ勤儉力行、消費ノ節約ヲ獎勵スベキデアルト云フコトヲ唱ヘマシタ、其方法ト致シマシテハ貯蓄債券ノ發行モ其一デアルト云フコトヲ附加ヘテ發表致シマシタ、其他ニ尙ホ數箇條ノモノガアリマシタガ、是ハ比較的輕イ問題、枝葉末節デアッタガ、主タル物價調節策ハ即チ財政ノ整理緊縮ト、國民ノ生活必需品ノ課税ノ減免ト、國民ノ勤儉力行、消費節約ノ獎勵、其方法トシテハ貯蓄債券ノ發行モ亦可ナラン、ソレガ私共ノ其當時ノ經濟狀態カラ唱ヘマシタ所ノ物價調節策デアッタデアリマス、而シテ其時ニ申シマシタコトヲ、此度私共ハ此内閣ニ依テ實行致シテ居ル積リデアリマス、少シモ前言ヲ食ンデ居ナイノデアリマス、即チ其程度ニ付テハ彼此ノ御批評モアラウト考ヘマスガ、是ハ政友會、當時ノ革新俱樂部、憲政會、此三政黨デ組織致シテ居リマシタ聯立内閣ニ於テ財政ノ整理緊縮ヲヤツタ、特別會計、一般會計ヲ通算致シマシテ、二億五千餘萬圓ノ整理緊縮ヲヤツタ、ソレト同時ニ國民ニ向テ廣ク組織的ニ勤儉力行、貯蓄獎勵ノ宣傳ヲ行ヒマシタ、是ハ幸ニ相當ノ效果ヲ擧ゲテ居ルト私ハ確信致シテ居リマス、其次ニ生活ノ必需品ニ對スル課税ノ減免、是ハ不幸ニ致シテ大正十

四年度ノ豫算ニ於テハ實行スル運ビニ至リマセヌデアリマシタガ、此度ノ稅制整理案ニ於テ其通りノコトヲ實行致シテ居リマス、少シモ前言ト違ッテ居ラヌノデアリマス、申シタ通りノコトヲ實行致シテ居ル、唯通貨收縮論ヲ會テ唱ヘタカラ、今日モ同ジク通貨收縮ヲ實行シナケレバナラスト云フコトハ、餘リニ是ハ物ノ考方ガ單純デアルト思ヒマス、其時ノ經濟狀態ニ依テ處スル方法ハ自ラ異ナラザルヲ得ヌト思ヒマス、而シテ只今堀切君ノ御質疑ニナリマシタ兌換券ノ發行高、通貨ノ流通高ハ、大正八九年ノ當時ニ比シテ、却テ現在ガ膨脹シテ居ル是ハサウ云フ數字ニナッテ居ルカト思ヒマス、何故ニ然ルカ、自ラ其理由ガアルト思ヒマス、今日ノ兌換券ノ發行高ガ増加ヲ致シテ居リマスノハドウ云フ譯デアルカ、私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、此通貨ト云フモノガ固定ヲ致シテ居ル、資本ノ固定デアアル、流通シテ居ナイ、何故固定ヲシタカ、即チ戰時カラ戰後ニ互ッテ、好況ノ際ニ於テ官民共ニ其節度ヲ誤ツタ結果トシテ、將來斯ウ云フコトヲヤツテ居ルト恐ルベキ反動ガ來ルト云フコトヲ考ヘズシテ、其時ノ景氣ノ好カタノニ乗ジテ濫ニ放漫ナル所ノ事業ノ經營ヲ行ツタ、官民共ニ然リト私ハ思ヒマス、其所ニ於テ大反動ニ果シテ際會ヲ致シタ、反動ニ際會ヲ致シテ、其固定シテ居ル資金ヲ引拔カ

ウト致シテモ最早引拔ク譯ニ參ラヌ、資金ノ固定ハ依然トシテ殘ッテ居ルノデアリマス、今日ニ至ルマデ——ソレ故ニ民間事業界ニ於テ事業資金ノ缺乏ヲ訴ヘテ居ルニ拘ラズ、通貨ノ發行高ガ多イノハ、大部分ガ固定シテ居ル結果デアリマス、其固定シテ居ルモノハ、之ヲ浮動セシムルニハ整理緊縮ノ方針ノ遂行ニ依テ財界ノ整理ヲ行フ、財界ノ整理ガ進行スルニ從ッテ固定シタモノガ浮イテ來ル、ソレガ流通ニナルト思ヒマス、今日ハソレヲ浮動セシムルト云フ道程ニ入ッテ居ル所デアリマス、未ダ完全ニハ參リマセヌケレドモ——要スルニ統計上ニ現ハレタ通貨ノ發行高ノ多イト云フコトハ、其用途ガ前トハ餘程違ッテ居ル即チ前ニ流通通貨デアッタモノガ、今日ハ固定通貨ニナッテ居ル、ソレ故ニ之ヲ收縮スルコトハ困難デアリマス、困難デアリマスガ、私共ノ執ッテ居ル所ノ物價調節ノ方策ハ、大正十年頃ニ唱ヘタ所ト少シモ變ッテ居リマセヌ、其當時ノ事ヲ着々實行シテ居ル積リデアリマス、其程度ニ於キマシテ世間ノ議論批評ハ自カラ別問題デアリマスガ、私共ノ心持デハ大正十年頃ニ主張致シマシタ方策ヲ大體ニ於テ實行ヲ致シタ、又實行ヲ致サントシテ居ルコトヲ申上ゲマス

○加藤委員長 此際一言御注意ヲ申上ゲテ置キタイ、皆サンノ質疑ノ通告ノ數ガ多ウゴザイマス、而シテ大藏大臣ニ主トシテ質問ナサレタイト云フ御通告デアリマス、大臣ハ今日ハ午後カラ稅制調査會ノ方ニ行カルト云フコトデアリマスカラ、今カラ一時間餘リホカアリマセヌ、皆様ノ御満足ヲナサルヤウニ致シタイト思ヒマスカラ、ドウゾ質問ハ成ベク要領ヲ得ルヤウニ簡潔ニ御願シタイ

○堀切委員 只今ノ御注意ハ之ヲ諒ト致シマスガ、私カラ申上ゲテ置カナケレバナラヌノハ、四十三年ノ改正ノ當時加藤君ハ雄辯ヲ振ハレタコトヲ記憶致シマス、數多キ委員會ヲ開イテ居ル、隨テ十三年振リデ改正ヲスル、殊ニ各方面ニ重大ナル影響ヲ持チマス、殊ニ農林、商工、大藏、之ヲ總括シテ居ル此ウ云フ各方面ニ大關係ヲ持ッテ居ル此問題デアリマスカラ、吾々ハ質問ヲ致スニシテモ餘程慎重ニ致サナケレバナラス、併シ大藏大臣ノ御忙シイコトハ十分諒ト致シマスカラ十分短縮シ申上ゲル、無暗ニ委員長ガ御急ギニナッテモ仕方ガナイト云フコトヲ申上ゲル——只今ノ御答辯ハ、私共ハ現在何故ニ收縮ナサラヌカ、之ヲ主トシテ御尋致シタ所、從來ノ經過ヲ長イコト申サレタ、私カラ申シテ置キタイ、通貨膨脹抑制論デアッテ、之ヲ抑制スル爲ニ海外ニ投資ガ第一ニ必要ダ、續イテハ日銀ノ利上ヲ主張致シタ所ガ、政府ノ容レル所ガアッタカト思ヒマス、現ニ西原借款ノ如キ是レデアリマス、露西亞ニ對スル貸

付ヲシテ一文モ元金モ利子モ取レナイ、斯ウ云フノハ即チ當時ノ輕佻浮薄ナル考ヲ持ッテ居ッタ政府當局ガ海外投資ヲヤッタ、或ル程度マデ私共ハアノヤウナモノニハ反對致スノデアリマス、海外投資ヲヤッタ寺内閣ノ大藏大臣、ハ日銀利上モ二回ヤッタノデアリマス、ソレカラ過去ノ事ハソレデ宜シイ、段々ト濱口大藏大臣ノ御考モ緩和サレタ、或ハ一面カラ言フト是ハ進歩致シタ、通貨收縮ノ一點張デナク、段々ト具體的ノ手段方法ニ移ラレタト云フコトハ私モ之ヲ認メテ居リマス、然ルニ現在此通貨ガ大正八九年當時ニ比シテ却テ膨脹致シテ居ル、是ハ斯ウ云フ譯ダカラ收縮ガ出來ナイノダト一番最後ニ御述ニナツタ點ニ於テ疑念ヲ懷キ、且不滿ヲ懷ク、現在何故ニ收縮ガ出來ヌカト云ヘバ、是ハ通貨ガ固定シテ居ルカラダ、斯様ニ申サレタ、即チ流通通貨ガ固定通貨ニナツタ、斯ウ云フ御話、私ハ固定通貨ト云フ言葉ヲ今日初メテ濱口大藏大臣ヨリ承ハル、通貨ト云フモノハ固定シテ居ルモノヲ通貨ト云フノデナイ、流通シテ居ルカラ之ガ通貨デアリマス、例ヘバ會社ヲ拵ヘテ機械ヲ買ッタ、是ハ資本ガ固定スル、機械ト云フモノニ資本ガ固定シテシマフガ、代金ハ他ノ人ニ轉々流通シテ居ルノデアリス、其會社デ原料ヲ買ッタ、原料ハ石炭デアレバ燃シテシマヒマスケレドモ、其代金ハ矢張り手カラ手ニ流通致シテ居ル

ノデアリマス、斯ノ如ク流通シテ居ルノガ通貨、然ルニ濱口大藏大臣ハ流通シテ居ル通貨ト資本トヲ混同サレタ、成程資本ハ流動資本モアリ固定資本モアルノデアリマス、然ルニ此通貨ト資本トノ區別ヲ御辨ヘガナク、今日通貨ガ膨脹シテ居ルノハ、是ハ通貨ガ固定シテ居ルノダト云フコトハ、昨日モ申上ゲタ、甚ダ失禮ダガ濱口君ノ詭辯ト申上ゲル外ハアリマセヌ、機械ハ固定シテ、通貨ハ轉々流通シテ居ル、之ガ即チ通貨デアリマス、此通貨ガ何故ニ收縮スルコトガ出來マセヌカ、斯様ナ質問デアリマス

○濱口國務大臣 私ハ此場合、堀切君ト言葉ノ末ニ付テ餘リ爭フコトハ好マナイ(堀切委員「ソレガ根本問題デス」ト呼フ)固定資本トカ固定通貨トカ云フコトヲ爭フノハ詰ラヌコト、思ヒマシマス、ケレドモ私ノ申シマスコトハ極メテ……(此時發言スル者多シ)

○加藤委員長 私語ヲ禁ジマス

○濱口國務大臣(續) 極メテ明カデアッテ堀切君ノ御了解ヲ得ルコトガ出來ルト思ヒマス、例ヘバ日本銀行カラ特殊銀行カ又ハ普通銀行ニ融通ヲ致スト、其銀行ハ又取引先ニ融通ヲスル、然ルニ其取引先ガ經濟界ノ打撃ヲ受ケテ、ドウシテモ其借金ヲ返スコトガ出來ナイト云フト、一遍發行シタ兌換券ハ依然トシテ殘ッテ居リマス、其上ニ流通スベキ通貨ヲ發行シテ居リマスカラ

二重ニナツテ居リマス、ソレヲドウシテモ回收スルコトガ困難ナルノデアリ、勿論固定資本ト言ヘバ機械、器具、建物等デアリマスガ、私ノ申ス固定ト云フ意味ハ、固定資本ノ固定ト云フコト、ハ違フノデアリマシテ、商業資金ニ融通シタモノデモ、其回收ガ出來ナイナラバ矢張り固定デス、何モ建物機械、器具ニナツタモノデナケレバ固定ト言ヘナイト云フモノデハナイト思ヒマス、兎ニ角其意味ニ於テ資金ガ非常ニ固定シテ居リマス、是ハ堀切君モ御認メコト、思ヒマス、日本銀行デハ融通シタ資金ノ回收ガ出來ナイ上ニ、要ルモノハ要ルノデアリマスカラ、通貨ガ殖エル、ソレヲ通貨ノ數量ガ殖エテ居ルコトヲ結論ニ置イテ御述ニナツテ、ナゼ之ヲ收縮シナイカト仰シタルノハ無理デアリマス、併シ私モ將來絕對ニ通貨收縮ヲシナイトハ申シマセヌガ、唯一概ニ收縮々々ト申スコトハ出來ナイト思フノデアリマシテ、收縮ノ必要ガ起レバ勿論其手段ヲ執ルモノデアリマス、唯ソレガ爲ニ財界一般ニ惡影響ヲ及ボスコトハ慎マナケレバナラスト思フノデアリマス

○堀切委員 銀行カラ金ヲ借りテ工場ヲ建テ機械ヲ据付ケレバ、其借リタ金ハ機械代トカ建築代トナツテ拂ハレテ世ノ中ニ流通スルコトハ前ニ申シマシタ、銀行カラ金ヲ借りテ其金ヲ誰ガ金庫ノ中ニシマツテ置キマセウカ、若シ土

ノ中ニデモシマツテ置ケバ固定デアリマセウカ、借リタ金ハ流通シテ居リマス、唯資本ガ固定スルノデアリマス、此區別ニ對シテ大藏大臣ノ御答ハ飽迄不滿ヲ感ズノデアリマス、但シ通貨收縮ト云フコトハ、過去ニ於テハ御唱ヘニナツタコト、今日御考ヘニナツテ居ル濱口君ノ御考トハ餘程違ヒノアルコトヲ認メマス、是ハ私ハ濱口君ノ爲ニモ、日本ノ爲ニモ慶賀致シマスガ、尙ホ今後一段ノ御進歩ヲナサレバ更ニ喜ビニ堪ヘヌト思ヒマス、委員長ノ御注意モアリマスカラ私ノ質問ハ是デ止メマス

○加藤委員長 岩切君

○岩切委員 私ハ先日本會議ニ於キマシテモ質問致シマシテ、大體多ク言フコトハナイノデアリマスガ、極メテ簡單ナ點ヲ二三大藏大臣ニ御尋ヲ致シタインデアリマス、其第一ハ關稅收入ノ問題デアリマスガ、是ハ昨日モ本委員會ニ於キマシテ、關稅ノ收入ノ多イ少イト云フ議論ガ堀切君トノ間ニ取交サレテ居ッタノデアリマスガ、私ハ多少見解ヲ異ニシタ點カラ大藏大臣ニ御尋ヲシタイト考ヘマス、ソレハ關稅政策ト云フモノノ根本趣旨カラ考ヘテ見テ、關稅收入ト云フモノガ如何ニ財政計畫ノ上ニ取扱ハルベキモノデアルカト云フ點デアリマス、ソレハ此改革ニ依レバ、本年度ハ七百五十萬圓、平年度ニ於テ約一千九百萬圓ト云フモノガ増徴サレルト云フ御説明デアリマス、尙ホ豫

算ノ綱要ノ中ニモ、税制整理ニ關スル
平年度ノ歳入ノ不足額ニ對シテハ、關
稅改正ノ結果増徴サレハ平年度ノ收入
ヲ以テ之ヲ補填スルコト云フコトガ認メ
テアリマス、ソコデ此關稅收入ト云フ
モノガ殆ド恆久財源トシテ此財政計畫
ノ中ニ認メラレテアルガ如ク私ハ考ヘ
ルノデアリマス、ソコデ關稅政策ノ根
本問題カラ考ヘマシテ、是ダケノ六百
何十種ト云フ——モットアリマス、此
表ノ中ニアルモノハ大體殆ド保護政策
ト云フ立場カラ計畫サレタモノデア
ルト思フノデアリマス、或ハ通關報復ノ
意味カラ規定サレタモノモアリマス
レドモ、殆ド大部分ハ國家産業ヲ保護
スルコト云フ立場カラ關稅ハ決メラレ
ルモノデアル、故ニモット是ハ進ンデ言
ハバ外國品ハ成ベク這入ラナイヤウニ
内地品デ之ヲ補ッテ行クコトガ出來
ルト云フノガ根本政策デナイカト斯ウ
考ヘマス、サウ云フ風ニ保護政策ト云
フモノガ徹底シテ行ケバ、漸次外國カ
ラ這入ル品物ハ少クナル、即チ大藏大
臣ガ平素言ハレル通り、輸出ヲ獎勵
シテ輸入ヲ防遏スルコト云フ結論ニ到
達シテ來ナケレバ何ニモナラナイ、若
シ輸入ヲ防遏シテ輸出ヲ獎勵シテ行
クコト云フ結果ヲ見ルニ至ツタナラ
バ、關稅收入ガ幾ラカ減ルト云フコト
ガ當然デハナイカ、若シ之ヲ何時マ
デモ減ラナイモノトシテ之ヲ考ヘ
ルト云フコトハ、私ガ昨日來申上
ゲタ如ク唯關稅其物ヲ考ヘ

テ一方ノ内地産業ノ獎勵發達ト云
フコトニ十分ニ力ヲ用キナイガ爲ニ、
結局ハ收入主義ニ墮シテシマフ結果
ニナリハシナイカ、斯ク考ヘマス、
何時マデモ之ヲ恆久財源トシテ平
年度ノ財政計畫ヲ立テルノハ如何
ナモノデアリマス、此點ヲ私ハ大
藏大臣ニ御尋ヲ致シマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ハ
如何ニモ御尤ト承リマシタ、然ル
所此關稅率ノ改正ニ付キマシテハ
單リ此産業ノ保護ト云フノミデモ
アリマセヌ、其他ニ於テ從量稅從
價稅ノ不權衡ヲ矯正スルコト、ソ
レガ爲ニ收入ノ自然ニ増シテ來
ルマシモノモ大分アルノデアリ
マス、其方內譯ハ持ッテ居リマ
セヌケレドモ、其方カラ來ル增收
モ大分アルト云フコトヲ豫メ御承
知ヲ願ヒタイ、ソレカラ産業ノ保
護ト云フ主義カラ出テ來タ所ノ改
正案ノ終局ノ目的ハ、内地ノ産業
ガ漸次發達スルニ伴レテ輸入ガ減
少シテ、結局ハ内地ノ産業ガ十分
ニ發達スレバ、輸入品ハ殆ド無ク
ナルニ違ヒハナイ、サウスルト云
フコト此關稅改正ニ依テ生ズル増
收一千九百萬ト云フモノハ、是ハ必
ズシモ恆久的ノ財源ト見ルニハ行
カヌト云フ疑ヲ持ッテ御質問デ
ス、如何ニモ御尤デアリマス、先
刻堀切君ノ御質問ニ對シテ御答
致シマシタ通り、重要産業ニ對ス
ル保護率ヲ設ケマシタ其保護ノ程
度ハ、外國品ノ輸入ヲ防遏スル
コト云フ目的ニ出タモノデ

ナクシテ、詰リ外國品ガ這入
ッテ來テ内地ノ物ガソレト正當
ナ競争ヲシテ、先ヅ堪ヘ得ルト云
フ最小限度ノ率ヲ目標ニシテ率ヲ
盛ツテアリマス、外國品ガ俄
ニ輸入減退スルコト云フコトモナ
ケレバ、輸入ガ杜絶スルコト云フ
コトモナイト考ヘマス、併ナガラ
將來ノ遠イ事ヲ考ヘマス、自ラサ
ウ云フ傾ガ生ゼザルヲ得ヌト思
ヒマス、其處マデ行カナケレバ究
極ノ目的ハ達セラレヌ譯デアリ
マス、サウ云フ事ニナルト思ヒ
マス、併シソレマデハ餘程ノ年月
ヲ要スルト思ヒマス、即チ内地
産業ガ徐々ニ發達シテ、サウシ
テ外國品トノ競争ニ堪ヘルヤウ
ニナル、ソレニ從ッテ自ラ外國
品ノ輸入ガ徐々ニ減ッテ來ル、
斯ウ云フコトヲ考ヘマス、爰五
六年、七八年デ關稅ノ增收ノ千
九百萬圓ト云フモノガ減ルト云
フ程ノ結果ヲ現スニ至ラヌト思
ヒマス、將來其推移ヲ見マシテ、
關稅ノ增收ガ減ルト云フヤウナ
事デアリマスナラバ、ソレニ從
ッテ又財政計畫ヲ立テナケレバ
ナラヌト思ヒマス、此數年間
デサウ云フ事ハ恐ラクハ起ラヌ
デアラウト云フ見込デ居ル譯
デアリマス

○岩切委員 只今大藏大臣ノ御
答辯ヲ承リマシタガ、將來ノ究
極ノ目的トシテハ私ノ言フコト
モ是認スルガ、爰數年間、或ハ
近キ將來ニ於テサウ云フ事實
ハ來ナイデアラウト云フ御答
デアリマシタ、是ハ私ハ御尤ナ
事ト思ヒマス、併シ此尤ナ事
ガ、我國ノ産業政策ヲ如何

ニスルカト云フ矢張根本問題
デアアル、何トナレバ我國ノ今
日ノ人口ノ増加、是ハ度々問題
ニナリマス、扱此原料品ノ少
イト云フ國ノ狀態ニ於キマシ
テハ、ドウシテモ我が國內産業
ノミデ我ガ國民ガ生キテ行ク
コト云フコトハ不可能ナル國
家ノ立場ガ、能デアル、此不
可能ナル國家ノ立場ガ、結局
關稅收入ト云フモノヲ生
ンデ來ルノデアアル、ソコデ更
ニ茲ニ大藏大臣ニ御尋ヲシ
ナケレバナラヌコトハ、斯ノ
如ク人間ガ殖エテ來テ、一番
大事ナ政治ノ上ノ目的、殊ニ
政治家ノ眼目トシナケレバ
ナラヌコトハ、此殖エテ來ル
人問ヲ如何ニ處分シテ國民
生活ノ基礎ヲ定メルカト云
フコトノ問題ニ歸著シテ行
カナケレバ、ソレ以外ノ色
々ナ政治ノ上ノ爭ハ國民
ニ關係ナイコトニナッテ來
ル、又六千萬ノ吾々同胞
ヲ如何ニシテ國家ガ導キ安
定サセテ行クカト云フコト
ハ、此溢ルル人間ヲ外國
ヘ出シテ、一ツハ産業ヲ安
定助長シテ是ダケノ人間
ガ互ニ食ッテ行ク途ヲ考
ヘルト云フ二ツシカ途ハ
ナイト思フノデアリマス、
輸入ノ問題ニ付キマシテハ
此處デ質問スル限リデハ
アリマセヌガ、第二ノ國內
産業ノ發展ニ依テ國民
ヲ養ッテ行クコト云フ是
ガ詰リ二ツニ別レル、是
ハ詰リ内地デ發達シ得ル
産業ヲ獎勵シテ行ク、内地
原料ヲ保護シ獎勵シテ行
ク、是デ國民ヲ養フト云
フコトガ、一ツ、モウ一ツ
ハ、内地ニ無キ原料ヲ以テ國

テ一方ノ内地産業ノ獎勵發達ト云
フコトニ十分ニ力ヲ用キナイガ爲ニ、
結局ハ收入主義ニ墮シテシマフ結果
ニナリハシナイカ、斯ク考ヘマス、
何時マデモ之ヲ恆久財源トシテ平
年度ノ財政計畫ヲ立テルノハ如何
ナモノデアリマス、此點ヲ私ハ大
藏大臣ニ御尋ヲ致シマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ハ
如何ニモ御尤ト承リマシタ、然ル
所此關稅率ノ改正ニ付キマシテハ
單リ此産業ノ保護ト云フノミデモ
アリマセヌ、其他ニ於テ從量稅從
價稅ノ不權衡ヲ矯正スルコト、ソ
レガ爲ニ收入ノ自然ニ増シテ來
ルマシモノモ大分アルノデアリ
マス、其方內譯ハ持ッテ居リマ
セヌケレドモ、其方カラ來ル增收
モ大分アルト云フコトヲ豫メ御承
知ヲ願ヒタイ、ソレカラ産業ノ保
護ト云フ主義カラ出テ來タ所ノ改
正案ノ終局ノ目的ハ、内地ノ産業
ガ漸次發達スルニ伴レテ輸入ガ減
少シテ、結局ハ内地ノ産業ガ十分
ニ發達スレバ、輸入品ハ殆ド無ク
ナルニ違ヒハナイ、サウスルト云
フコト此關稅改正ニ依テ生ズル増
收一千九百萬ト云フモノハ、是ハ必
ズシモ恆久的ノ財源ト見ルニハ行
カヌト云フ疑ヲ持ッテ御質問デ
ス、如何ニモ御尤デアリマス、先
刻堀切君ノ御質問ニ對シテ御答
致シマシタ通り、重要産業ニ對ス
ル保護率ヲ設ケマシタ其保護ノ程
度ハ、外國品ノ輸入ヲ防遏スル
コト云フ目的ニ出タモノデ

ナクシテ、詰リ外國品ガ這入
ッテ來テ内地ノ物ガソレト正當
ナ競争ヲシテ、先ヅ堪ヘ得ルト云
フ最小限度ノ率ヲ目標ニシテ率ヲ
盛ツテアリマス、外國品ガ俄
ニ輸入減退スルコト云フコトモナ
ケレバ、輸入ガ杜絶スルコト云フ
コトモナイト考ヘマス、併ナガラ
將來ノ遠イ事ヲ考ヘマス、自ラサ
ウ云フ傾ガ生ゼザルヲ得ヌト思
ヒマス、其處マデ行カナケレバ究
極ノ目的ハ達セラレヌ譯デアリ
マス、サウ云フ事ニナルト思ヒ
マス、併シソレマデハ餘程ノ年月
ヲ要スルト思ヒマス、即チ内地
産業ガ徐々ニ發達シテ、サウシ
テ外國品トノ競争ニ堪ヘルヤウ
ニナル、ソレニ從ッテ自ラ外國
品ノ輸入ガ徐々ニ減ッテ來ル、
斯ウ云フコトヲ考ヘマス、爰五
六年、七八年デ關稅ノ增收ノ千
九百萬圓ト云フモノガ減ルト云
フ程ノ結果ヲ現スニ至ラヌト思
ヒマス、將來其推移ヲ見マシテ、
關稅ノ增收ガ減ルト云フヤウナ
事デアリマスナラバ、ソレニ從
ッテ又財政計畫ヲ立テナケレバ
ナラヌト思ヒマス、此數年間
デサウ云フ事ハ恐ラクハ起ラヌ
デアラウト云フ見込デ居ル譯
デアリマス

○岩切委員 只今大藏大臣ノ御
答辯ヲ承リマシタガ、將來ノ究
極ノ目的トシテハ私ノ言フコト
モ是認スルガ、爰數年間、或ハ
近キ將來ニ於テサウ云フ事實
ハ來ナイデアラウト云フ御答
デアリマシタ、是ハ私ハ御尤ナ
事ト思ヒマス、併シ此尤ナ事
ガ、我國ノ産業政策ヲ如何

民ヲ養フテ行ク、詰リ對岸ノ支那ヲ相手トシテ我國ノ貿易ノ東洋國策ト云フモノヲ確立シテ行ク必要ガ起ツテ來ル、ソレニハドウシテモ保護政策ト云フ事バカリデハイカス、一面モウ一步進ンダ自由貿易主義ノ前身トデモ云ヒマス力、之ヲ取ツテ——先日ノ本會議デ御尋ヲ致シマシタガ、加工工業ト云フヤウナ性質ノモノヲ、モウ少シ獎勵シ、或ハ横濱トカ神戸ノ如キ所ヲ開放シテ、此處ニ外國ノ原料ヲ一ト先持ツテ來テ、此處デ加工シテ、更ニ之ヲ支那ナリ南洋ヘ持ツテ行クト云フ、中間工業ト云フカ中間貿易ト申シマスカ、之ニ類スルモノヲ根本方針トシテ取ツテ行カナケレバ、内地産業ノ保護獎勵ノミデハ決シテ國民ヲ救フ途デハナイ、ソレヲヤル爲ニ政府ハ假ニ今日ノ假置場ヤ保税倉庫ノ如キ、誰モ知ラナイヤウナ目ニモ著カナイヤウナ輕少ナモノデ果シテ滿足シテ行ケルカ、モット倉庫業ノ發達ヲ圖リ、或ハ之ニ對スル金融ノ機關ナドヲ組織シテ行カナケレバナライ、大藏大臣ノ言ハル輸出獎勵ト云フコトハ根本ニ觸レテ居ナイ、此前ノ議會ニ輸出組合法モ出マシタケレドモ、金融ノ問題ニ付テハ何等考慮サレテ居ナイ如クニ考ヘラレマス、此問題ニ付テ今少ク政府トシテ國民ノ爲ニ御考ノアルコトハナイノデアリマス、現在ノ儘ノ制度ヲ矢張追ウテ行カレルノデアリマス、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ主トシテ自由港ノ問題ト工業金融ノ問題トニ歸著スルヤウデアリマス、大體ノ前提トシテ御述ニナツタコトハ私御同感デアリマス、其結論トシテ御質問ニナツタ點ニ付キマシテハ、第一自由港ノ問題デアリマスガ、通過貿易ノ發展ヲ圖ルト云フコトハ固ヨリ必要ト考ヘマス、其通過貿易ノ發展ヲ圖ル上ニ於キマシテ、自由港ノ制度ガ適當デアルカ或ハ現在ノ假置場法ト保税倉庫ニ關スル制度ノ十分ナル利用ト、若シ制度ニ缺陷アリトスルナラバ、其缺陷ノ補充ト云フコトニ依テ大體目的ヲ達スルコトガ出來ルデハナイカト、其二ツノ問題ニ付テ、當局ト致シマシテ年來深ク攻究ヲ致シテ居ルノデアリマス、今日ニ於テ完全ナル結論ニ到達シテ居ルトハ申上ゲ難ナマス、大體ノ傾向ト致シマシテハ、自由港制度デナクテモ、假置場法或ハ保税倉庫ノ法ヲ十分ニ活用セシムル——利用セシムル、若シ其制度ニ於テ缺陷ガアルナラバ、相當ノ改正ヲ加ヘテソレヲ利用セシムル事ニ依テ、大體其目的ヲ達スルコトガ出來ルデハナイカト云フ所ニ今ナツテ居リマス、其調査ノ經過ニ付キマシテハ、主稅局長ヨリ説明ヲ申上ゲルコトニ致シマス、ソレニ依テ御承知ヲ願ヒマスガ、次ニ工業金融ノ問題ニ付キマシテハ、工業金融ニ限リマセヌ、貿易ノ金融モ同様デアリマスガ、大體其

設備ハ調ツテ居ルト申上ゲテ宜イノデアリマシテ、貿易ノ機關トシテ正金銀行ガアル、正金銀行以外ニモ爲替銀行トシテ、朝鮮銀行、臺灣銀行ト云フ特殊銀行並ニ民間ノ爲替銀行モ扱ツテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマス、輸出組合、重要貿易品工業組合ト云フモノニ對スル金融ノ方法トシテハ、前回議會ニ於テ法律案ヲ提案サレタトキニ説明申上ゲタ通りデアリマス、即チ爲替銀行ヲシテ其金利並手形ノ期限等ニ付テ相當ナル所ノ便宜ヲ與ヘシムルト云フコトニナツテ居リマス、マダ其方法ヲ利用スル者ガ十分ニ出來テ居ナイノハ甚ダ遺憾デアリマス、ケレドモ、若シ民間ニ於テサウ云フ組合ガ出來マシテ、サウシテ爲替上ノ便益ヲ受ケタイト云フコトデアリマス、ナラバ、ソレニ應ズルダケノ準備ハ致シテ居ルト云フ狀態デアリマス、何レハ當局ノ方カラ御話ガアラウト考ヘマスケレドモ、輸出組合或ハ工業組合ト云フモノガマダ政府ノ豫期シテ居ッタ通り出テ參リマセヌ、是ニハ種々ノ原因ガアラウト思ヒマス、其原因ノ一ト致シマシテ金融ノ點モアラウト考ヘマス、其金融ニ限リマセヌ、總テ金融機關ノ制度ニ付キマシテハ大體出來テ居ルトハ申シマシタケレドモ、現在ノ狀況ニ於テ十分デアルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、又満足スベキモノデアルトモ考ヘテ居リマセヌ、何レソレ等ノ點ニ付テハ大藏省ニ於テモ篤ト

是ハ調査研究ヲ遂ゲマシテ、金融制度ノ改善ト云フコトニ向ツテ努力致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、其具體的ノ案ヲマダ御示シスル運ビニナツテ居リマセヌケレドモ、議會終了ノ後ニ於テ金融制度ノ改善、殊ニ銀行制度ノ改善ニ向ツテ調査研究ヲ進メテ、出來得ル限リ御話ニナリマシタヤウナ缺陷ヲ補填致シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、大體デアリマスケレドモ御答ヘ致シマス

○黒田政府委員 中繼貿易ノ事ニ關シマシテ自由港ノ趣旨ヲ以テノ御質問ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、自由港ニ付テハ先程大藏大臣カラ御答ヘ申上ゲマシタ通り、目下我國ニ於キマシテ色々此自由港論ト云フモノガアルノデアリマシテ、自由港ヲ設ケテサウシテ其處デ外國貨物ヲ加工シテ、サウシテ再ビ之ヲ海外ニ出スト云フコトニハ自由港ノ制度ガ宜シイト云フ議論モ隨分アルノデアリマスガ、之ニ付テハ自由港ノ種類ニモ色々アルト考ヘマスガ、大體ソレ等ノ論ハ自由港區ノ問題デアリマシテ、或ル區域ヲ限リマシテ其區域ノ内ニ於テ自由ニ加工製造ヲシテ、サウシテ海外ヘ出ス、内地ニ入レマスナラバ其場合ニ於テ課稅スルト云フ制度デアルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テハ我國ノ今日ノ狀態ニ於キマシテ、果シテ或ル一區域ヲ區劃シテサウ云フ仕事ヲサセルト云フコト

ガ果シテ利益デアカドウカ、即チ其區域ニ於テ製造シテ内地ニ這入レバ是ハ課税サレルノデアリマスカラ、内地ニ這入ルモノニハ不便デア、唯外國ニ向ッテ再ビ出ルモノダケガ利益ヲ得ルノデアリマスカラ、今日ノ日本ノ貿易ノ狀況カラ見テ、今遽ニ斯ノ如キ區域ヲ設ケテヤルコトガ果シテ經濟上利益デアカドウカト云フコトハ餘程疑問ガアラウト思ヒマス、色々工業者ノ諸君ガ會合サレルトキニ於テモ、是等ノ兩論ニ別レテ居ルノデアリマス、然ルニ今日然ラバサウ云フ事ニ對シテドウ云フ制度ガアルカト申シマス、只今岩切君ノ言ハレマシタ通り、假置場ノ制度デアリマシテ「假置場ニ於テハ外國貨物ノ改裝仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シ若ハ之ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、即チ外國貨物ヲ原料トシテ之ヲ加工製造スルト云フコトガ認メラレテ居ルノデアリマス、此假置場デ以テ原料ヲ外國カラ持ッテ來テ加工製造シ再ビ外國ヘ出スナラバ、即チ課税ヲサレルコトナク外國貨物ノ保税ノ儘デ以テ仕事ガ出來ルノデアリマスカラ、之ニ依テ立派ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ假置場ノ利用ト云フモノガ今日ニ於テマダ十分デナイノデアリマス、中ニハ假置場ト云フ制度ノアルコトスラ知ラナイ人モ隨分アルヤウデア

リマス、當業者ノ方々ガ御集リノ席デ吾々モ斯ウ云フ話ヲシタコトモアルノデアリマスガ、其際ニ於テモ一般ニ十分ニ知ラレテ利用サレテ居ラヌト云フ御話モアルノデアリマス、之ヲ十分ニ活用致シマシタナラバ、今日ノ我國ノ狀態ニ於テ特ニ區域ヲ設ケテシナクテモ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、今日アリマス假置場ノ數ハ官設私設ヲ合セマシテ六十八アルノデアリマス、貨物モノレニ輸入サレタ貨物ハ三千二百萬圓バカリニナッテ居リマス、ソレ等ガ加工製造サレレバ更ニ價格ヲ増シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲモウ少シ現在ノ儘デモ十分ニ利用サレタナラバ、其目的ヲ達スルコトハ相當出來ルデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ當局ト致シマシテハ、マダ現在ノ制度ガ果シテ是デ宜イカト云フコトニ付テハ、モウ少シ之ヲ改善スル餘地ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、保税倉庫ニ付キマシテモ今日ノ保税倉庫ハ、內國貨物ニ付テハ、外國ニ輸出スベキ內國貨物ノミヲ藏置スル、輸入貨物ニ付テハ輸入手續未済ノ貨物ヲ藏置スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテモ相當ノ改正ヲ加ヘタナラバ、モウ少シ貿易上ニ利用スル便宜ヲ増スコトデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、目下是等ノ調査ヲ致シマシテ、略吾

吾ノ腹案ハ作リツ、アルノデアリマスケレドモ、マダ十分ニ決定致シマセヌ爲ニ、提案スル運ビニハ參ッテ居リマセヌガ、出來マシタナラバ成ベク早ク決定シテ此改正案モ議會ノ御協賛ヲ求メタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

マスカ、假置場ト云フモノガ發達スルノデアリマス、唯其處ヘ倉庫ヲ一ツ拵ヘテ、此中ニ物ヲ入レレバ税ハ取ラナイ、勝手ニ加工シテ何處ヘデモ持ッテ行ケト云フ程度ノ假置場ナラバ、依然トシテ如何ニ改革シテモ發達シナイ、若シ之ヲ發達サセル爲ニハ、ドウシテモ其倉庫ニ伴フ加工金融ト云フモノガソレニ伴ッテ行カナケレバナラス、誰モ態日本ノ港マデ持ッテ來テ、其品物ヲ加工シテ支那ニ持ッテ行ク者ハナイダラウト考ヘマス、其點ニ對シテハ何カ改正案ノ中ニハ御計畫ガアルノデアリマスカ

吾ノ腹案ハ作リツ、アルノデアリマスケレドモ、マダ十分ニ決定致シマセヌ爲ニ、提案スル運ビニハ參ッテ居リマセヌガ、出來マシタナラバ成ベク早ク決定シテ此改正案モ議會ノ御協賛ヲ求メタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岩切委員 今ノ問題ニ關聯シテモウ少シ御尋シマスガ、假置場ト云フモノモ今承ルト三千二百萬圓程度ノモノハ輸入サレタト云フコトデアリマスガ、大體加工工業ト云フヤウナモノ、詰リ假置場デモ目的ヲ達スレバ方法ハ何デモ宜シイ、假ニ自由港デアラウト、自由港區デアラウト、假置場デアテモ、目的ヲ達スルナラバ方法手段ハ敢テ之ヲ擇ブ所デハナイト考ヘマス、唯問題ハ其假置場ヲ十分利用セザル原因ハ何處ニ在ルカ、私モ能ク分リマセヌケレドモ、英國モ日本ト同ジヤウナ位地ニアッテ、丁度國情ガ同ジヤウナ所デアアルニ拘ラズ、非常ニ加工工業ノヤウナモノガ發達シテ居ル、是ハ英國ニ貨物ヲ持ッテ行ッテ一遍英國ノ港ニ卸シテ、其處ノ倉庫ノ中ニソレヲ一遍入レレバ、英國デハ資金ノ融通ガ付ク、故ニ佛蘭西獨逸ニ持ッテ行ク方ガ近イケレドモ、英國ニ持ッテ行ッテ一遍其處ノ倉庫ノ中ニ入レテ、其處デ加工スベキ英國ノ資金ヲ利用シテ、更ニ精製品ニスル、或ハ加工品ニシテ歐洲ニ持ッテ行クコトノ便利ガアルカラ、英國ノ自由港ト申シ

マスカ、假置場ト云フモノガ發達スルノデアリマス、唯其處ヘ倉庫ヲ一ツ拵ヘテ、此中ニ物ヲ入レレバ税ハ取ラナイ、勝手ニ加工シテ何處ヘデモ持ッテ行ケト云フ程度ノ假置場ナラバ、依然トシテ如何ニ改革シテモ發達シナイ、若シ之ヲ發達サセル爲ニハ、ドウシテモ其倉庫ニ伴フ加工金融ト云フモノガソレニ伴ッテ行カナケレバナラス、誰モ態日本ノ港マデ持ッテ來テ、其品物ヲ加工シテ支那ニ持ッテ行ク者ハナイダラウト考ヘマス、其點ニ對シテハ何カ改正案ノ中ニハ御計畫ガアルノデアリマスカ

○黒田政府委員 假置場法ノ改正ニ付キマシテ調査ヲ致シテ居リマスルガ、只今岩切君ノ言ハレマシタヤウニ、ソレニ對シマスル金融ノ問題ハ是ハ別ノ問題デアリマシテ、假置場法ノ改正ト致シマシテハ其點ハ觸レテ居リマセヌ

○岩切委員 其問題ハソレデ分リマシタカラ、案ガ出マシタ時分ニ——更ニモウ一ツ、時間ガゴザイマセヌカラ、簡單ナ問題ヲ大藏大臣ニ伺ヒマス、是ハ更ニ逐條ノ場合ニ御尋ヲ致シマスケレドモ、大體表ヲ見マスト、政府ノ御趣旨ハ發達スベキ工業、發達セントシツ、アルモノハ保護スル、内地デ出來ナイ品物ニ對シテハ成ベク税率ヲ低クシテ、廉價品ノ輸入ヲ獎勵シテ、内地ノ物價ノ引下ニ資シャウト云フノガ御趣旨ダラウト思ヒマス、是ハ此案ハ勿論確

○岩切委員 其問題ハソレデ分リマシタカラ、案ガ出マシタ時分ニ——更ニモウ一ツ、時間ガゴザイマセヌカラ、簡單ナ問題ヲ大藏大臣ニ伺ヒマス、是ハ更ニ逐條ノ場合ニ御尋ヲ致シマスケレドモ、大體表ヲ見マスト、政府ノ御趣旨ハ發達スベキ工業、發達セントシツ、アルモノハ保護スル、内地デ出來ナイ品物ニ對シテハ成ベク税率ヲ低クシテ、廉價品ノ輸入ヲ獎勵シテ、内地ノ物價ノ引下ニ資シャウト云フノガ御趣旨ダラウト思ヒマス、是ハ此案ハ勿論確

○岩切委員 其問題ハソレデ分リマシタカラ、案ガ出マシタ時分ニ——更ニモウ一ツ、時間ガゴザイマセヌカラ、簡單ナ問題ヲ大藏大臣ニ伺ヒマス、是ハ更ニ逐條ノ場合ニ御尋ヲ致シマスケレドモ、大體表ヲ見マスト、政府ノ御趣旨ハ發達スベキ工業、發達セントシツ、アルモノハ保護スル、内地デ出來ナイ品物ニ對シテハ成ベク税率ヲ低クシテ、廉價品ノ輸入ヲ獎勵シテ、内地ノ物價ノ引下ニ資シャウト云フノガ御趣旨ダラウト思ヒマス、是ハ此案ハ勿論確

○岩切委員 其問題ハソレデ分リマシタカラ、案ガ出マシタ時分ニ——更ニモウ一ツ、時間ガゴザイマセヌカラ、簡單ナ問題ヲ大藏大臣ニ伺ヒマス、是ハ更ニ逐條ノ場合ニ御尋ヲ致シマスケレドモ、大體表ヲ見マスト、政府ノ御趣旨ハ發達スベキ工業、發達セントシツ、アルモノハ保護スル、内地デ出來ナイ品物ニ對シテハ成ベク税率ヲ低クシテ、廉價品ノ輸入ヲ獎勵シテ、内地ノ物價ノ引下ニ資シャウト云フノガ御趣旨ダラウト思ヒマス、是ハ此案ハ勿論確

信ヲ持ッテ御出シニナッタト云フコトハ、昨日來カラ議論ガアッタ所デゴザイマスカラサウ考ヘマスガ、此中ニハ日本デハ到底出來ナイ品物ニ對シテ、矢張重イ稅ヲ課シテアルモノモアルヤウデアリマス、是ハ日本ニハドウシテモ出來ナイ品物デモ、ソレガ贅澤品デアレバ勿論デアリマスガ、贅澤品デナイ必要品デアッテ、我國ニ出來ナイ品物ニ付テモ稅ヲ掛ケナケレバナラヌ理由ガアルノデアルカ、サウ云フコトハ決シテ計畫シテナイト云フコトデアリマスレバ、若シサウ云フモノガアレバ――

ソレハ政府モ萬能デハナイカラ、場合ニ依テハ疎漏ノ調査モアッタモノトシテ、將來ソレハ訂正ナリ或ハ御改メニナル意思ガアルノカ、或ハ内地ニ出來ナイ物デアッテモ、必要品デアッテモ、特ニソレニ關稅ヲ課スル特別ナル理由ガアルノカ、其點ヲ簡單ニ御尋致シマス

○濱口國務大臣 内地ニ出來ナイ物ニ付テハ關稅ヲ課スル必要ガナイと思フニ拘ラズ、此表ヲ見ルト云フト、出來ナイ物ニ對シテモ率ヲ盛ッテ居ルモノガアルノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ意味ノ御質問デアリマシタガ、大體ニ於テ内地ニ出來マセヌ品物デアッテ、而モ外國カラ輸入ヲ必要トスル物ニ對シテハ、稅ヲ課スルト云フコトハ致シテナイ積リデアリマス、唯内地ニ出來ナイ品物デアッテ、從來海外カラ輸入シテ

ル物デアッテ、而モ其品物タルヤ寧ロ嗜好品或ハ贅澤品ニ近イ種類ノモノニ屬シテ居ル、其輸入ノ増進スルコトヲ希望スル理由ノナイモノデアルト云フモノニ付キマシテハ、假令内地ニ出來ナイ物デアリマシテモ相當ノ關稅ヲ盛ッテ居ルモノガアルノデアリマス、大體サウ云フ趣意デ是ハ出來テ居ル積リデアリマスガ、尙ホ逐條ニ付キマシテ一品毎ニ、御審議ノ時ニハソレゾレ御答致シマセウ、其趣意デ出來テ居リマス

○加藤委員長 山本条太郎君――貴方ノ御質問ハ農林大臣、商工大臣モアルヤウデアリマスガ、ソレハ後ニシテ大藏大臣ダケニ御質問ニナルヤウニ……○山本委員 承知致シマシタ――私が大藏大臣ニ御尋ヲ致シタイと思フ趣旨ハ、大分堀切君其他カラ御尋ニナリマシタノデ、極ク大體ノ觀念ダケヲ簡潔ニ御尋致シタイと思フデアリマス、

昨日ノ大藏大臣ノ御話ヲ承リマシテモ、關稅改正ノ趣旨ガ專ラ内地ノ産業ノ發展ヲ圖リ之ヲ保護スルニ在ル、而シテ各般ノ施設ト相俟ッテ國際貸借ノ改善ヲ急速ニ期スルト云フコトガ、政府ノ關稅改正ノ大ナル目的ノ一ツデアルト云フコトニ承知ヲ致シマシタノデアリマス、私共モ歐羅巴ノ戰爭以來各國ガ激烈ナル關稅戰ニ移リ、經濟戰ニ移リツ、アル狀況ニ鑑ミテ當然ナルコトト考ヘマスルガ、併ナガラ此御提案ニナ

リマシタル關稅改正ノ表ヲ拜見致シ、且ツ政府ガ方ニ執リ又執ラシツ、アル施設ト相俟ッテ、果シテ大藏大臣ガ御話ニナル如キ國際貸借ノ改善ガ期セラル、カドウカト云フコトニ對シテ意見ガアルノデアリマス、我國ノ經濟狀態ハ私ガ改メテ申上ゲル迄モナイノデアリマスガ、過去五箇年間輸入超過ハ二十五億萬圓ヲ算シ、昨年ノ統計ニ依リマシテモ植民地ヲ加ヘテハ、輸入超過ガ三億五千萬圓、外ニ吾々ノ計算ニ依リマス、貿易外ノ貸借勘定ノ支拂不足ガ約五千萬圓、即チ四億萬圓ガ此國ノ經濟トシテハ不足ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ此輸入輸出ノ貿易ノ内容ヲ見マスルト、政府ガ既ニ奢侈稅若クハ贅澤稅ト云フヤウナコトデ重稅ヲ課セラレタ結果、此方面ノ輸入ハ大ニ減少致シマシタ、今日三億五千萬圓ノ輸入超過ハ、主トシテ國民ノ必要トスル商品ニ殆ド限ラレタガ如キ感

ガアルノデアリマス、又輸出貿易ノ方ハ之ヲ見マスルト、是ハ寧ロ偶然ノ結果デアリマスガ、昨年ハ米麥共ニ豐作、生絲モ稀ナル盛況、値段モ甚ダ高カク、斯様ナ天佑トモ云フベキ農産物ノ盛況ヲ以テシテ、尙且ツ輸出ハ餘リ著シク増加シテナカッタノデアリマス、デ

ス様ナ見地カラ我國ノ將來ノ貿易關係ヲ觀測致シマスルト、先ヅ三億圓乃至五億圓ノ輸入超過ハ、此所數箇年日本ノ經濟トシテハ免レルコトガ出來スト

見ルコトガ妥當デアラウト考ヘマス、政府ガ執ラレテ居リマスル御政策、及此度御提出ニナリマシタル最モ重大ナル――貿易ニ關スル最モ重大ナル關稅改正ノ御案ニ基イテ總テノ政策ガ行ハレテ居リマシテ、果シテ此輸入超過、貿易ノ「バランス」ノ不足ヲ補ヒ、政府ガ所期セラレタルガ如ク國際貸借ノ解決ガ付クト云フ御意見デアリマセウカ、如何デアリマセウカ、一年ニ四億圓ト云フ若シ國際ノ貸借ノ不足ガアルトシマスレバ、現ニ帝國ノ持ッテ居ル正貨ハ僅ニ十三四億圓ニ過ギナイノデアリマスカラ、三四年間ヲ待タズシテ我國ノ正貨ハ全部使ヒ盡シ、借金ヲスルカ若クハ支拂ノ出來ナイ、所謂國際上トシテハ破産ノ狀態ニ陥ルト云フコトハ、今日吾々ガ大體ノ貿易ノ大勢ノ上カラ觀測シマシテ、少シモ無理ナ觀測デハナイト思フノデアリマス、國民モ心配シ

吾々モ日夜心配致シマスコトハ、左様ナ場合ニ如何ニシテ此國際上ノ貸借ノ頗ル不況ニ在ルト云フコトガ救ヒ得ラレカト云フコトヲ懸念シテ已マナイノデアリマス、關稅改正ハ貿易ニ對シ最モ重大ナル御政策ノ點デアリマスカ、先ヅ大體觀念ニ於テ、大藏大臣ハ此點ニ於テ如何ナル御意見ガアリマスカト云フコトヲ承リタイ

○濱口國務大臣 御答致シマスガ、此關稅改正案ヲ此度政府ガ提案ヲ致シマシタ其理由ハ、先日本會議ニ於テモ申

述ベタ通りデアリマス、之ヲ國際貸借ノ改善ノミヲ目的トシテ、案ヲ出シマシタモノト、若シ御了解ニナッテ居リマス云フト、多少ノ政府ノ考トハ違ヒガアルト考ヘマス、此改正案ヲ出シマシタノハ、説明ニモ申シマシタ通り、一ツニハ内地ノ重要産業ノ保護ト云フコトガ無論アリマス、ソレカラ二ツニハ國民生活ノ安定ト云フコトガアリマス、ソレカラ三番目ニハ從價稅ト從量稅トノ從來ノ不均衡ヲ正スト云フコトガアリマス、即チ此三點ヲ目的トシテ改正案ヲ出シタ譯デアリマス、而シテ内地ノ重要産業ヲ保護スルト云フ其目的ハ何デアアルカト申シマスレバ、直接ノ目的ハ即チ重要ナル産業ヲ外國ニ仰ガズシテ内地ニ造ルト云フコトニ盡キテ居リマスケレドモ、其從タル目的或ハ當然ノ結果ト致シマシテ、國際貸借ノ改善ニナルト云フコトハ無論デアリマス、其點ヲモ政府ハ關稅改正ノ目的ノ中ニ包含ラセシメテハ居リマスケレドモ、獨リソレノミヲ目的トシテ改正案ヲ出シタ譯デハナイト云フコトヲ先ヅ以テ申上ゲテ置キマス、其何レニ拘ラズ、山本君ガ國際貸借ノ改善ト云フコトニ非常ニ重キヲ置カレテ、其點ニ向ッテ總テノ政策ガ進マナケレバナラヌト云フコトニ御留意ニナッテ居ルト云フコトハ、是ハ私ハ政府當局ト致シマシテ非常ニ感謝スル所デアリマス、然ラバ其國際貸借ノ改善ト云フモノ

ハ、此關稅ノ改正ニ依テ其目的ヲ完全ニ達スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フ問題ニナリマスガ、是ノミニ依テハ到底其目的ヲ達スルコトハ困難アルト政府モ考ヘテ居リマス、貿易ノ狀況ニ付テ御話ガアリマシタ、如何ニモ昨年ノ入超ハ二億六千萬餘圓デアリマスガ、是ハ内地ダケノ計算、植民地ヲ加ヘマズレバ御説ノ通り三億五千餘萬圓ト相成リマス、然ルニ大局ニハ關係ハアリマセヌケレドモ、貿易外ノ受拂勘定ノ其結論ヲ申シマス、云フト山本君ハ五千萬圓バカリ支拂超過ニナルニ依テ、ソレヲ貿易上ノ入超ノ三億五千萬圓ニ加ヘテ四億圓ノ支拂勘定ニナルト云フヤウニ御覽ニナッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、政府ノ調ニ依リマススト云フト、貿易外ノ受拂勘定ハ大體ニ於テ約一億圓内外ノ受取勘定ニナル、斯様ニ見テ居リマス、其受取勘定ハ御承知ノ通り、戰前ニ於テハ或ハ三億圓バカリ、或ハ五億圓ニナリマシタガ、戰爭ヲ終ッテ次第ニ減少致シ、最近ニ於テハ先ヅ一億圓ト計算シテ宜カラウト考ヘマスガ、將來ニ於テハ或ハ多少減少シハセスカト云フ虞ハ持ッテ居リマスガ、兎ニ角現在ニ於テハ大體一億圓内外ノ受取勘定ニナッテ居リマスカラ、ソレハ貿易上ノ入超ガ假ニ三億五千萬ト見マススト云フト、ソレカラ一億圓ヲ差引キマシタ二億五千萬ト云フモノハ、海外ニ支拂フベキ勘定ニナラウト思ッテ居リマ

ス、其四億デアラウト二億五千萬デアルトニ拘ラズ、兎ニ角マダ國際貸借ノ關係ハ日本デハ逆調デアリマス、其逆調ヲ如何ニシテ矯正スルカト云フコトハ、御互ニ努力スベキ所ノ重要ナル眼目デアルト信ジテ居リマス、然ラバ其目的ヲ達スルガ爲ニ此關稅改正ニ依テ生ズベキ其効果以外ニ他ノ方法アリヤ否ヤト云フコトニナリマススト云フト、是ハ山本君モ能ク御了解ヲ下スッテ居ルコトデアラウト考ヘマスガ、曩ニ内閣ガ一昨年ノ六月ニ出來マシテ以來、總テノ政策ガ或ハ直接ニ或ハ間接ニ、此國際貸借ノ改善ニ向ッテ相當ノ貢獻ヲ爲スベキヤウニ仕向ケテ行ッテ居ル積リデアリマス、政府ノ方カラ申シマスレバ、即チ行政財政ノ整理緊縮ガ其主タルモノデアリマス、國民ニ向ッテハ勤儉力行、消費節約ノ獎勵ト云フコトモ其主タルモノデアリマス、而シテ政府ノ努力ノ結果ニアルト如何トニ拘ラズ、國民一般ニ近來大分此國際貸借ノ問題モ自覺ヲ致シタト私ハ思ッテ居リマスガ、其結果ト致シマシテ、大分中央ト地方トニ拘ラズ人心ガ緊張致シマシテ、眞劍ニナッタト云フコトハ、是ハ御互ニ慶賀スベキコトデアルト私ハ考ヘテ居リマス、其結果ガ多少タリトモ大正十四年ノ貿易ノ上ニ現レタノデハナイカト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス、即チ贅澤品ノ關係ハ別問題ト致シマシテモ、此輸入金額ノ中、棉花ノ輸入

ヲ除クノ外ハ前年ヨリモ約二億圓ニ近イ金額ト思ッテ居リマスガ、減少ヲ致シテ居ル、其減少ヲ致シマシタ理由ハ、固ヨリ必要品モアリマセウ、或ハ嗜好品モアルデアリマセウケレドモ、大體國民ノ消費ノ節約、勤儉等ニ依テ、外國品ノ需用ヲ減少シタモノデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、固ヨリ國際貸借ノ改善ニ對スル所ノ官民ノ努力ト云フモノハ、今日ノ程度ヲ以テハマダ決シテ是ハ満足スベキモノデハナカラウト考ヘマス、將來ニ向ヒマシテモ今日ノ程度ト同一ノ程度、若クハソレ以上何カ新シイ方法ガアリマスナラバ、殘ラズ之ヲ採用致シマシテ、一日モ速ニ此國際貸借ノ均衡ヲ得セシムルト云フコトニ最善ノ努力ヲ致シタイモノデアルト考ヘマス、十五年度ニ出シマシタ所ノ豫算ニ於テモ、一般ニハ極力緊縮ノ方針ヲ執リマシタケレドモ、苟モ國際貸借ノ改善ニ相當ノ效果ガアルデアラウト考ヘマシタモノハ、此緊縮豫算ノ中ニモ出來ルダケ之ヲ計上致シテアル次第デアリマス、或ハ貿易ノ振興ニ關スル所ノ經費デアルトカ、或ハ移植民ノ保護獎勵ニ關スル經費デアルトカ、其他朝鮮ノ豫算ニ於テモ、產米ノ増殖計畫ニ關スル所ノ經費デアルトカ、其他豫算ノ關係ヲ離レマシテモ、國產獎勵ノ運動ヲ起シタイト云フ考モ持ッテ居リマスルシ、又爲替銀行タル正金銀行ヲシテ「アレキサンドリヤ」ニ出張所

ヲ設ケマシテ、或ハ印度ノ「カラチ」ニ支店ヲ設ケルト云フヤウナコトモ致シテ居リマスルシ、豫算ノ内外ニ互ッテ出來ルダケノ努力ハ致シテ居ル積リデアリマス、尙ホ將來ニ向ッテモ或ハ國際貸借ノ改善ニ對シテ出來ルダケノ努力ヲ致シテ、成ベク早く貿易ノ逆調ヲ轉回致シテ、輸出超過タラシムルト云フコトガ困難デアルト致シマシテモ、其入超ノ金額ヲ出來得ルダケ少額ニ止メシメ、其入超ノ金額ハ貿易外ノ支拂勘定ノ受取超過ニ依テ支拂ノ出來ルヤウナ狀況ニ立至リマスレバ洵ニ幸デアルト考ヘマス、併ナガラソレハ理想デアリマス、其理想ニ達スルコトハ蓋シ容易ナ事デナカラウト考ヘマスガ、兎ニ角最善ノ努力ハ致シタイト考ヘテ居リマス

○山本委員 只今大藏大臣ノ御説明ヲ承リ、洵ニ國際貸借ト云フ重大問題ニ關係シテ御配慮ニナッテ居ルコトハ、吾々モ洵ニ之ヲ多ト致ヌ者デアリマス、併シ只今御話ニナリマシタ昨年十四年度ノ貿易ニ於テ輸入ガ二億圓減ジテ居ル、又先日來大藏大臣ノ御話ヲ承リ、此貿易ノ大勢ハ意ヲ強ウスルニ足ルト云フノ御言葉ガ現レテ居ルノデアリマス、私ノ見ル所ヲ以テスルト、此日本ノ貿易ノ内容ニハ餘程困難ガアルヤウニ思フ、昨年ノ二億圓輸入超加ト云フノハ、吾々ノ見ル所ヲ以テシマスト、此緊縮政策ノ爲ニ機械類及ソレニ關係スル工業ノ基本的ノ輸入ガ

最モ大キナ減少ヲ致シテアル、其他贅澤品ニ於テ贅澤稅ノ爲ニ大變ニ輸入ガ減ジテ居ル、其外ノ物ハ御話ノ通り棉花ノ加工原料トシテ入ッテ來ルモノハ例外ト致シマスケレドモ、他ハ衣食住ノ必需品デアリマス、又輸出ノ方面ヲ見マスト、私ノ申上ゲルマデモアリマセヌガ、科學ノ進步ノ爲ニ我國ノ輸出ノ大宗デアアル生絲貿易ガ、人造絹絲ノ發達ノ爲ニ如何ナル影響ヲ受ケルカト云フコトハ、當業者モ又世界ノ經濟界カラモ一大疑問トサレ、頗ル不安ヲ感ジテ居ルノデアリマス、我國ノ輸出貿易カラ生絲、綿絲、綿布ヲ差引キマスト、殘ル所ノモノハ極メテ少額ナルモノデアアル、其種類ハ數百ニ分レテ居リマスケレドモ、其金額ハ五億乃至六億ニ過ギナイノデアリマス、只今大藏大臣ハ國際貸借ノ改善ニ對シテハ、政府トシテ單リ關稅ノミデ國際貸借ノ關係ヲ改善スルコトハ出來ナイ、各般ノ施設ト國民ノ努力ニ俟ツベキコトハ洵ニ仰セノ通りデアリマス、併ナガラ例ヘテ言ヘバ一軒ノ小サイ家庭ヲ持ッテ居リマシテモ、此暮シガ年ニ幾ラ掛カル、一年ニ千圓足りヌ、三年經テバ三千圓足りナクナル、ソレデ銀行ニ三千圓シカ金ガ殘ッテ居ラヌト云フ場合ニ、其儘ニ居レバ其資産ハ蕩盡スル、借金ハシナケレバナラヌ、ソレヲ手ヲ拱イテ居ル譯ニハイカヌ、サウ云フ場合ニハドウシテモハッキリシタ方策ナリ方針ガ必要デ

アル、明ニ斯様ナ程度ニナレバ此國際關係ガ——國際貸借ガ改善セラレル、斯様ナ政策ニ依リ斯様ナ結果ヲ現シ、何年目ニ斯ウ云フコトニナル、確實ナル目標ヲ其所ニ置イテ、國トシテ計畫ヲ立テナケレバナラヌ事デアルト考ヘマス、只今大藏大臣ノ御話ハ、御考トシテハ私全然同感デアアル、關稅改正ノミニ依ラズ、其他ノ施設ニ依テ此根本ノ改善ヲ圖ルト云フ御說ニハ御同意デアリマスケレドモ、今少シ確實ニシ、關稅改正ノ問題等ヲ——之ニ依テ如何ナル事業ガ内地ニ起ル、之ニ依テ如何ナル防ゲル、之ニ對シテ御計畫ニナッタ事ガアルガラウト思フ、單ニ關稅改正ニ關シテノミ御尋スルノデハナイ、國際貿易ノ根本ニ對シテノ御成算ガ必ズヤアルガラウト思フ、今一應其點ヲ御伺致シタイト考ヘマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ハ如何ニモ御尤ナ御質問デアリマスケレドモ、此關稅改正ノ結果トシテ、如何ナル産業ガ内地ニドウ云フ程度ニ起ッテ來ル、ソレニ依テ從來輸入ニ仰イデ居ッタ所ノ品物ガドウ程度ニ何年目カラ防ギ得ルカ、即チソレヲ綜合シテ申セバ、外國品ノ輸入ヲ如何ナル程度ニ防遏スルカ、其金額ガドウカ、大體ニ於テドウカト云フコトデアリマス、ソレカラ關稅改正ノ以外ニ互リマシテ、斯ウ云フ政策ヲ遂行スレバ數字上ドウ云フ狀態ニナルカト云フヤウナコトハ、ソレハ

一家ノ經濟トシテハ立タナケレバナラヌ事デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、複雜ナル所ノ内外ノ經濟界ノ狀勢ヲ觀察致シ、此計畫ヲ立テルコトハ甚ダ至難ナル事デアリマス、私モ個人トシテハサウ云フコトヲ試ミタコトモアリマシタケレドモ、此所デハ政府トシテサウ云ウ計畫ヲ持チマセヌ、大體ノ計畫ヲ立テ、斯様ナ狀態ニナルト云フコトヲ數字のニ之ヲ示スト云フコトハ、到底出來ナイ事デアラウト考ヘマス、吾々ノ努ムベキ所ハ、其數字ノ計畫ヲ立テルト否トニ拘ラズ、全力ヲ其方向ニ向ケテ進マナケレバナラヌト云フ事柄ノミデアリマス、全力ヲ擧ゲテ進ンダル結果ガ如何ニ數字ニ現レルト云フコトハ、ハ甚ダ困難ナ事デアラウト思ヒマス

○山本委員 時間ノ都合デ此次ノ會議ニ保留シテモ宜シウゴザイマス

○加藤委員長 ソレデハ大藏大臣ニ對スル質問ノ通告ハマダ五人アリマス、今日午後ハ御出席ニナラヌト云フコトデアリマスカラ、明日午前十時カラ大藏大臣ニ對スル質問ヲヤリタイト考ヘマス——宜シウゴザイマス——ソレカラ今日午後ハ矢張質問ヲ繼續シテ、商工大臣、農林大臣ニ對スル質問ガアリマスカラ、午後一時カラ繼續シタイト思ヒマス

午後零時八分休憩

午後一時二十八分開議

○加藤委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ委員會ヲ開キマス、岡田君ハ大藏大臣ニ御質問ガアツテ、農林大臣ニ御質問ガアルト云フコトデアリマスガ、大藏大臣ハ御出ニナラヌノデアリマスガ、其部分ハ除キマスカ、次官、局長デ宜ウゴザイマスカ

○岡田委員 私ハ誰デモ宜ウゴザイマス、責任ヲ持ッテ御答下サルナラバ……

○加藤委員長 岡田君

○岡田委員 私ハ先ヅ大藏當局ニ御伺シマス、先日濱口大藏大臣ガ提案ノ理由トシテ御説明ニナッタノハ、大體五項目カニ分ケテ根本方針ト云フヤウナコトヲ御説明ニナリマシタガ、其中ニ原則トシテハ原料品トカ、生活ノ必要品ナドハ成ベク安イノガ宜イカラ、随ッテ是等ノモノハ無稅力輕減力、若クハ据置力、嗜好品トカ贅澤品等ハ高クシタト云フヤウナ御説明デアッタノデアリマス、私ハ此根本方針ノ内容ニ對シテ一ノ疑義ヲ持ッテ居ルノデアリマス、之ガ資本主義經濟論ノ講義カ何カナラバ結構デアリマスガ、實際ノ政策ニ於テ、殊ニ現代思想カラ言ッテ見マスルト云フト、甚ダ不徹底ナヤウニ思ハレマス、私共ノ見ル所デハ、現在ノ如キ複雑ナル社會政策ノ下ニ於テハ、内地デ生産スルモノハソレガ生活品デアラウガ、藥デアラウガ、何デアラウガ、安ケレバ——安價デアレバ、國民全體ノ利

益ダト云フヤウナ單純ナモノデハアルマイト思フノデアリマス、何故ト云フト、何ニ限ラズデアリマスガ、生産者ハソレヲ賣ッテ生活シテ居ルノデアリマス、故ニ必要品デアリマシテモ、其必要品ノ價格ガ騰貴シテ、ソレガ爲ニ消費者ノ支出ガ増シテ、生活ニ苦痛ヲ感ズルト云フコトモ、其物ヲ生産スル者ノ方カラ云ヘバ其値段ガ下ッテ、ソレガ爲ニ生産者ノ收入ガ減ジテ生活ニ苦痛ヲ感ズルト云フノモ、生活ニ苦痛ヲ感ズルト云フ性質ハ同ジモノダト思フノデアリマス、要ハ高イノガ宜イトカ、安イノガ宜イトカ云フノハ、生産者ノ利害ト消費者ノ利害トノ比較問題デアルト思フノデアリマス、此所ニ非常ナ重大問題ガアリマス、ソレハ原料品ダトカ、生活ノ必要品ト云フモノハ、之ヲ生産スル者ハ農林業者デアリマス、故ニ若モ此原料品ヤ生活ノ必要品ガ成ベク安イノガ宜イト云フコトヲ原則トスルナラバ、原始生産ニ從事シテ居ル者、即チ農林業者ノ收入ガ成ベク少イノガ宜イト云フコトニナルノデアリマス、左様ナ考方ヲ根本方針トシテ研究サレ、作製サレタ改正案ダトシマスルト云フト、是ハ容易ナラス事ダト思ヒマス、此事柄ハ洵ニ分リ切ッタヤウナ事デアリマスガ、實ハ從來トモ頗ル曖昧ニ取扱ハレテ居ルノデアリマシテ、要スルニ社會政策ナリ、農業政策ナリノ始メノ基礎トナルベキモノデアリマス、茲

デ私ハ今申シタ趣意ヲ二ツニ分ケテ御尋シタイト思ヒマス、一ツハ午前ニモ度々繰返サレマシタガ、濱口藏相ハ此關稅改正ノ方針ノ大要トシテ、第一ガ産業保護、第二國民生活ノ安定、第三ガ從量稅ト從價稅ヲ鈞合ヲ正シタト言ハレマシタガ、其産業々々ト言ハレルノガ、工業ヲ指シタノデアリマスガ、若クハ原始生産一切ヲ含ンデ居ル普通ニ言フ所ノ産業デアルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、若シ第二ト致シマシテ、原始生産ヲモ含ンダモノデアルトスルナラバ、原始生産ハ蓋シ原料品ヤ生活ノ必要品デアリマスカラ、其物ガ成ベク安イノガ宜イト云フノハドウ云フコトデアリマスガ、其點ガ曖昧ニナリマスト云フト、動モスレバ農業政策ハ他ノ政策ノ犧牲トナリマシテ、農事不振ノ根源ヲ爲スモノデアリマス、茲ニ若モ斯様ナコトガ好イ加減ニシテ關稅政策ナドト云フ重要ナル産業政策ガ決定サレマシタナラバ、幾多ノ農村振興策ヲ施シテモ到底効果ノ舉ルモノデハナイ、故ニ私ハ此二ツニ付キ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○黒田政府委員 御答致シマス、大藏大臣ガ過日提案ノ理由トシテ説明致シマシタ、成ベク生活ノ必需品ト云フモノヲ安ク或ハ無稅ニスルト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ内地デソレ等生活必需品ヲ生産シテ居ルモノハ、是ハ少シモ保護スル必要ハナイ、外國ノ物ヲ成ベク安クスレバ、内地ノ産業ガソレガ爲ニ潰レルヤウナコトガアツテモ差支ナイト云フ意味デ申シタノデハナイノデアリマス、只今御述ニナリマシタヤウニ、勿論是等生活必需品ノ内地デ出來マシタ物ニ付キマシテハ、成ベク内地ニ於テ之ヲ生産スルト云フコトハ、一面ニ於テハドウシテモ必要デアルト云フコトハ御説ノ通りデアラウト考ヘマスガ、併ナガラ國民一般ノ生活ノ必需品デアアル、國民一般ノ消費スル物ニ付キマシテハ、一面カラ申シマスレバ成ベク之ヲ安クスルト云フコトハ、國民ノ生活ノ安定ヲ期シマスル上ニ於テハ是モ必要デアラウト思ヒマス、サウカト申シマシテ、又一面ニソレ等ノ品物ガ内地ニ於テ生産サレテ居リマシタナラバ、其生産ノ適當ニ立ッテ行クヤウニシテヤルト云フ必要モ勿論アルノデアリマス、若シ内地ニ於テ生産ガ無イモノデアリマシタナラバ、是ハ勿論關稅モ或ハ免除スル、或ハ無稅ニ大體ハ致スコトガ出來ルデアラウト考ヘマス、即チ織物ニナリマスル原料デアアル綿トカ、毛トカ云フモノハ、勿論無稅ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ生活ノ必需品デアリマシテ、内地ニ於テ生産ガアルモノニ付キマシテハ、成ベク安クスルト云フコトノ要求、ソイ等ノ事業ヲ適當ニ保護シテ行クト云フ二ツノ要求ヲ適當ニ按排シテ、稅率ヲ設ケル必要ガアルト考ヘマス、其意

味ニ於テ成ベク安クスルト云フ趣意ヲ述ベタノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、内地ニ十分ニ生産ガアリマスル物ニ付テハ、最早保護ヲ致シマセヌデモ其生産ト云フモノガ侵サレル虞ガナイモノニ付キマシテハ、是ハ無稅ニデモ致スノガ必要デアラウト云フコトニ考ヘマス、一例ヲ舉ゲマスレバ魚油ノ如キ、是等ノ色ニ生活必需品、工業原料トシテ必要ナモノデアリマスガ、斯ウ云フモノハ無稅ニ致ス、併ナガラ内地ニ生産ガアツテ、適當ニ尙ホ保護ヲ要スルモノニ付キマシテハ、是ハ適當ニ稅率ヲ設ケル、即チ牛肉ニ致シマシテモ、鳥卵ニ致シマシテモ、今日内地ニ於テ相當ニ生産ガアル、併ナガラ内地ノ生産ノミデハ未ダ十分デナイノデアリマシテ、輸入ガ相當ノ多額ニ上ッテ居ルノデアリマス、是等ノ物ヲ成ベク一方ニ於テハ安クスル、消費者ガ安ク消費スルヤウニスルト云フコトガ必要デアリマスガ、又内地ノ産業ニ付キマシテモ適當ニ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ現在ノ率ヲ輕減致シテ適當ノ率ニ致シテ居ルノデアリマス、是ハ其品物ニ付テハ又詳シク申上ゲル機會ガラウト思ヒマスカラ、此場合ニ於キマシテハ大體ニ止メテ置キマスガ、サウ云フ風ニ稅率ヲ設ケタノデアリマス、又小麥ノ如キモ内地ノ生産ノ狀況ヲ考ヘ、又海外カラノ輸入ノ狀況モ考ヘマ

スト、ドウシテモ内地ノ産額ダケデハ今日不足デアリマス、海外カラノ輸入ニ仰ガナケレバ、到底一般ノ消費ヲ充タスコトガ出來ナイノデアリマスカラ、是ハ一般ニ消費サレマスルモノノ價格ガ高クナルト云フコトハ、國民生活ノ上ニ於キマシテ、其安定ヲ期シマスル上ニ於キマシテハ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、成ベク之ヲ安クシナケレバナラヌ、併ナガラ内地ニ今日出來テ居リマス所ノ産業ニ付テハ尙威ヲ感ズルコトガアツテハナラヌト考ヘマスカラ、現行ノ稅率ニ據置イテ居リマス、是ハ小麥ノ如キ世界の生産品デアリマシテ、海外ニ於テ——亞米利加ニ於テモ、濠洲ニ於テモ非常ニ多量ニ出來テ居ル、ソシテ安ク出來テ居ルモノニ付キマシテハ、之ヲ成ベク高率ヲ以テ保護スルト云フコトニナリマス、前申シマシヤウニ小麥業ノ原料トナリマスル小麥粉ト云フモノガ非常ニ騰貴シテ參リマスカラ、現行ヲ據置イテ内地ノ生産ヲ維持スルコトガ必要デアラウト云フ風ニ考ヘタノデアリマスカラ、現行據置ト云フコトニナツテ居ルヤウナ譯デアリマス、内地ノ産業ガ脅威ヲ感ズルコトハナイ程度ニ於テ、成ベク稅率ヲ安クスルコトニ努メテ居ルノデアリマス、尙多少内地ノ生産ニ付キマシテ稅率ヲ上ゲナケレバナラヌモノハ、ソレゾレ原始産業ニ付キマシテモ矢張稅率ヲ上ゲテ居リマ

ス、サウ云フ風ナ事情ヲ、兩方ノ要求ヲ十分ニ考慮シテ適當ノ稅率ヲ按排シタノデアリマス、決シテ唯安クスレバ宜イト云フコトノミニ着眼シテ稅率ヲ盛ツタ次第デハナイノデアリマス

○岡田委員 マダ少シゴザイマス、先日カラ屢繰返サレタ御説明デハ、極メテ當然ノヤウニ、原則的ノヤウニ、何等ノ條件ナシニ原料品ト生活品ハ安イノガ宜イト云フ風ニ述ベラレタ、其所ノ精神デス、今局長ノ御答辯ノヤウニ、其生産ヲ裕カスコトノナイ範圍ニ於テト云フ説明ガ何時モ付イテ居レバ、社會ニモ誤解モナシ、世間ニモ真相ガ傳ヘラレマスケレドモ、サウ云フコトハナカッタ、ソレデ今ノ御説明ニ依ルト、縱シ此政策ニ依テ價格ガ騰貴サレテモ、サウシナケレバ其生産物ヲ維持スルコトガ出來ナイ、ソレハ已ムヲ得ズヤルト云フ御精神ガ含マレテ居ルノデスカ、念ノ爲ニ伺ヒタイ

○黒田政府委員 只今御尋ノ、價格ガ騰貴シテモ維持スル必要ガアルモノハ上ゲル精神デアルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ品物ニ依ルコトデアリマシテ、内地ニ於テ必要ナ品物デアツテ、而モ其物ヲ内地デ以テモウ少シ適當ニ保護致シマシタナラバ、生産ガ十分ニ出來ルト云フモノニ付キマシテハ、生活ニ必要ナモノデアリマシテモ、多少之ヲ上ゲマシテ保護スルコトニナツテ居ルノデアリマス、茲ニ農産物ノ

例ガ出マシタガ、農産物ニ付テ見マス、是ハ生活必需品トマデハ申サレナイカモ知レマセスガ、一般ニ消費サレテ居リマスル落花生ノ如キニ付キマシテモ、是ハ多少稅率ヲ引上ゲテ居リマス、ソレニ依テ内地ノ農村或ハ漁村等ノ副業トシテ、斯ウ云フモノ、栽培ヲ多クスルト云フコトハ必要ナ事デアラウト考ヘノタデアリマス、隨テ稅率ガ上ッテ居リマスルカラ、十分ノ生産ガ出來テ參リマスレバ、過日大藏大臣ガ申シマシタヤウニ價格ヲ却テ引下ゲル、大量ノ生産ニ依テソレ等ノ收入モ殖エテ參リマスルシ、又消費者ノ方ニ於テモ價格ガ下ルト云フコトガ起ラウト思ヒマスルガ、ソレマデノ過渡ノ時代トシテハ、或ハ一時多少上ルト云フコトガ免レヌコトモアラウカト考ヘルノデアリマスルガ、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ多少上ゲテ居ルノデアリマス、其他ニモ勿論アリマスルガ、其産業ガ必要ナモノデアリ、サウシテ其價格ガ上リマスル爲ニ生活ノ安定ヲ害スルト云フモノデナイ限りニ於キマシテハ、勿論多少引上ゲテ其産業ヲ保護スルト云フ趣旨モ加味シテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイ

○岡田委員 大體御説明ノ通りナラバ、理論トシテハ宜カラウト思ヒマスルガ、ドウモ私共ハサウナツテ居ナイト思ヒマス、ソレハ又箇々ニ付テ申上ゲマセウガ、モウ一度念ノ爲ニ——必要

品ガ上ルト云フト、國民ノ生活ノ安定ヲ缺クト言ハレマスルガ、ソレハサウデアリマス、所ガ下落シテモ國民ノ生活ノ安定ガ矢張保テナイノデアリマサルガ、是ハ大分差別ヲ爲シテ御考ノヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、大藏當局ハドウデアリマスカ、例ヘバ國民ト云ヒマシテモ、成程生産者ガ大キナ會社デ、少數ノ者ノ苦痛ニ依テ多數ノ者ガ便利ヲ得ルト云フコトガアルナラバ、ソレモ宜カラウガ、多數ノ者ガ生産シテ多數ノ者ガ消費スル物ガ上レバ、何方ガ脅威ヲ受ケルカト云フコトニナルト、上ツタ場合ニ於ケル脅威ヲノミ常ニ引合ニ出サレルト云フコトハ、ドウシテモ私ハ根本原則ニ於テ、原始生産者ノ生活ノ脅威ト云フモノハ極メテ輕ク視ラレテ居ルノデハナイカト云フ勢ガアリマスルガ、念ノ爲ニ是ハモウ一應御伺致シマス

デニ至ルト云フコトハ、勿論避ケナケレバナラヌコト、考ヘテ居リマス、併シ其中間ニ於テモ、吾々ガ唯消費者ノ方ノミニ著眼ヲシテ、無理ニデモ忍バセナクテハナラヌト云フ風ノ考ヲ持ツテ居ルカノヤウナ御質問デアッタノデアリマスルガ、是ハ左様ニ御述ベニナリマスルト云フト極端ニナルヤウニ考ヘル、消費者ノ方ノ立場モ考ヘルガ、同時ニ生産者ノ方モ考ヘマシテ、生産者ノ方ニ於テモ、相當ニソレニ依ル生産者ノ生活ノ安定ト云フコトモ勿論ソレハ考ヘナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス、生産ノ適當ニ維持シテ行ケルト云フコトハ、サウ云フ點ヲ加味シテ見テ居ルノデアリマスルカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ

○岡田委員 第一ノ問題ハ、大體ニ於キマシテ其差別ハ持ッデ居ナイ、ソレニ又必要ナ産業デアアルナラバ、ソレガ生活品デアラウト何デアラウト、打撃ヲ受ケルヤウナラ上ゲテモ宜イト云フ御説明デアリマスルカラ、ソレナラバソレデ結構ダト思ヒマス、私ノ根本疑義ハ大部分解ケマシタカラ、今度ハ第二ニ御伺致シマス、矢張關聯シテ居リマサルガ、此生活ノ必要品ト云フヤウナコトガ、頻ニ生活問題ヲ基礎ニシテ言ハレルノハ、今社會問題トシテ斯ウ云フモノヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ當然デアリマスルガ、其必要品ト云ヒ、或ハ嗜好品トカ贅澤品トカ

云フモノニハ、何ヲ標準ニシテ言フベキデアラウカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス、尤モ斯ウ云フ問題ヲ學理的ニ、法律ニ依テ是レ々々ハ此方ニヤルト云フヤウナコトハ不可能デアリマスルカラ、ソレヲ其所マデ御尋スルノデハアリマセヌ、達觀的ニ政府當局ガ必要品ト見テ居ル物ハ先ヅ斯ナ物、斯ウ云フ家庭ニ用ヒテ居ル物デアルトカ云フヤウナコトデ宜シイノデアリマスルガ、何ヲ標準ニシテ御考ニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、ト云フノハ此見解ノ如何ニ依ッテ此方ニ入レラレタラバ非常ニ厚イ保護ヲ受ケル、此方ニ入レラレルト云フトソレハ必要品デアアルカラ、成ベク保護ナドセヌ方ガ宜イト云フコトニナツテ、大變ニ茲ニ不權衡ガ起ッテ來ル問題デアリマサルカラ、御尋スルノデアリマス、私ハ此質問ノ趣旨ヲ明ニスル爲ニ、一ツ鶏卵ヲ例トシマシテ、是ハ私卵ノコトヲ申スノデハアリマセヌ、ソレヲ例トシテ根本意思ヲ御尋スルノデアリマス、政府當局ハ此鶏卵ノ如キハ日常ノ生活品ダトサレテ、今度ノ改正ニ依テ税率ヲ二割五分程下ゲラレテ居リマス、此生活ノ必要品ダトサレタノハ、如何ナル階級ノ家庭ヲ標準ニシテ定メラレタノデアルカ、ソレガ御伺シタイノデアリマス、卵ハ菓子ニモ使フ、料理ニモ大分使ヒマス、勿論各家庭ニ於テ日用品トシテ澤山使ヒマスガ、之ヲ總括シテ

考ヘテ見マスルト云フト、鶏卵ノ如キハ日用ノ必要品トシテ使フノハ、都會ノ中流以上ノ家庭デアラウト思ハレルノデアリマス、尤モ都會デハ或ハ下層社會デモ必要品トシテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハドツチデモ私ノ趣旨ニハ變リアリマセヌ、私ノ見ル所ニ依リマスルト、都會ノ中流以上ノ家庭ダト思ハレル、所ガ之ヲ生産スル者ハドウカト云フト、會社デモナケレバ都會デモナイ皆農村ノ小農ガ之ヲ生産シテ居ルノデアリマスルカラ、農村ノ日常生活ハ卵ヲ必要品トシテ使フヤウナ生活ニナツテ居ナイノデアリマス、家族ノ婦人子供ハ榮養不足デアッテ榮食ヲ致シテ居リマシテモ、尙ホ卵ヲ必要品トシテ日々ニ食ハスコトガ出來ナイ、一ツデモ之ヲ賣ッテ是レ以上ノ必要品ヲ買ハナケレバナラヌト云フ生活狀態ニ在ルノデアリマス、サウデアリマスルト云フト、政府當局ガ必要品ナリトシテ標準ニ取ラレタノハ、都會ノ中流以上ノ家庭ニ付デアアラウト思ハレルノデアリマス、其結果トシテドウ云フコトガ起ルカト云フト、農村ノ多數ノ貧乏人ノ收入ノ頭ヲ刎ネテ、都會ノ中流以上ノ者ノ生活ヲ保護スルト云フ結果ニナルノデアリマス、サウ云フコトガ濱口藏相ノ言ハレル國民ノ生活ノ安定ヲ圖ルトカ、或ハ又現政府ノ社會政策ト云フモノハ、一體サウ云フ御精神デアアルカ、ソレガ伺ヒタイノデアリマ

ス、事實ニサウ云フ風ニシテ居ルノハ、ドウ云フ御見解ノ下ニ於テ、アア云フ御取扱ニナツカト云フコトヲ、理論ト實際トカラ詳細ニ御説明ヲ伺ヒタイノデアリマス

○黒田政府委員 生活ノ必需品デアルカ、或ハソレガ嗜好品デアルカ、又ハ奢侈品デアルカト云フコトノ區別ハ、之ヲ明確ニ定義ヲ致シマスト云フコトハ、頗ル困難ナ事デアラウト考ヘルノデアリマスルガ、大體吾ミガ生活ノ必需品ト申上ゲマスルノハ、國民ノ一般ニ付キマシテ、即チ國民ヲ通ジマシテ生活ヲ維持シテ行キマスル上ニ於テ、或ハ健康ヲ維持スル上ニ於テ、其他衣食住ニ付キマシテ必要ナ品物ト云フ風ナ意味デ申シテ居ルノデアリマス、個々ノ品物ニ付キマシテ申上ゲマセスト云フト、一般的ニ明確ニ茲ニ定義ヲ下シマスト云フコトハ、非常ニ困難ノヤウニ考ヘルノデアリマス、勿論生活必需品モ、何人ニ於テモ異論ノナキ生活必需品ト、嗜好品ノ範圍ニ屬シマスル物トノ境ニ付キマシテハ、頗ル議論ノ岐ルモノモ勿論アラウト思フノデアリマス、ソレ等ハ品物ニ付テ御判斷ヲ願ヒ、又必要ガアリマスレバ御尋ヲ願フヨリ外ハナイト考ヘルノデアリマスルガ、只今例ニ御取リニナリマシタ鳥卵デアリマスルガ、鳥卵ガ今日都會地ニ於テ、而モ中流以上ノ家庭ニ於テ使ハレル物デアツテ、即チ一般農村等ニ於テ

ハ鳥卵ハ生産ハ致シマスルガ消費ヲシナイモノデアアル、サレバ當局ノ生活必需品ト云フノモ、中流以上ノ生活ニ必要ナル物ヲ指シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、決シテ左様ナ考ハ持ッテ居ラナイノデアリマス、鳥卵ニ付キマシテモ、今日中流以上ニ於テハ勿論使ハレマスルガ、併ナガラ決シテ中流以上ノミニ依テ使用セラレテ居ルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、一般ニ使ハレテ居ルモノデアリマスルガ、併ナガラ尙ホ只今御尋ノヤウニ、農村等ニ於キマシテ十分ニ之ガ消費ガ普及シテ居ルカト申シマス、マダ一般的ニ十分ニ普及ハシテ居ラヌカモ知レスト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ鳥卵デアリマスルトカ、或ハ肉類デアリマスルトカ云フモノハ、段々生活ノ向上改善サレテ參リマスニ伴レテ、一般ニ消費セラレルヤウニナルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、單リ鳥卵ハ中流以上ノ家庭ニ於テノ生活ニハ必要デアツテ、サウデナイ者ニハ生活上不必要ナル物デアルト云フコトハ言ヘナイト思フノデアリマス、成ベク一般ノ人ガ、此鳥卵モ安ク消費ガ出來ルヤウニナルコトガ、最モ望マシイモノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今日鳥卵ガ高イ爲ニ、一般ノ人ガ使用シタクテモ使用出來ヌト云フヤウナコトモアラウト思フノデアリマス、サ

レバ是ガ安クナツテ參リマスコトハ、生活上ニ於テ、是ガ利用ノ上ニ於キマシテモ勿論必要ナルモノト考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、安クナツテ一般ガ之ヲ消費スルト云フコトニナルコトガ、寧ロ望マシイコトデアラウト思フノデアリマス、其點ニ於キマシテ、吾ミハ鳥卵ノ如キハ一般的ニ生活ノ必需品デアリ、即チ健康ヲ維持シテ行ク上ニ於テ必需品デアラウト考ヘルノデアリマス、然ラバソレ等ノ稅ヲドウスルカト云フ問題ニナツテ參リマススト云フト、此鳥卵ノ生産ト云フモノト、消費ト云フモノモ、年々増加シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、而モ今日ニ於キマシテ、尙ホ年々五千萬圓位ノ輸入ガアルノデアリマシテ、マダ内地ノ生産ノミデハ今日ノ需要スラ充スコトガ出來ナイ、而モ其價格モ高イト云フ風ナ狀態デアルノデアリマス、ソレ故ニ大正八年ニ於キマシテ、鳥卵デアルトカ、或ハ牛肉デアルトカ云フ風ナ物ハ、國民生活ノ必需品デアルトシマシテ、關稅ノ免除ガ緊急勅令ニ依テ行ハレテ居ルノデアリマシテ、之ヲ見マシテモ、是等ハ生活上ニ必要ナル物デアルト云フコトハ殆ド疑ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其關稅ガ免除サレマシタトキニ於テ、然ラバ内地ノ生産ガ非常ニ打撃ヲ受ケタカト申シマス、決シテ數字ノ上ニ於テハ打撃ハ受ケテ居ラヌノデアリマス、關稅ハ免除サレマシタガ、却テ國民

ノ需要消費ヲ増加スルト云フコトニナリマシテ、内地ノ生産モ從ッテ増加ヲシテ參ッテ居ルノデアリマシテ、關稅ガ一昨年ノ四月一日カラシテ復活ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテモ、少シモ此輸入ト云フモノモ減退ハ致シテ居ラナイノデアリマス、價格ガ餘程上ッテ居ルト云フヤウナ現狀ニナツタノデアリマス、云フモノガ農家ノ副業トシテ必要ナモノデアルト云フコトハ考ヘテ居リマスルシ、又一般ニ内地デ自給出來ルヤウナ時期ガ速ニ參ルト云フコトヲ、吾ミモ切ニ希望致シテ居ルノデアリマスルガ、今日ノ現狀カラ見マス、今申スヤウニ年々五千萬圓位鳥卵ヲ輸入シナケレバナラヌ狀況ニ在ルノデアリマスルカラ、之ヲ成ベク安クシテ、サウシテ此業ヲ發達サセルト云フコトガ宜シイデアラウト考ヘルノデアリマス、養鶏業ノ獎勵ニ付キマシテハ、農林省ニ於テ施設サレテ居ルノデアリマシテ、農林大臣モ見エテ居リマスカラ、必要ガアリマスレバ御話ガアラウト思ヒマスルガ、尙ホ之ニ就テ改良スベキ點ハ多々アルヤウニ吾ミハ承知致シテ居ルノデアリマス、即チ販賣方法等ニ付テモ之ヲ改良シテ、農家ノ收入ヲ殖スト云フコトガ必要ト考ヘルノデアリマシテ、單リ關稅ヲ引上ゲルト云フノミニ依ルモノデハナカラウト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ方法ニ依テ農家ノ收入ヲ

ハ鳥卵ハ生産ハ致シマスルガ消費ヲシナイモノデアアル、サレバ當局ノ生活必需品ト云フノモ、中流以上ノ生活ニ必要ナル物ヲ指シテ居ルノデハナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、決シテ左様ナ考ハ持ッテ居ラナイノデアリマス、鳥卵ニ付キマシテモ、今日中流以上ニ於テハ勿論使ハレマスルガ、併ナガラ決シテ中流以上ノミニ依テ使用セラレテ居ルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、一般ニ使ハレテ居ルモノデアリマスルガ、併ナガラ尙ホ只今御尋ノヤウニ、農村等ニ於キマシテ十分ニ之ガ消費ガ普及シテ居ルカト申シマス、マダ一般的ニ十分ニ普及ハシテ居ラヌカモ知レスト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ鳥卵デアリマスルトカ、或ハ肉類デアリマスルトカ云フモノハ、段々生活ノ向上改善サレテ參リマスニ伴レテ、一般ニ消費セラレルヤウニナルベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、單リ鳥卵ハ中流以上ノ家庭ニ於テノ生活ニハ必要デアツテ、サウデナイ者ニハ生活上不必要ナル物デアルト云フコトハ言ヘナイト思フノデアリマス、成ベク一般ノ人ガ、此鳥卵モ安ク消費ガ出來ルヤウニナルコトガ、最モ望マシイモノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今日鳥卵ガ高イ爲ニ、一般ノ人ガ使用シタクテモ使用出來ヌト云フヤウナコトモアラウト思フノデアリマス、サ

レバ是ガ安クナツテ參リマスコトハ、生活上ニ於テ、是ガ利用ノ上ニ於キマシテモ勿論必要ナルモノト考ヘテ居ルノデアリマスルカラ、安クナツテ一般ガ之ヲ消費スルト云フコトニナルコトガ、寧ロ望マシイコトデアラウト思フノデアリマス、其點ニ於キマシテ、吾ミハ鳥卵ノ如キハ一般的ニ生活ノ必需品デアリ、即チ健康ヲ維持シテ行ク上ニ於テ必需品デアラウト考ヘルノデアリマス、然ラバソレ等ノ稅ヲドウスルカト云フ問題ニナツテ參リマススト云フト、此鳥卵ノ生産ト云フモノト、消費ト云フモノモ、年々増加シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、而モ今日ニ於キマシテ、尙ホ年々五千萬圓位ノ輸入ガアルノデアリマシテ、マダ内地ノ生産ノミデハ今日ノ需要スラ充スコトガ出來ナイ、而モ其價格モ高イト云フ風ナ狀態デアルノデアリマス、ソレ故ニ大正八年ニ於キマシテ、鳥卵デアルトカ、或ハ牛肉デアルトカ云フ風ナ物ハ、國民生活ノ必需品デアルトシマシテ、關稅ノ免除ガ緊急勅令ニ依テ行ハレテ居ルノデアリマシテ、之ヲ見マシテモ、是等ハ生活上ニ必要ナル物デアルト云フコトハ殆ド疑ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、其關稅ガ免除サレマシタトキニ於テ、然ラバ内地ノ生産ガ非常ニ打撃ヲ受ケタカト申シマス、決シテ數字ノ上ニ於テハ打撃ハ受ケテ居ラヌノデアリマス、關稅ハ免除サレマシタガ、却テ國民

ノ需要消費ヲ増加スルト云フコトニナリマシテ、内地ノ生産モ從ッテ増加ヲシテ參ッテ居ルノデアリマシテ、關稅ガ一昨年ノ四月一日カラシテ復活ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテモ、少シモ此輸入ト云フモノモ減退ハ致シテ居ラナイノデアリマス、價格ガ餘程上ッテ居ルト云フヤウナ現狀ニナツタノデアリマス、云フモノガ農家ノ副業トシテ必要ナモノデアルト云フコトハ考ヘテ居リマスルシ、又一般ニ内地デ自給出來ルヤウナ時期ガ速ニ參ルト云フコトヲ、吾ミモ切ニ希望致シテ居ルノデアリマスルガ、今日ノ現狀カラ見マス、今申スヤウニ年々五千萬圓位鳥卵ヲ輸入シナケレバナラヌ狀況ニ在ルノデアリマスルカラ、之ヲ成ベク安クシテ、サウシテ此業ヲ發達サセルト云フコトガ宜シイデアラウト考ヘルノデアリマス、養鶏業ノ獎勵ニ付キマシテハ、農林省ニ於テ施設サレテ居ルノデアリマシテ、農林大臣モ見エテ居リマスカラ、必要ガアリマスレバ御話ガアラウト思ヒマスルガ、尙ホ之ニ就テ改良スベキ點ハ多々アルヤウニ吾ミハ承知致シテ居ルノデアリマス、即チ販賣方法等ニ付テモ之ヲ改良シテ、農家ノ收入ヲ殖スト云フコトガ必要ト考ヘルノデアリマシテ、單リ關稅ヲ引上ゲルト云フノミニ依ルモノデハナカラウト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ方法ニ依テ農家ノ收入ヲ

殖シ、而モ鳥卵ノ價格ヲ下ゲ得ルモノ
デアラウト思フノデアリマス、サウ云
フ點カラ致シマシテ、一方ニハ五千萬
圓ノ輸入ガアリマスモノニ付テハ、成
ベク之ヲ安クスルコトガ必要デアリマ
シテ、卵ノ如キハ主トシテ中産階級以
下ノ方ニ消費サレルモノト私ハ承知シ
テ居ルノデアリマスルガ、サウ云フモ
ノハ成ベク之ヲ安價ニシテ、サウシテ、
一方ニハ内地ノ養鶏業ト云フモノニ付
テ之ヲ助長致シマシテ、サウシテ内地
デ自給スルト云フ時期ニ達セシメルコ
トガ適當ナルコトデアラウト云フヤウ
ナ考カラ致シマシテ、六圓ヲ四圓五十
錢ニ下ゲタト云フコトニナツテ居ル次
第デアリマス、鳥卵ヲ例ニ御取リニナ
テノ御話デアリマスルガ、私ハ前申
上ゲマスヤウナ理由ニ依リマシテ、鳥
卵ノ如キモ國民ノ生活ノ必需品デア
ルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○岡田委員 生活改善ノ講義ナラバ、
私ハソレデ結構ダト思ヒマス、併ナガ
ラ是ハ其實際政策デアリマシテ、ソレ
ガ直ニ利害ガ及ブノデアリマスカラ、
今ノヤウナ御説デアリマスルト、ドウ
シテモ私共ハ了解スルコトガ出來ナイ
ノデアリマス、局長ハ常ニ此各論ニ御
這入リニナリマスルガ、各論ノ御希望
ナラバ、私モ多少其方ノ材料ヲ持ッテ居
リマスルカラ申シテモ宜シイノデアリ
マスルガ、私ハ各論ニ入りマス前ニ根

本方針ヲ伺ッテ居ルノデアリマスルカ
ラ、何所カラドウ這入ッテ行ッテ、ドウナ
ルト云フ其關係ノ見様ガ幾ラモアリマ
スシ、吾々ノ方ニモ材料ガアリマスガ、
ソレハ又別ニ御伺シマス、ダガ今ノ局
長ノ御説明ニ依ルト云フト、私ハ卵ガ
中流以下ニ必要ガ無イナドト云フコト
ヲ申上ゲタノデアリマセヌガ、サウ
云フ御意見トスレバ承ッテ置キマス、卵
ガ中流以下下層社會ニモ必需品ダト言
ハレル、ソレデモ宜シイ、併シソレハ都
會ガケデアリマセウ、若シ農村ノ小農
モ必需品トシテ用ヒテ居ルト云フ御調
ガアルナラバ伺ヒタイ、吾々ハ年中調
ベテ居リマスガ、ソレハ無イノデアリ
マス、個々ノ農家ヲ見レバ、ソレハアリ
マスケレドモ、大局カラ見ルト之ヲ必
要品トシテ居ナイ、必需品トシテ使フ
ヤウニナツテ居ナイ、サウシテ見マス
ト假ニ之ヲ局長ノ御觀察ノ如ク、都會デ
ハ下等社會マデモ必需品トシテ使ッテ
居ルトスルナラバ、都會生活ノ便利ノ
爲ニハ田舎ノ小農ハ仕方ガナイ、迷惑
デモ忍バナケレバナラヌト云フコトニ
ナルノデアリマスガ、サウ云フ御方針
デアアルノカ、ソレヲ伺ヒタイ、ドウ云フ
御方針デアアルノカ、若シサウデナイト
スルナラバ、事實ニ於テサウナツテ居
ルハ、ソレハ判斷ヲ間違ヘタノデア
ル、誤リヲサレタノデアアルカ、若シソレガ
誤リデナイトスルナラバ、此事實ヲド
ウ云フ風ニ説明サレルカ、ソレヲ承リ

タイ

○黒田政府委員 私モ卵ガ總テノ家庭
ニ於テ今日必需品トシテ消費サレル
マデ申上ゲタ積リデハナイノデアリマ
ス、御話ノ通り或ハ卵ヲ用ヒナイト云
フ所モ勿論アラウト思ヒマス、併ナガ
ラ大體カラ見マシテ、卵ハ一般ニ是カ
ラ消費サレルモノデアルト云フ風ニ考
ヘマスカラ、生活ノ必需品デアルト云
フ風ニ申上ゲタ次第デアリマス、サウ
シテ都會ノ消費者ノ利益ヲ圖レバ、ソ
レ等ノ生産者ハ迷惑ヲ受ケテモ差支ナ
イト云フ考デアアルカト云フ御話デゴ
イマスガ、其點ニ付キマシテハ、生産者
ニモ迷惑ヲサセナイト云フ程度ニ於テ
消費者ノ利益ヲ圖ッテ居ルノデアリマ
ス、是ハ前ニモ申上ゲマシタ通りデア
リマス、今例ニ御取リニナリマシタ
一各論ニ入ル譯デアリマセヌガ、假
ニ一例ヲ鳥卵ニ取リマシテモ、此稅率
ヲ多少引下ゲルコトガ、鳥卵ヲ生産シ
テ居ル農家ノ迷惑ニナルトハ考ヘテハ
居リマセヌ、先程モ申上ゲマシタ通り、
農家ノ收入ニハ左程是ハ影響スルモノ
デナイト云フ風ニ考ヘテ居リマスル爲
ニ、一方ノ犧牲ニ依テ一方ノ利益ヲ圖
ルト云フ趣旨デハ毫モナイノデアリマ
ス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイ

トシテモ此關稅ヲ下ゲテモソレハ生産
者ニ不利益ヲ及ボサナイ、ソレカラ田
舎ノ方デモ多ク用ヒルトカ、關稅以外
ニ於テ方法ガアルトカ云フコトヲ以
テ、此關稅ノ問題ヲ決スル資料ニハナ
ラスト私ハ思フ、ソレハ關稅以外ノ方
法ニ於テモ方法ハ幾ラモアリマス、ア
リマスケレドモ、ソレハソレ是レハ是
レトシテ合ハスナラバ、併セテ其對策
ヲ立テ、行クベキデアリマスガ、ソレ
ハ別ニシナケレバイケマセヌ、關稅ノ
如キハ關稅ノ影響ノミカラ私ハ考ヘテ
居リマス、ソレニシマシテモ結局今ノ
局長ノ御説明ニ依ルト、要スルニ大藏
省デハ此鶏卵ノ如キモノハ必需品デア
ル、農村ノ者ガソレヲ必需品トシテ居
ラウガ居ルマイガ、ソレハ別トシテ、兎
モ角ソコ等近邊ノ都會ニ安ウシテ使
セタイ、ソレガ爲ニ價格ヲ安ウシタイ、
安クシタイ爲ニ關稅モ下ゲタ、サウシ
テ安ウシタイノデアアルカラ實際安ウ
ナツタ、ナツテモ農業者ニハ打撃ハナイ
ト思フ、斯ウ仰ッシャル、ソレハ全ク見
解ノ相違デアリマスカラ、此ト御尋シ
テモ仕方ガナイカラ、此問題ハ是デ略
シマセウ、次ニ是モ一二ノ問題ニ於テ
凡ソノ精神ガ窺ハレマスケレドモ、一
寸伺ヒタイノハ、是ハ午前中ニモ數々ノ
御質問中ニアッタガ、矢張大臣ノ説明中
ニ、内地ノ生産業デアツテ、或ル程度ノ保
護ヲ加ヘルナラバ自給ノ見込ノアルヤ
ウナモノハ、之ヲ厚ク保護シテ獎勵ス

ル、其増殖ヲ圖ルト言ハレマシタ、是ハ然ルベキデアルト思ヒマスガ、恐ラク大藏當局ノ御精神ハ工業ノミニ限定サレテ居ルノデアアルマイカト想像サレル、ソレハ工業ノ方ヲ見マス、例ヘバ硫酸「コバルト」ノ如キハ昨年マデハ全部輸入品デアッタ、大阪 或ル會社ガタツタ一ツ、僅ノ生産ヲスルノミデアッタ、生産スレバ是カラ出來ル見込ハアリマセウ、其量ハ極メテ僅ナモノデ、昨今ハ中止シテ居ルサウデアリマスガ、サウ云フ少額ノモノデアッテ、又去年漸ク製造ヲ始メタバカリ、其品ガ良イヤラ惡イヤラモマダ分ラズ、量ニ於テ極メテ少イモノデモ、無稅カラ百斤百二十八圓ノ稅ヲ課シテ、サウシテ生産ヲ獎勵スルヤウニナツテ居リマス、染料デアアルトカ、其他ノ物モサウ云フ精神ヲ以テオヤリニナル、私ハ決シテソレガ惡イトハ申シマセヌ、我國ノ工業ヲ發達サセルコトハ宜イト思ヒマスガ、併ナガラ農産物ニ至ッテハソレ以上ニ響キ、サウシテ金額カラ云ッテモ少シノコトデ直グニ數千萬圓ニナル物ガアッテモ、一向ソレガ事實ニ現レナイヤウニ見エル、隨テ矢張同ジヤウニ私共ハ内地ノ産業ト云フモノヲバ、矢張工業ニ限定シテ、原始生産ニハサウデハナイカト云フ疑ヲ持ッタサレルノデアリマス、私實ハ金屬二三ノ品ト、工業品ノ二三ノモノ、農産物二三ノ物ト比較シテ御伺スル積リデアリマシタケレドモガ、今日ハ大要

ダケ伺ヒマシテ又他ノ場合ニ伺ヒマシガ、念ノ爲ニ農工ニ於テ非常ニ差別ヲシテ、其重要程度ヲ御考ニナツテ居ルヤウニ想像サレルガ、ソレハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、モウ一ツ此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○黒田政府委員 御尋ノ點ハ農業工業ニ付キマシテ差別ヲシテ稅率ヲ定メタ

ノデハナイカト云フヤウナ御疑念デアリマスガ、決シテ左様ナコトハナイノデアリマス、何レモ同ジヤウニ見テ居

ルノデアリマス、唯農産物ノ方ニ於キマシテハ、既ニ長イ間我國ニ於テ生産サレ、發達シテ來テ居ルモノデアリマ

ス、又一面カラ見マスルト、多クノモノガ生活ノ必需品ニ當ル、或ハ原料品ニナルト云フ風ノモノニナルノデアリマ

ス、然ルニ工業品ノ方ニ付キマシテハ、近年色ニ生産ガ發達シテ參リマシテ、

今マデ出來ナカッタ物モ或ハ出來ルヤウニナツタ、或ハ研究ノ結果、今マデハ

生産ガ引合ハナカッタモノモ相當安ク出來ルヤウニナルト云フ風ニ、近來

一殊ニ戰時戰後ニ於キマシテ外國ノ貿易狀況ガ變リ、戰爭中ニ於テ或物ハ輸

入ガ杜絶シタト云フヤウナ關係カラシテ、内地ニ於テソレ等ノ研究ガ著シク

進ミマシテ、生産ガ出來ルヤウニナツテ參ッタト云フ風ノ物モアルノデアリマ

トニナリマス、自然其方ニ商工ノ品物ガ多イト云フ風ナ結果ニハナツテ參

テ居ルカモ知レスノデアリマスガ、又一覽サレマシタトキニサウ云フモノガ

御目ニ留マッタモノカト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ風ナ關係カラ自然

ニ生ジタ結果デアリマシテ、其ノ結果一方ヲ輕ク視、一方ヲ重ク視ルト云フ

ヤウナ考ハ毫モ持ッテ居ラナイノデアリマス

○岡田委員 ソレデ分リマシタ、ソレデ宜シイノデアリマスカラ別ノ時ニ御

伺致シマシテ、此項ハ是デ止メマス一モウ一ツ大藏當局ニ伺ヒマス、此二

日ノ報知新聞デ見マシタ所ガ、目下支那ノ關稅會議ガ段々稅率ガ面倒ニナツ

テ、我國ノ立場上、關稅會議ト並行シテ關稅互惠稅率ノ正式交渉ガ開始サレタ

トカサレルトカ云フコトデアリマス、所デソレニ對スル當局ノ腹案ト云フモ

アリマセウガ、此所ニ矢張最初カラ私ノ申上ゲタコトガアル、此方カラハ成

ベタ工業品ヲ拵ヘテ向フヘ賣出ス、ソレハ兎ニ角從來稅率如何ニ拘ラズ我國

トハ特別ノ關係ヲ持チ、特別ノ條約ノ下ニ成ベク低イ稅デヤツテ呉レ、其代リニ

向フカラ來ル所ノ食糧品ヤ原料品ハ、無稅カ無稅ニ近イ極ク低イ稅デ取入レ

ルカラト云フ意味ラシイ、是ハ矢張前ニ申シタ通り工業ガ少シデモ發達スル

必要上、之ニ高イ稅ヲ課セヌヤウニト云フノデ、是ハ洵ニ結構デアアル、ソレハ

宜シイガ、其代價トシテ農産物ナドハ安ク無稅デ來テ、ソレガ矢張内地デハ

無制限ニナツテ居ルカラ其壓迫ハ甚シクナル、支那ノヤウナ天然資源ノ豐富

ナル所カラ、斯ウ云フ條約ノ下ニ原料品、食糧品ガサウ這入ッテ來ルヤウニナ

リマシタナラバ、是ハ我が日本ノ農業ノ大脅威デアルト思ヒマス、而モソレ

ガ農業ノ代價ノ無稅デアラナラバマダ

シモデアリマス、是ハ國產ニ對スル維

持ノ考ニ適ハヌ所デアリマス、斯クナ

レバ農業者ガ今日以上衰微シテ遂ニ思

想ガ惡化スル、其結果或ハ不祥ナ事ニ

ナリハシマイカト吾々ハ考ヘルノデア

リマス、所ガ是ハ新聞デアリマスカラ、

私ハハットモ内容ヲ知ラヌノデアリマ

スガ、若シ斯ウ云フコトガアリマス、

之ニ對シテ相當ニ左様ナ事ノ起ラナイ

ヤウニ、此方ニハ一ツノ政策ガナケレ

バナラヌデアリマスガ、是ハドウ云

フ風ニ御運ビニナッテ居ルカ、或ハ又ドウ云フヤウナ御精神デアアルカ、若シ御説明ガ出來ルナラバ、出來ル範圍ニ於テ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○矢吹政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、關稅會議ノ事ニ付キマシテハ、マダ議事進行中デアリマスノデ、十分内容ニ付テ立入ッテ御話ノ出來兼ネルコトヲ遺憾ト致シマス、併ナガラ大體ノ事ヲ申上ゲマス、御承知ノ通り十一月十九日ノ委員會ニ於キマシテ、支那ニ關稅自主權ヲ認メルト云フコトヲ列國ガ承認致シタノデアリマス、將來出來マス條約ノ中ニ、支那ノ關稅自主權回復ノコトハ明記サレルコト、存ズルノデアリマス、而シテ支那ハ千九百二十九年ノ一月一日ヨリ自主權ニ基タル國定稅率ニ依テ關稅徵收ヲヤラウト云フコトモ主張シ、是亦列國ガ認メタノデアリマス、其所デ第一ニ心配致シマス點ハ、支那ガ關稅自主權ニ依テ勝手ニ作り得ル關稅ガ、我國ノ産業上大ナル打撃ヲ與ヘル虞ガアリハシナイカト云フ點デアリマス、此點ニ付キマシテ日本カラ參ッテ居リマス日置全權以下非常ニ心配シ、又運動致シマシテ、兎ニ角支那ト日本トノ間ニ於テ關稅自主權回復後ニ處スル協定稅率ヲ約束シヤウト云フコトヲ支那ノ方デモ承諾致シマシテ、其所デ如何ナル協定稅率ヲ其所ニ盛ルカト云フコトガ現在ノ問題デアリマス、日本ト致シマ

シテハ出來ルダケ多クノ商品ニ對シテ協定稅率ヲ作ッテ、我國ノ支那ニ對スル輸出貿易ニ打撃ノ少カラシコトヲ、又一層貿易ノ増進スルコトヲ目的トシテ決メナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ支那ノ方ハ稅率自主權ヲ回復シテ、國定稅率ニ依テ總テノ關稅ヲ決メヤウト云フ其際ニ於テ、日本ノ主張スルガ如ク、又日本ノ期待シタルガ如ク、出來ルダケ澤山ノ協定稅率ヲ設ケマシテ、其自主權ニ對スル例外ヲ多クスルト云フコトハ、支那トシテハ好マナイコトデアリマス、併ナガラ支那ハ或ル程度ノ所謂日本ノ特殊ナル商品ニ付テハ、協定稅率ヲ決メヤウト云フコトハモウ申シテ居ルノデアリマシテ、其特殊ナル貨物ハ如何ナル範圍マデニナルカト云フコトガマダ決マラナイノデアリマス、而シテ支那カラ協定稅率ニ依リ日本ノ輸出貿易ニ對シテノ不利益ヲ避ケルヤウナコトヲ得マスレバ、ドウシテモ日本トシテ支那ニ對シテ、矢張協定稅率ニ依テ何等カノ利益ヲ支那ニ與ヘナケレバナラナイ破目ニナッテ居ルノデアリマス、此點ニ於テ只今ノ御懸念ガ生ジタノデアラウト思フノデアリマスガ、只今仰セノ如ク日本ガ協定稅率ヲ支那ニ與ヘルコトニ依テ、協定等ニ重大ナル打撃ヲ與ヘル虞ガアリハシナイカト云フコトハ、今日内容ノ發表サレナイトキニ於キマシテハ、御心配御尤ト思ヒマス、併ナガラ吾々當局ト

致シマシテハ、其協定ヲ決メマス際ニ於テ、左様ノ問題ノ起ラヌコトヲ以テ精神ト致シテ、其協定ニ關スル會議ニ臨ム覺悟デアリマス、結果ニ於テハ只今仰セノ如キ憂フベキ場合ハ生ジナイコト、考ヘテ居リマス

○岡田委員 今ノ問題ハ私モマダ十分内容ヲ知リマセヌカラ、御説ノヤウデアリマシタラ大シタ心配モナイカモ知レマセヌ、尙又他日教ヲ受ケマセウ、次ニハ農林大臣ニ少シ伺ヒタイト思ヒマス、澤山アリマスガ、成ベク略シテ一、二點伺ヒタイ、私根本方針ニ付テ大藏當局ニ御伺シマシタラ、例ヘバ雞卵ノ如キモノハ下ッテモ格別生産者——小農ニハ迷惑ハ掛カルマイト云フヤウナ御見解デアッタ、左様ナ御見解ダト言ハレレバソレ迄デアリマスガ、農林省トシマシテモ一面デハ昨年モ養雞等ニ付テハ、特ニ彼ノ農村振興費ノ中カラ養雞獎勵ニ對スル費目ヲ取ッタリシテ御獎勵ニナッテ居ル、殊ニ工業上ニ關スル稅率ナドト云フモノハ金額ノ幾何——五圓トカ十圓トカ云フ關係ヲ計算シテ、唯ソレノミノ利害ガ響クダケデアリマセウガ、農業ニ間スル關係ハサウデハナイ、金ハ假令一圓デモ五十錢デモ、國家ハ事情ノ許ス限リ農業ニ十分ノ理解モ誠意モ持ッテ此所マデ行ッタト云フコトニナリマス、其金ガソレダケ響クバカリデナク、農業ニ從事シテ居ル者ハ研究者デモ指導者デモ、國トシテノ根

本政策ハ十分ニ盡セルダケハ盡シテ居ルノダカラ、アトハ吾々ガヤラナケレバナラヌト云フ一ツノ心ヲ以テ動イテ來マスカラ、茲ニ影響ガ非常ニ多イ、二圓上ゲタカラ三圓下ゲタカラ、其二圓三圓ガ動クト云フコトデナクシテ、生産上ニ大ナル關係ヲ持ッテ來テ、都合ニ依リマスト上ゲタ其事情ガ直グニ價ヲ下ゲルヤウナ結果ニ、大量生産ガ出來テ來ヤウト思フ、私ハサウ信ズルノデアル、先日モ農林大臣ハ左様ナ意味ノ御説明ニナッテ、ソレガ私ハ政策トシテ良イ結果ダト思ヒマスガ、サウナッテモ農業者ハ決シテ不平ヲ言ハヌト思フ、デアルカラ關稅率ノ農業ニ對スル影響ト云フモノハ、餘程大キク響クノデアルト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、例ヘバ雞卵ノ如キデモ之ガ二割五分下ゲテ一圓五十錢下ゲル、ソレハ成ベク價ヲ安クシテ、必要品トシテ何處デモ用ヒルヤウニサセタイ、ソレニハ輸入稅ヲ下ゲテ少シデモ安クシタイ、其結果ハ安クナッテモ小農生産者ニハ響キハシナイト云フ大藏當局ノ如キ御考ノ下ニヤッタナラバ、是ハ寧ロ研究者デモ獎勵者デモ、ソシナ馬鹿氣タコトデハ熱心ニヤルコトハ出來ナイヤウニナル、精神上ノ阻喪ヲ來ス、此點ガ大變吾々ト觀察ガ違フノデアリマスガ、農林省ニ於テモ果シテ同ジヤウニ、關稅ヲ下ゲテ安クシテモ生産者ニハ影響ガナイト云フヤウナ御考デ居ラレルノ

カドウカ、若シ然リトスルナラバ、少シ
バカリ税金ヲ下ゲタト云フコトハ、價
格ガ下ガル所デハナイ、今度ハ精神上
ノ打撃ニ依テ、何等カ熱心ノ度ガ薄ク
ナルヤウニナツテ、生産ガ減ジタトシテ
寧ロ上ガルヤウナ反對現象ガ起リハス
マイカ、元來現在ノ六圓ト云フモノヲ
一個ノ卵ニ割ッテ見レバ、普通ノ物デ五
厘ニ付カナイ、四厘八毛位ニ相當スル、
ソレカラ一厘バカリ下ゲタ所ガドウナ
ルダラウ、五錢デ賣リ居タモノヲ四錢
八厘デ賣ルト云フヤウナ事ヲスルデア
ラウカ、恐ラクサウ云フコトニハナラ
ス、即チ下ゲタ結果ハ消費者ノ利益ニ
アラズシテ、中間商人、輸入商トカ云フ
者ノ利益ニナリ終リハスマイカ生産者
ヲ壓迫シ消費者ニ利益ヲ與ヘヌ、退ク
ニ退カレヌヤウナ事ガ起ッテ來ル
全部デハアリマスマイガ、左様ナ結果
ガ起リハスマイカト云フコトモ考ヘラ
レルノデアリマスガ、要スルニ農產物
ハ、農業者ガ是ハ詰ラナイト考ヘルノ
ト、何デモ一生懸命デヤラナケレバイ
ケヌト考ヘルノトハ、大變ナ違デアリ
マスガ、農林大臣モ矢張大藏大臣ト同
ジヤウナ御考デアリマセウカ、念ノ爲
ニ御伺シタイノデアリマス

ニ付テノ方針ニ付テハ、大藏省ノ考ヘ
テ居ル所、大藏大臣ノ説明シテ所ト私
ガ考ヘテ居ル所ト別ニ變ッテハ居ラヌ
ノデアリマス、唯言葉ノ使ヒヤウデソ
レガ違ッテ居ルヤウニ取ラレテモイカ
ヌノデアリマス、又私共ガ言フコトヲ
解釋セラレル上ニ於テ、極端ニ解釋ヲ
セラレルト云フコトニナルト、大藏大
臣ノ述ベラレタ所ヲ非常ニ極端ニ解釋
ヲセラレタノト、筋ガ違ッテ來ルヤウナ
風ニナラナイニモ限ラヌノデアリマス
ガ、大體ノ方針ハ無論變ッテ居ラヌ、是
ハ各論ニ入ル譯デモナイノデアリマス
ガ、例ヘバ鳥卵ノ例ヲ今御引キニナリ
マスカラ、私ハソレニ付テ説明ヲスル
ノデアリマス、是モ先般來私ハ繰返シ
テ申シタノデアアル、鳥卵ハ一般ノ農業
者ガ夙ニ大切ナ副業トシテ其生産ニ努
メテ居ル、而シテ農林省トシテハソレ
ヲ獎勵シテ、出來得ル限りノ保護ヲ盡
サナケレバナラヌト云フ考ヲ持ッテ居
ルト云フコト、是ハ間違アリマセヌ、併
シ保護シナケレバナラヌト云フ考ヲ持
ツテ居ルナラドウダト云フコトニナル
ト、此間私ガ申シタ通りニ、現在ノ卵ニ
對スル全般ノ消費ノ盛シナコト、云フ
モノハ、二年々歳々増加シテ行クガ爲ニ
内地ニ於テ生産ヲスル鳥卵デハドウシ
テモ消費ニ充ツルニ足ラヌ、是ハ御認
メニナツテ居ルコト、信ズルノデアリ
マシテ、非常ニ懸隔ガアル、ソレデア
ルカラ只今ノ所デハ一般ノ消費ヲ充ス爲

ニハ、安イ卵ガ外國カラ入ッテ來ルト云
フコトハ、必シモ一般農業者ノ打撃ニ
ハナラナイ、何故打撃ニナラナイカト
云ヘバ、第一ハ値段ノ點モ大分違フガ、
性質モ違フノデアアル、消費ガ非常ニ盛
ンデアッテ供給ガ足ラヌノデアアル、内地
ノ生産者ダケデハドウシテモ供給ガ足
ラナイ、是ハ他日非常ニ鳥卵ノ事業ガ
發達ヲシテ來テ、内地ダケデ鳥卵ハ外
國ノ物ヲ入レル必要ハナイ、自給スル
ニ足ルト云フ時期ガ來ルカモ知レナイ
ガ、今日デハマダ洵ニ前途ガ遠イノデ
アリマスカラ、左様ニ認メテ居ル、一方
保護スル必要ガアルケレドモ、併ナガ
ラ此生活ノ必需品ガ外國カラ入ッテ來
ル、即チ一般ノ需要ヲ充スコトニスル
ト云フ點ニ於テハ、必シモ農業者ノ甚
シキ打撃ニナルト云フ譯デハアルマ
イ、ソレデアリマスカラ生活必需品ト
云フ點カラノミ何デモ、鳥卵ノ關稅ハ
ドウナツテモ宜イト云フヤウニ考ヘテ
居ルノデアナイ、其所デ私ガ先般來繰返
シテ調和ト云フ言葉ヲ使ッタノデアリ
マス、一方ニ於テハ此事業ヲ保護シナ
ケレバナラヌケレドモ、一方ニ於テハ
此生活ノ必需品ニ對スル課稅ト云フモ
ノハ、成ベク輕クスルト云フ方針デナ
ケレバナラヌ、生産者ト需要者ノ間ノ
調和ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコト
ヲ繰返シテ申上ゲタノハ其爲デアリマ
ス、左様デアリマスカラ農業者ガ非常
ニ打撃ヲ受ケルト云フ、精神的ノ衝動

ヲ受ケルダラウト云フ御話デアリマス
ガ、ソレモ無論當局者トシテ考ヘナケ
レバナラヌ點デアリマス、小サイ農業
者ガ精神的ニ非常ニ衝動ヲ受ケテ、ソ
レガ打撃ニナルト云フコトガアッテハ
ナラヌカラ、政府ニ於テハ——農林省
トシテハ、此鳥卵ノ生産ト云フコトニ
付テハ相當獎勵ノ途ヲ講ジナケレバナ
ラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル、唯消費ト供給
トノ關係ニ於テ前申ス通りデアリマ
ス、是ハ各論ノ場合ニ於テ十分御攻究
ヲ願ヒタイト思ヒマスケレドモ、總體
ニ於テ考ヘタ所デ、私共ハ此關稅ノ改
正ト云フコトガ今言フ方針ニ悖ッテ居
ルトハ考ヘテ居リマセヌ、即チ一方ニ
ハ必シモ此打撃ヲ受ケルノヲ等閑ニ付
スルト云フ譯デナイ、保護スベキモノ
ハ保護シナケレバナラヌ、但シ一般消
費者ノ方ノ點モ考ヘテ、其間ノ調和ヲ
圖ラナケレバナラヌト云フ方針デア
ルノデアリマスカラシテ、是ハ岡田君ノ
御述ニナツタ通りニ、此方針ガ惡イト云
フコトデナイ以上ハ、尙ホ此實際ノ狀
況ニ付テ能ク御考察下サルコトヲ希望
スルノデアリマス、ソレデアリマスガ
ラシテ大藏大臣ノ述ベラレタル所ト、
私ノ申ス所トハ別ニ變ッテ居ラヌト云
フコトヲ繰返シテ申シマス

○岡田委員 結局ハ多少見解ノ違ヒト
云フコトニナルデセウ、今日ハ何レニ
シテモ多少打撃ガアルダラウ、サウ考
ヘテ居リマスガ、是ハ別ニ申上ゲテ、サ

ウ云フ御見込ダト云フコトヲ伺フタコトニ致シマセウ、モウ一ツ伺ヒタイノハ、ソレハ此間カラ出ル小麥ノ問題デアリマス、是ハ御承知ノ通りニ年々——ツイ近年ニ至ッテ輸入ガ激増シテ五百萬、五百六七十萬、昨年ハ三百萬石モ入ッテ居リマス、恐ク是ハ前途米以上ノ重大ナル問題トナルト思ヒマス、非常ニ輸入ノ増加率ガ多イノデアリマス、金額モ三百萬トカ五百萬ト云フ小サイモノデハナイノデアリマシテ、七千萬、八十萬、一億圓ト云フ多額ヲ占メテ居リマスガ、是ハ十年前ニ五六百萬圓デアッ其生産ガ其割合ニ殖エナイ、殆ド十年、十一、二年前ト差異ガナイノハ、私共非常ニ疑義ヲ持ッテ居ルノデアリマス、之ヲ稻作ノヤウニ——御承知ノ通り小麥ノ生産要件ハ非常ニ内地ニハ備ハッテ居ルノデアリマシテ、我國ノ如ク土地ノ狭イ所ノ食糧政策ハ成ベク土地ヲ集約的ニ利用シ、夏ノ氣候デモ冬ノ氣候モ利用セラレルト云フコトガ非常ニ必要デアッテ、小麥ハ關西デハ二度土地ヲ使ヒ、冬ノ氣候ト冬ノ勞力デ生産セラレルノデ、非常ニ重要ナ點デアリマスカラ、之ヲ或程度價額ニ於テノ生産要件ヲ與ヘサヘスレバ段々ニ殖エテ、三百萬石ヤ五百萬石ノ增收ト云フコトハ非常ニ容易ナモノデアリマスガ、少シモ殖エテ居ラナイ、少シモト云フテモ年々多少移動ガアリマスガ、概シテ殖エ

テ居ラナイ、唯需要ノ増加ハ輸入ノ増加ト云フコトニ依テ理合ガ取レテ居ルト云フコトニナッテ居リマスガ、此事實ヲドウ云フヤウニ御觀察ニナッテ居レルノデアリマセウカ、昨日デアリマシタカ、豫算委員會デ東郷君ガ農業政策ノ根本ハ何レニアラカト云フ間ニ對シテ、若槻總理大臣ハ斯様ニ御答ニナリマシタ——是ハ新聞デ見マシタガ、農業ト食糧問題トハ密接不離ノ關係ガアルカラ一括シテ述べマス、各方面ノ自給自足ガ唱ヘラレタ時代ガアッタガ、物ニ依テハ自給自足ノ圖レナイ物モアル、而シテ農村ヲ振興シ、食糧ノ自給自足ダケハ是非圖リタイ、斯ウ云フ御意見デアリマス、總理ノ御意見ハ總テノ物ノ自給自足ハ困難ダ、サウスレバ無理ガ行クデアラウガ、唯食糧ノ自給自足ダケハ是非圖リタイト言ハレルノハ、是ハ多少其處ニ無理ガアッテモ、一部分ノモノニハ迷惑ハ多少及ンデモ、水遠ノ利益ノ爲ニヤラレタイト私ハ解釋シタイノデアリマス、然ルニ一方ズンズン入ッテ、其輸入額ガ今ヤ一億圓近イモノニナッテ來ヤウト云フ、一方ニハドウカト云フ土地モアル、勞力モアル、サウシテ農業者ハ冬ノ仕事ガナクテ困ッテ居ル、斯ウ云フ状態デアルノニ、ソレガ決シテ殖エテ行カナイト云フコトハ、要スルニ天然資源ノ豊ナ國カラ安イ物ガ入ッテ來ル、サウシテ價格ノ關係上、生産費トノ釣合上一向増サナイノ

デアリマシテ、是コソ關稅政策其他ノ理論的、根本的關稅政策ニ依テ、一ツ茲ニ價格ニ對シテ適當ナ途ヲ開イテ置イテ、サウシテ一方デ獎勵シテ置ケバ、間モナク價格モサウ高クナラズ、關稅ニ影響ハナクテ、生産ヲ増スデアラウト思ヒマス、然ルニ今度見マスト云フト、小麥ハ据置、据置ト云フノハ現狀デ適當ナ保護デアラウ、ソレニ依テ自給サレルデアラウ、自給セラレテモ差支ナイ、一億圓這入ラウガ、二億圓ニナラウガ差支ナイ、斯ウ見ラレルノデアラウガ、薩張リ分ラナイ、今度ノ改正ニ依テ食糧政策ノ根本ノ精神ガ分ラナイ、首相ノ唱ヘラレルヤウニ、食糧ノ自給ダケハ是非圖リタイト云フコトナラバ、又其自給ノ出來ナイ原因ガ技術ニアラズ、土地ニアラズ、栽培法ヲ知ラザルニアラズシテ、唯價格ノ一點ニ在ルト云フコトガ認メラレル、其時ニ於テ此關稅政策ニ於テハ、ソレニ觸レズニ四十年ノ決定ノ儘デ置カレテ居ルノハ、是デ宜イト見ラレルデアラウトシカ見ラレナイ、其宜イト云フコトノ意味ガドウデアルカ、是デモ小麥ハ十分ニ生産ヲ増シ得ル見込ガアルト云フ方ノ見込カ、サウデハナイ、殖エハシナイ、十年ノ成績デ殖エテナイ、ソレデ差支ナイト云フ方ノ御考ニ依ルノカ、但シハ又少々ノ獎勵ヲ加ヘタ所デ殖エルベキ見込ガナイ、技術ナリ何ナリニ於テ見込ガナイト云フノガ、是ガ食糧政策

ト農業政策ノ岐レル大事ナ點ダト思ヒマスカラ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○早速國務大臣 食糧ノ自給ト云フコトニ付テハ、無論私共モ是非力ヲ注ガナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居リマス、兎ニ角非常ニ困難ナル問題デアリマスケレドモ、食糧ノ自給ヲ圖ルト云フ此目的ノ爲ニハ、出來ルダケノ力ヲ入レナケレバナラヌコトハ勿論ノ話デアリマス、農業政策ノ根本ガ是カラ割出サレテ居ル、總理大臣ノ昨日述ベマシタ意思モ私共ノ考モ、別ニ違ッタコトハナイ、是ハ即チ一ノ政策トスベキ目的ヲ示シタモノデアリマスガ、然ラバ現在ニ於テドウデアアルカト云フト、ソレハ岡田君ナドハ御承知ノ通り、非常ニ努力ヲ要スルト考ヘナケレバナラヌ、食糧ノ増殖ヲ圖ル、或ハ品質ノ改良ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、無論別ニ大ニ攻究スベキ點モアル、努力シナケレバナラヌ、關稅ノミニ依テ此食糧ノ自給ノ政策ノ足シニスルト云フ風ニ考ヘル譯ニモイカヌ、是ハ相俟テ行カナケレバナラヌカラ、ソコデ是ト生活必需品トノ調和論ハ、只今ノ小麥ノ問題トシテモ私ハ唱ヘル、關稅ヲ少シ上ゲレバ殆ド小麥ノ自給ガ出來ルカノ如キ御意見メヤウニ承リマシタガ、ソコハ程度問題デ、關稅ガ少シ上ル、サウスルト數年ノ後ニ小麥ノ作付反別ガ増シテ、生産力ガ殖エルト云フ風ニモ私ハ能ウ

考ヘヌノデアリマス、此小麥ノ生産増殖ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコト

置キマス

様ナ綿密ナル資料ヲ以テ申上グルノハ又別トシテ置キマシテ、要スルニ是デ行キタイ、是ガ宜イト云フ私ハ考モナイガ、一番大切ナルハ價格デアル、其價格ト云フコトニ依テ農家ガ大ニ力ヲ出シタリ少シ値ガ良イト直グ麥作ヲ餘計作ル、値ガ惡ケレバ廢メテシマウト云フヤウニ、價格ニ依テ支配ヲサレルト云フコトハ事實デ、是ダケヤレバ他ハドウデモ宜イト云フコトデハナイノデアリマスガ、根本ハ價格デアッテ、其價格タルヤ外國ノ競争品ガアル以上ハ、此關稅ト云フ根本ニ於テ、ソコニ何等カノ政策ヲ施シテ置イテ、サウシテ後ニ獎勵ヲ持ッテ行クト、ソレガ十分活キテ來ル、四萬圓ガ其爲ニ働イテ來ルノデアリマスガ、其儘デ價格ノ方ヲ抛ッテ置クト、他ノ事ガ十分ニ行ハレナイ、故ニ關稅ノ根本ニ於テ出來ルダケ茲ニ獎勵ノ意味ヲ加ヘタイ、ソレデナケレバイカスト私共ハ信ズルノデアリマス、併ナガラ決シテ農林大臣ノ御意見ノ根本、奧ノ方ノ考ヘ方ニ何モ彼モ違ッテ居ルトハ思ヒマセスガ、現在ノ稅率ニ於テモ、他ノ方デ獎勵サヘスレバ出來ヤウト云フコトニ付テハ、ドウシテモ是ハ吾等ハ見解ガ違フ、出來ナイ事實ガ何所ニ在ルカ、小麥ノ獎勵ヲヤッテ、十箇年經ッテモ殖エナイノハ價格ノ點ニ在ル、ソコヘ行ッテ幾ラ技術上ノ事ヲ言ッテモソレハ見當ガ違ヒマス、缺陷ニ持ッテ行ツテ指摘セズシテ他ノ事ヲヤッテモ、ソ

考ヘヌノデアリマス、此小麥ノ生産増殖ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトハ、農林省トシテモ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ僅ナガラモ此小麥ノ改良増殖ト云フコトニ付テハ、私共努力シテ居ルト云フコトハ、豫算デモ御認メヲ題ヒタイノデアリマスガ、關稅ヲ少シ上ゲレバ、直ニ小麥ノ自給ト云フコトガ行ハレルト云フ風ニハ考ヘ得ナイノデアリマス、或ル程度マデハ關稅ノコトモ考ヘナケレバナラヌノデアルガ、併ナガラ之ヲ大ニ引上ゲルト云フコトハ、小麥ノ需要者ニ對シテ關係ガ如何デアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、農林省ノ精神トシテハ、矢張小麥ノ改良増殖ヲ圖ルト云フ精神ハ異ナル所ハナイト云フコトヲ御認メヲ願ハナケレバナラス、食糧自給ノ目的ヲ達スル爲ニ進ンデ行クト云フ精神ハ異ナラナイノデアアル、唯之ヲ關稅引上ノミニ依テ其目的ヲ達セントスルト、一方生活必需品トシテ消費者ニ對シテ非常ニ迷惑ヲ掛ケルコトニナリハシナイカ、其點ヲ考ヘ双方ノ調和ヲ圖ッテ行カナケレバナラス、是ガ即チ今回ノ關稅改正案ノ出來タ所以ナノデアリマス、是ハ程度問題デアリマス、岡田君ノ御考ニナル所モ、私共ノ考ヘルノモ、總テ程度問題デアリマスケレドモ、何レ是ハ各論ニ入ッテ、小麥ナラ小麥ト云フコトニ付テ、十分御研究ヲ題ハナケレバナラヌノデアリマス、今ハ總體論デアリマ

○岡田委員 實ハ私ハ農林省ノ御意見ヲ強テ伺ヒタクナイ、私ハ農林省ノ御意見ハ十分ニ承知致シテ居ル、諒ト致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ動モスレバ他ノ政策ノ爲ニ農林省ノ主張ガ始終旨ク行カナイノデアラウト云フヤウナ、餘計ナ考ヲ持ッテ居リマスルカラ、言ッテ見ルマデノモノデアリマス、今仰シヤッタヤウニ、關稅ノミト私ハ決シテ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラソレヲ此所デ強テ關稅ノミト云フヤウニ御考ニナレバ、ソレト同ジ事ニ、來年度四萬圓ノ小麥改良費ヲ御出シニナルコトニナテ居リマスガ、其四萬圓デソレデ自給自足ガ出來ルカト云フコトヲ以テ御尋スルト同ジ事デアリマス、關稅デモサウデアリマス、ケレドモ小麥ノ生産ガ今日増加シナイト云フ所以ハ、生産費ト價格トノ釣合ガ取レナイ、其價格ハ外國輸入品ノ壓迫ニ依ルト云フ價格ノ一點デアルト云フコトハ明カデアル、而モ其生産費ヲ三通リモ四通リモ研究シテ、今世間ニ謂ッテ居ル生産費ハイケナイ、農家ニ向ッテハサウ云フモノデナイ、斯様ニスレバモット生産費ガ安ク出來ルト云フコトヲ言ッテ居リマス、ソレ等ハ十分ニ考慮シテ差引イテヤッテ見テモ、大正十一年ナドハ小麥ノ栽培ニ對スル勞力ハ六十五錢ニシカナッテ居ナイ、一番良イ時デ九十錢ニナッテ居リマスガ、左

○倉元委員 農林大臣ニ御同致シマス、先刻來岡田君ノ御質問ニ對シマシテ御答ニナリマシタ所ニ依リマシテ、今回ノ關稅改正ニ對スル農林大臣ノ御態度御方針ト云フモノガ大體窺ハレルノデアリマスガ、併シ需要者ト消費者ト生産者トノ調節ヲ圖ラナケレバイカヌ、此調和ヲ圖ルコトニ重キヲ置イタト云フコトノ一言ニ盡キテ居ルヤウニ窮ハレルノデアリマスガ、併シ農家經濟ニ重大ナ關係ヲ持チマス、此關稅改正ガ左様ニ唯生産者ト需要者ト調節ヲ圖ル、調和ヲ圖ルコトヲ以テ目的トスルト云フ一言デハ、吾々ハ承知スル譯ニ行カヌ、農林省ノ方針トシテハ、地方農村ノ現狀ニ鑑ミテ、相當之ニ對スル一定ノ方針ガアッタニ違ヒナイ、例ヘバ先刻來鳥卵トカ、落花生トカ云フヤウナ方面ニ對スル大藏當局ノ御答辯ヲ承ッテモ、幾ラカ方針ガ窺ハレルノデアリマスガ、主トシテ主要食糧ニ對シテノ方面デハ、斯ウ云フ風ニ此關稅ニ對シテノ考慮ヲ拂フ、或ハ副業ノ方面デハ斯ウ云フ方針デ此關稅ノ改正ヲシタノデアルト云フヤウナ、大藏當局ト農林省トノ打合ノ下ノ御方針ガアッタト思ヒマス、之ニ對シテ私ハ承リタイ、今ノ岡田君

ノ質問ニ對スル調和一點張ノ御答辯ヲ以テシテハ、私其満足出來ナイ

○早速國務大臣 一定ノ方針ハ唯農林省限りニ依ルト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、是ハ能ク御諒承ヲ願ハナケレバナラヌ、前刻岡田君モ何カ御批評ニナツタヤウデアリマスガ、政府ノ今回ノ關稅改正ノ方針トシテ重要ナ産業ニ付テ保護シナケレバナラヌト云フコトハ、大藏大臣ガ言ハレタ通りデアル、ソレカラ原料ト云フヤウナモノニ對シテハ相當ノ取捨ヲシテ、之ヲ輕クシテ内地ニ入レルコトモ努メナケレバナラヌ、ソレカラ生活必需品ニ對シテハ、成ベク稅ヲ輕クシ、或ハ之ヲ無稅ニスルト云フヤウナ方針ノ下ニ、一般國民ノ生活必需品ノ價ヲ高クシナイヤウニ努メル、此三種ノ方針ト云フモノハ定マツテ居リマス、私ガ申スノハ矢張ソレデアル、其方針ニ於テ關稅ノ改正ト云フモノハ企テラレ、サウシテ此案ガ出來ノデアル、農林省トシテノ考ヘ、所謂先般來ヤカマシク私ニ御尋ガアルノハ農產物ノ關稅ニ付テハドウ考ヘテ居ルカト云フノデアリマスカラ、私答ヘテ曰ク、無論農產物ノ關稅ニ付テハ相當保護スベキ物及今日ニ於テハ故ラニ保護シナクテモ宜イト云フ物モアリマス、併ナガラ主要食糧品ト云フヤウナモノニ對シテハ、之ヲ自然ニ放任シテ置ク譯ニハ行カヌ、之ニ相當ノ保護ヲ加ヘルト云フコトニ付テハ、私共ノ意

見ニ變リハナイノデアリマス、ソレナラバ高イ稅率ヲ定メテ、其關稅デ以テ大ニ保護スレバ宜イデハナイカト云フ御説ガ出ルカモ知レマセヌガ、ソコガ即チ程度問題ト申ス所デアリマス、餘

リ農產物デアアルカラト云ツテ、必要ナル品物ニ對シテ高イ稅ヲ課スレバ、生活必需品ノ價ガ非常ニ騰貴シテ、ソレガ爲ニ多數ノ國民ノ生活ヲ脅スコトニナリマスカラ、是ハ避ケナケレバナラヌ、ソレデ丁度其間ノ調和ヲ圖ツテ行カナクテハナラヌ、小麥、烏卵ニ付テハ屢御尋ガアリマスガ、私ハ私ノ見ル所ヲ答ヘテ居リマス、私ノ御答ニ満足セラレナイ點ガアルカ知レマセヌガ、關稅改正ノ方針トシテハ左様デアリマス、此大體ノ方針ノ下ニ此關稅改正ノ率ガ定マツタノデアリマス、如何ニモ農業經濟ノ上カラ見ルト農產物ノ保護ハ大切デアル、其一方ノミカラ考ヘテ、農產物ノ關稅ハ引上ゲルノガ當然デアルト云フヤウナ議論モ出テ來ルノデアリマスケレドモ、唯徒ニ高イ關稅ヲ課スルノミガ此改正ノ目當ニ適フモノデハナイ、一般多數國民ノ生活モ考ヘナケレバナラヌ、即チ其間ノ調和ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ私ノ説ガ出テ來ルノデアリマス、尙ホ私ガ先刻來申シマス如ク各論ニ於テ、其品物ニ付テ、アアダ斯ウダト仰シヤルコトハ、ドウカ政府委員ト意見ヲ突合ハシテ戴キタイノデアリマスガ、大體根本的ノ關稅改正ノ方針

ハ斯様デアルト云フコトハ、幾度御尋ニ會ツテモ之ヲ繰返ス外ハナイノデアリマシテ、ドウゾ是デ御諒承ヲ願ヒタイ

○倉元委員 私ハソレ以上答辯ヲスル必要ハナイト云フ風ノ御答デアリマスカラ、又重ネテ申シマセヌガ大體農產物ノ今回ノ改正ノ狀況ヲ見マス、大體據置ニナツタノガ大部分ノヤウデアル、私共何時モ不滿ヲ抱クノハ、農產物ガ常ニ一般物價トノ權衡ヲ失シテ居ル、何故ニ農產物ガ低位ニ置カレルカ、是ガ農家經濟ノ振ハナイ所以デアルト云フ實況ニ在ルノデアリマスカラ、此邊ヲ御考慮ニナリマシタナラバ、今回ノ關稅改正ノ場合ニハ、農林當局トシテハ關稅方面カラシテ、農家經濟ノ緩和ヲ圖ル方針ニ出ラレルモノト期待シテ居リマシタガ、只今ノ農林大臣ノ御答カラ之ヲ考察スルト云フト、農家生産品多數ヲ通ジテ、今ノ價格ヲ以テ當然デアルト云フ風ニ御覽ニナツテ居ルヤウニ思ハレマス、農林大臣ハ關稅改正ニ依テ、農家全體ノ農生産品ニドウ云フ風ノ影響ヲ及ボスモノト御覽ニナツテ居ルカ、ソレヲ承リタイ

○早速國務大臣 前刻申述ベマシタ趣意ニ依テ、今回ノ關稅改正ノ案ガ定マツテ居リマス、稅率ト云フモノハ私ハ今日是ガ適當デアルト考ヘテ居ル、是ガ直ニ農家ニ對シテ惡イ影響ヲ及ボスト

ハ考ヘテ居リマセヌ、農林省トシテ此農事上ノ獎勵助長ト云フヤウナ問題ニ關シテハ、是ハ別問題デアリマス、唯關稅ノ改正案ニ定メテアル通りデ、直ニ惡イ影響ヲ及ボストハ私ハ考ヘテ居ルモノデアリマス

○倉元委員 是ハ先程農田局長カラ岡田君ニ御答ニナリマシタノデアリマスカラ、鳥卵ノ如キ農產品ヲ總テ吾々ハ無視シタ譯デハナイ、一部分ニハ斯ノ如キ例モアルデハナイカ、故ニ副業獎勵ノ爲ニ斯ウ云フ風ニ認メテ居ルト云フコトヲ以テ、落花生ノ例ヲ御引キニナツタヤウデアリマス、私共ハ早速農林大臣ガ先程御答ニナルヤウニ農家ノ實情ヲ見テ居リマセヌ、鳥卵ニ對スル農家ノ立場ト云フモノハ、頗ル今日デハ副業的重要ナ地位ヲ占メテ居ルノデアリマス、是ハ申ス迄モナク御承知ノ筈デアリマス、然ラバ此副業ニ對スル今回ノ關稅改正ノ方針ト云フモノハ一定シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスケレバナラヌト云フヤウニ御述ニナツテ居リマス、併シ需要供給ノ點カラノミ御考察ニナルト云フト、サウ云フ御考モ起ルカモ知レマセヌガ、私共農家ノ日夕ノ實情ヲ能ク田舎ニ居ッテ存ジテ居リマスル狀況ニ依リマス、農家

今日ノ經濟ノ狀態、養鶏ノ實情ヲ調査シ
マスト云フト、農林大臣ガ今御述ニナ
ルヤウニ、農家ニ多大ノ影響ハアルマ
イト云フヤウナ一言ヲ以テ葬ル譯ニハ
行カス、ソレデアリマスカラ此落花生
ニ付テ左様ニ副業ヲ重要視セラレ、御
獎勵ニナル御方針ノ下ニ之ヲ御上ゲン
ナルト云フノデアッタナラバ、少クトモ
鳥卵ノ如キハ御据置ニナル位ノコトハ
當然デアッタラウカト私共ハ考ヘル、此
點ハ大藏大臣デモ農林大臣デモ宜シウ
ゴザイマスガ、一應其方針ガ私共ハ一
貫シテ居ラヌヤウニ思ハレル、ソレモ
先程農林大臣ノ御答ノ如クデアッテ、ソ
レハ吾ミト君ノ言フ所トハ見解ヲ異ニ
スルカラ答辯ノ限リデナイト仰シヤレ
バソレ迄デアルケレドモ、少クトモ此
點ハ私ハ甚ダ農家ノ實情ニ極メテ當局
トシテ疎イ話デアルト云フ風ニ考ヘマ
ス

○黒田政府委員 私ヨリ御答申上ゲマ
スデアリマスガ、先程農家ノ副業ノモ
トニ付キマシテ、鳥卵ノ問題ガ出マシ
タ際ニ、鳥卵ニ於キマシテハ税率ヲ幾
分引下ゲマシタガ、併シ農家ノ副業デ
アリマシテモ、例ヘバ落花生ノ如キハ、
税率ヲ幾分引上ゲテ居ルト云フ一例ニ
落花生ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレ
ニ依テ如何ニモ副業ニ對スル税率ノ盛
リ方ガ、其主義一貫ヲ缺イテ居ルデハ
ナイカト云フ風ナ御疑念ノヤウニ承ッ
タノデアリマス、是ハ決シテ私ハ主義

ノ一貫ヲ缺イテ居ルト云フヤウニハ考
ヘテ居ラナイ、即チ先程來度ニ申上ゲ
マシタヤウニ、農家ノ副業ヲ獎勵スベ
キモノハ勿論獎勵シナケレバナラス、
併ナガラ一方ニハ消費者ノ方ノ立場モ
考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ申上
ゲタノデアリマス、其主義デ兩方共一
貫致シテ居ルノデアリマス、簡單ニ申
上ゲマスレバ、鳥卵ニ付キマシテハ先
程モ申上ゲマシタヤウニ關稅ヲ下ゲマ
スト云フコトガ、養鶏業ト云フモノニ
大シテ打撃ヲ與ヘルモノデナイト、サウ
シテ消費者ノ價格ヲ下ゲ得ルト云フ風
ニ考ヘテ居リマスカラ、鳥卵ノ關稅ヲ
下ゲテ宜シイト云フ風ニ考ヘタ、何故
ニ打撃ヲ與ヘナイカト云フコトニ付テ
ハ、是ハ又其各論ノ際ニ於テ詳シク申
シタ方ガ適當デアラウカト思ヒマスカ
ラ省略致シマスガ、然ルニ一方ニ落花
生ニ例ヲ取リマシタカラ落花生ニ付テ
申上ゲマレバ、落花生ハ内地ニ於テ栽
培ニ適シタ面積ハ非常ニ澤山アルノデ
アリマス、近來支那邊リカラ參リマス
落花生ノ品質ガ改善サレマシテ、内地ノ
食用ニナリマスル落花生ト競争スルヤ
ウナ狀況ニナッテ參タノデアリマスカ
ラ、之ヲ此儘ニ放任シテ、今日ノ稅其儘
ニ据置ニ致シテ置キマス、内地ノ落
花生ノ栽培ト云フモノハ擴張サレナイ
バカリデナク、或ハ其品質ニ於テ競争
シ得ル支那ノ落花生等ニ壓倒サレルト
云フ虞ガアルヤウニ考ヘルノデアリマ

ス、ソレ故ニ之ニ對シマシテハ多少稅
率ヲ上ゲテ、サウシテ内地ノ栽培、生産
ヲ助長スルト云フコトガ内地ノ副業ヲ
助ケル、一方ハ稅ヲ上ゲナケレバ今日
農家ノ副業ヲ助長スルコトガ出來ナイ
ト考ヘ、一方ハ稅率ヲ下ゲマシテモ養
鶏業ト云フモノハ勸メテ行クコトガ出
來ルト云フ風ニ考ヘマスカラ、結果ニ
於テハ一方ハ下ゲ一方ハ上ゲテ、而モ
同ジ目的ヲ達シ得ル、即チ目的カラ申
シマスレバ主義ガ一貫致シテ居ルト考
ヘテ居ルノデアリマス、決シテ其間ニ
矛盾ハナイノデアリマス、又消費ノ方
カラ見マシテモ、落花生ノ方ニ於キマ
シテハ、先程モ必シモ生活必需品ト申
サレナイト云フヤウニ申シタノデアリ
マスガ、サウ云フ譯デアリマスカラ、多
少此際ニ價格ハ上リマシテモハ差支
ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア
リマス、其他ニ於キマシテ例ヘバ農家
ノ副業トシテ牛ノ乳ノ如キ、是モ乳ヲ
原料トシマスル生産事業、即チ「コンデ
ンスミルク」等ヲ多少保護致シマシテ、
サウシテ農家ノ副業ト云フモノ、有利
ニナルヤウニシタ物モアルノデアリマ
ス、是モ目的カラ申シマシテ同ジ目的
デアリマシテ、決シテ其中ニ矛盾ハナ
イト確信致シテ居ル次第デアリマス

○倉元委員 今回ノ關稅改正ニ依リマ
ス增收ト申シマスガ、平年度デ千九百
數十萬圓、十五年度デモ八百幾十萬ト
カ云フ御話デゴザイマス、此數字ニ對
シテ農生産品——穀類始メサウ云フ廣
キ農業ト云フ意味ニ於ケル生産品ニ依
テ增收セラル、モノガ、幾割アルノデ
アリマスガ、ソレヲ承リタイ

○黒田政府委員 一寸是ハ只今其調ヲ
持チマセヌデゴザイマス、全體ニ付キ
マシテハ先程午前ニ於キマシテ、御答
ヲ掘切君ノ御質問ニ對シテ申上ゲタヤ
ウナ次第デアリマスガ、農生産品其他
ノモノニ分ケルト云フコトハ、是ハ餘
程手數ガ掛カルコトデゴザイマス、
一應ハ取調ベテ見マスデゴザイマス
ガ、只今アリマセヌカラ、直ニ差上ゲル
ト云フマデニハ參ラヌカト思ヒマス

○星島委員 私ハ今回ノ關稅大改正ニ
對スル政府ノ御用意ノ程度ヲ大藏、商
工、農林ノ各省ノ方ニ御伺シタイ思
フ、幸ニ農林大臣ガ御出デゴザイマス
カラ、第一番ニ農林大臣ヨリ伺ヒタイ
ト思フ、一體此十數年目ニ行ハル、關
稅ノ大改正、本來ヨリ言ヒマスレバ私
ハ本期議會ニ於ケル最モ大キナ案デア
ラウト思フノデアリマス、何トナシニ
豫算、稅制、關稅ト斯ウ三ツニナッテ居
リマスケレドモ、一般ノ様子ガ稅制ヨ
リモ、豫算ヨリモ、寧ロ關稅ハ三流位ニ
ナッテ居ル、委員長ノ位置カラモサウ
ナッテ居ル、私ハ實際カラ云ヘバ一番今
日ノ實生活ニ關聯シマシテハ、關稅ガ
本議會ニ於テモ一番重大ナモノデアラ
ウト思ヒマス、豫算ヨリモ稅制ヨリモ、
關稅ノ委員ニナルコトヲ私ハ希望致シ

テ居ル一人デアリマス、サウ申シマス
ルノハ、一體政府ガ此様ナ大改正ヲス
ルニ當リマシテハ、非常ナ用意ガ要ル、
根本ノ思想、是等ニ對スル政府ノ信念
ヲ問ヒタイ、唯議員ノ參考ノ爲ニ出シ
タト云フヤウナコトデハナクシテ、本
當ニ必要ナル大キナ案ヲ出サレ以上
ハ、若シ政府ノ出シタ案ガ通ラナカッタ
ナラバ、議會ヲ解散スルゾト云フ所マ
デノ強イ信念、斯ク云フ問題ノ爲ニ解
散サレル程ニ日本ノ政治ノ進歩ヲ私ハ
見タイト思フ、所ガドウモ今回ノ政府
ノ態度ヲ見マスルト、サウ云フ信念ガ
見エテ居ナイ、少々ノコトナラ妥協シ
テモ宜イト云フコトヲ最早仄メカシテ
居ル、其點ヲ考ヘテ見ルト、今回ノ計畫
ヲ立テル政府ノ御用意ハ、十三年ノ八
月頃カラ政府部内ニ於テ開カレテ居リ
マシタガ、ソコニハドウ云フ顔觸ノ人
ガ集マラレテ居ルカ知レマセヌガ、兎
ニ角一年ノ間ドウ云フ方ガ御集リデ、
ドウ云フ御議論ガアリマシタカ、サウ
云フコトハ又何レ後ニ御尋致シテ見タ
イト思ヒマスガ、先ヅ第一ニ農林大臣
ハ、農林省ガ出來テ、議會ガ始マッテ初
テ此機會ニ出ラレ、而モ斯ウ云フ重大
ナル案ヲ持ッテ出ラレタノデアリマス
ガ、私ハ此案全體ノ中ニ農林大臣トシ
テドウ云フ根本ノ方針ヲ以テ御臨ミニ
ナリマシタカ、實ハ私個人ト致シマシ
テ、コ、一年ノ間ニ思想ノ變化、或ハ政策
上ノ考、斯ウ云フ問題ニ打突カリマシ

タ結果ト致シマシテ、最近ノ總テノ世
界ノ大勢ナリ或ハ日本ノ將來立ッテ行
ク上ニ於テ、私個人トシテモ思想ノ上
ニ變化シタノデアリマス、其最モ大ナ
ル一ツノ條項トシテ御聞キシテ見タイ
ト思ヒマスノハ、實際日本ノヤウナ小
サイ國カラ申セバ、私共ハ産業立國ノ
言葉ノ中ニ商業立國デアルト云フコト
ヲ極ク自由ナ意味カラヤッテ見タイト
思ッテ居リマス、所ガ御互ガ幸福ナル生
活、所謂住ミ心地ノ宜イ所ニ住ンデ行
クト云フコトハ、必シモ生産的ニ富ン
デ行クノデハナク、唯皆ガ仲ノ好イ平
和ナ生活ヲシテ行クト云フコトハ、寧
ロ國家ガ執ッテ行クベキモノデアアル、或
ハ富國強兵、富國強兵ト云フヤウニ、ド
ンドン一方ニ貿易方針デ立ッテ行クト
同時ニ、強イ兵ヲ作ルト云フヤウナコ
トヲ言フケレドモ、ソレハ間違ッテ居
ル、ソレハ軍國主義ノ變形ニ過ギナイ
ノデアアル、矢張此日本ノヤウナ小サイ
國デアッテモ、全國ニ普遍的ニ幸福ナル
文化生活ヲシナケレバナラヌト云フヤ
ウナ思想、殊ニ佛蘭西ノ長ク執リマシ
タ所ノ政策、アレ程佛蘭西ガ傷ミマシ
テモ、此政策ガアッタ爲ニ實ニ佛蘭西ハ
強味ガアッタ、我が日本ハ明治維新以來
急激ニ進歩ヲ致シマシタガ、其一ノ弊
害トシテ都會集權主義、即チ維新ノ一
ツノ反影トシマシテ餘リニ都會中心主
義ニナリマシタ、總テノ法律、總テノ經
濟問題ガ都會中心主義ニナッテ居ル、管

ニ經濟ノミナラズ人物ノ上カラ見マシ
テモ、總テノ有能ノ人ガ都會ニ集ッテ居
ルト云フコト——又現在サウナリツ、
アルト云フコトハ、日本ノ國家トシテ
憂フベキ現象デアリマス、羅馬ノ亡ビ
タ現象ハ即チ都會中心ノ結果デ、有能
ナル人ガ羅馬ニ集ッタ結果羅馬ハ亡ビ
タノデアリマス、斯ノ如ク都會中心主
義、中央集權ノ結果衰微シタト云フヤウ
ナ歴史ヲ見タトキニ、私共ハ近代中央
集權ノ餘リニ過ギテ居ル現象、政治ノ
上ニモ、法律ノ上ニモ、總テノ政策ノ上
ニモ、殊ニ經濟ノ上ニモ現レテ居ルコ
トヲ私ハ見タノデアリマスガ、ドウモ
サウ云フ傾向ノアルコトハ遺憾デアリ
マス、矢張地方ニ分布シナケレバナラ
ヌト云フコトヲ沁々覺エル、殊ニ現在
日本ノ生活狀態ガ都會ト地方ノ生活ニ
於キマシテ實ニ十年、二十年ノ隔リガ
アル、是ハ確ニ日本ノ弱味デアアル、亞米
利加ガ非常ニ近來物質文明ガ發達シ
マシテ、亞米利加ガ紐育中心、華盛頓中
心ニナッテ來テモ、或ハ亞米利加全體ガ
引繰返ルト云フコトヲ想像シテ研究シ
テ見マシテモ、實ニ亞米利加ハ地方分
布ト云フコトガ出來テ居テ、無論華盛
頓中心主義、紐育中心主義トナリマシ
タケレドモ、非常ニ地方的ニ分布サレ
テ居ルト云フコトヲ見マシテ、決シテ
心配スルヤウナコトニナラナイ、ソレ
等ノ點ハ矢張亞米利加ハ偉イト斯ウ思
フノデアリマス、日本ノ今日ノ缺點ハ

餘リニ都會ニ人物ガ集ル、餘リニ總テ
ノ政治、總テノ設備、或ハ色々ナ保護ヲ
スル狀態、社會政策ニ致シマシテモ、都
會中心主義ノ社會政策デ、是等ヲ見マ
シテモ大ニ是ハ立直シヲシナケレバナ
ラヌ、私共ハ實ニ都會中心主義ニカブ
レテ居ッタ、併ナガラ是ハ間違ッテ居リ
マシタ、平和ナル生活、幸福ナル生活ヲ
爲スニハ地方ニ分布サレナケレバナラ
ナイ、否、モット農村ヲ保護シ、ウント援
助シテ、サウシテ本當ニ礎ヲ築キ、眞ニ
平和ナル住ミ心地ノ宜イモノヲ現出シ
ナケレバナラナイ、斯ウ云フ意味カラ
最近次第ニ斯ウ云フコトガ識者ノ間ニ
現ハレテ、現ニ稅制ノ上ニ、或ハ其他各
方面ニ現ハレテ居ルコトヲ非常ニ喜ン
デ居ルノデアリマスガ、其際ニ於キマ
シテ此關稅政策ガ立變ヘラレタ、勿論
先程來ノ御言明ノ如ク稅率ヲ高クスル
ノヲ以テ農村ノ改善ヲ圖レルト云フヤ
ウナコトハ私共モ考ヘテ居リマセヌ
ガ、此影響ノ最モ多イ問題ヲ取扱ハレ
ルニ當リマシテ、農林大臣ハ地方ノ農
村ト最モ關係ノ深イ所管大臣デアリマ
スカラ、此大改正ヲサル、ニ當リマシ
テ、地方農村ノ爲ニ如何ナル用意
各論ニ互ッテノ御説明ハ聽キタクアリ
マセヌガ、少クトモ最初ノ改正委員會
ヲ開カレル場合ニ、委員會ニ對シテ如
何ナル大方針ヲ持ッテ臨マレ、如何ナル
大方針ヲ示サレタノデアリマスカ、何
カ大キナ方針ヲ示シテ、此方針ノ下ニ

實行サレタニ相違ナイト思ヒマスガ、其中ニ農林大臣トシテハ一體如何ナル大方針ヲ持ツテ臨マレタノデアリカ、或ハ如何ニ終始サレタカ、或ハ此改正案ノ中ニ是レ々々ノ部分ガ斯ウ云フ意味デ改メラレタト云フコトガアリマスレバ、此際承ツテ置キタイト思ヒマス

○早速國務大臣 此關稅改正ノ事業ハ洵ニ重大デアルト云フ御説ハ無論同感デアリマス、政府ガ此關稅ノ改正ヲ企テマシタコトニ付テハ、無論十分ノ考慮ヲ廻ラシテ、今言葉ニ言ヘバ相當ノ用意ト云フモノハ無論豫メアッタノデアリマス、此案ヲ作リマスニ至リマスマデハ、政府當局ノ苦心ト云フモノハ一方ナラザルモノガアッタ、十三年ノ八月カラ委員會ヲ設ケタト云ヒマスケレドモ、現ニ大藏省ノ當局者ノ如キハ、其委員會ガ設ケラレル前ヨリ既ニ此問題ニ付テハ討究ヲ重ネテ來テ居タノデアリマス、諸其委員會ハ、前刻組織ノコトニ付テモ御話デアッタカラ簡單ニ申シテ置キマスガ、大藏省ノ當局、ソレカラ今デハ商工省、農林省、其當時ノ農商務省、或ハ外務省關係ノ各省カラ數名宛ノ委員ヲ出シテ、最初ハ先ヅ無論只今御話ノヤウニ此關稅改正ノ大體ノ方針ト云フモノヲ定メテ掛ツタノデアリマス、矢張大體ノ方針ト云フヤウナコトヲ申セバ、今回ノ關稅改正ノ方針ガ茲ニ在ルト申上ゲタ、アレ等ノ點ヲ申サナケレバナラヌノデアリマス、是ハ即チ今日デハ公ケニナツテ居ルノデアアル、其委員ハ非常ニ精勵ヲシテ、個々ノ品物ニ付テ各般ノ調査ヲ遂ゲタノデアリマスカラシテ、其間ノ苦心ト云フモノハ私共ハ殊ニ多カッタト云フコトヲ信ジテ居リマス、隨分澤山アル品物ニ付テ、一々色ミナル關係ヲ調査シテ行カナケレバナリマセヌカラシテ、苦心モ中ミ尠カラザルモノガアッタ、斯ウ云フ風ニシテ此案ガ出來タノデアリマス、非常ニ努力ノ結果此案ガ出來タノデアリマスカラシテ、政府ハ無論此案ニ向ッテ議會ガ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ居ル、唯浮イタ考デ、本案ハドウ間違ツテモ宜イト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デハナイノデアリマス、政府トシテハ無論此案ニ向ッテ諸君ノ御協賛ヲ得ベキ確信ヲ有シテ居ル、而シテ諸君ガ此案ニ向ッテ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ居ルノデアリマ

ス、政府當局トシテノ用意ハ、決シテ其慎重ヲ缺イテ居ルト云フヤウナコトハナイノデアツテ、深ク研究ヲシ深ク用意ヲシテ此案ガ出來タノデアルト云フコトダケハ、一ツ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、其事ニ付テ農林大臣トシテ、一體ドウ云フ方針ヲ以テ此案ヲ作ルコトニ對シテ臨ンダカト、斯ウ云フ風ノ御尋デアアル、御議論ヲ承ツタノデアツテ、私御説ヲ批評スル譯デハアリマセヌガ、都會集中主義ハイカスト云フヤウナ御意見ニ對シテハ、私共モソレニ異

アリマスカラシテ、無論、此農林省關係ノ品物、即チ農村ニ關係ノアル品物ハ澤山アリマス、農林省關係デ申スト云フト、農村ト云ヒ一方ニハ漁村ト云ヒマスガ、是ハ一緒ニシテ見テモ宜イ、或ハ山林ニ關係ノアル物モアル、サウ云フ物ハ澤山ニアルノデアリマス、是ハ何レ此案ヲ御覽下サレバ御分リニナルト信ズルノデアリマスルガ、要スルニ大體ノ方針ト云フモノハ、只今申シタ通りデアツテ、此農業ノ生産物ニ對シテハ、相當ノ保護ヲ加ヘナケレバナラヌト云フノハ其方針カラ割出シテアルノデアリマス、私ハ決シテ前刻ノヤウナ論ヲシテ、一般ノ國民ノ生活ヲ考ヘナケレバナラヌト云フ議論ヲスルカラト云ツテ、ソレデ農村ヲ輕シテ居ルト云フ意味デハナイ、ソレハ全體ノ關稅ノ稅率ヲ定メル上ニ付テ、此兩者間ノ調和ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ說ヲ唱ヘタノデアアル、要スルニ農業ノ政策トシテ、一般ノ農產物ニ對シテハ相當ノ保護ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ考ハ私持ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、所謂農村振興ト云フ農業政策カラ割出シタル大體ノ方針ハ、此關稅ノ改正ヲスルト云フコトニ付テモ私ハ動イテ居ルノデアリマセヌ、其方針ヲ以テ此關稅改正ニハ臨ンデ居ル、大體ハ之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○星島委員 私ノ質問ガ頗ル漠トシテ居リマシタカラ、モウ少シ具體的ニ申

ナケレバナラヌノデアリマス、是ハ即チ今日デハ公ケニナツテ居ルノデアアル、其委員ハ非常ニ精勵ヲシテ、個々ノ品物ニ付テ各般ノ調査ヲ遂ゲタノデアリマスカラシテ、其間ノ苦心ト云フモノハ私共ハ殊ニ多カッタト云フコトヲ信ジテ居リマス、隨分澤山アル品物ニ付テ、一々色ミナル關係ヲ調査シテ行カナケレバナリマセヌカラシテ、苦心モ中ミ尠カラザルモノガアッタ、斯ウ云フ風ニシテ此案ガ出來タノデアリマス、非常ニ努力ノ結果此案ガ出來タノデアリマスカラシテ、政府ハ無論此案ニ向ッテ議會ガ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ居ル、唯浮イタ考デ、本案ハドウ間違ツテモ宜イト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デハナイノデアリマス、政府トシテハ無論此案ニ向ッテ諸君ノ御協賛ヲ得ベキ確信ヲ有シテ居ル、而シテ諸君ガ此案ニ向ッテ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シテ居ルノデアリマ

ス、政府當局トシテノ用意ハ、決シテ其慎重ヲ缺イテ居ルト云フヤウナコトハナイノデアツテ、深ク研究ヲシ深ク用意ヲシテ此案ガ出來タノデアルト云フコトダケハ、一ツ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、其事ニ付テ農林大臣トシテ、一體ドウ云フ方針ヲ以テ此案ヲ作ルコトニ對シテ臨ンダカト、斯ウ云フ風ノ御尋デアアル、御議論ヲ承ツタノデアツテ、私御説ヲ批評スル譯デハアリマセヌガ、都會集中主義ハイカスト云フヤウナ御意見ニ對シテハ、私共モソレニ異

議ハナイ、ノミナラズ都會集中主義ト云フモノガ甚ダ弊害ノアルモノデアルト云フコトモ、私共モ認メテ居リマス、近時農村振興ト云フ聲ガヤカマシクナツテ來テ居ルト云フコトモ、無論ソレカラ來テ居ルノデアリマセウ、都會集中主義、是ハモウ範圍ノ非常ニ廣イ話デアルガ、一口ニ御話スレバ、其都會集中主義ト云フコトガ、兎角農村ノ荒廢ヲ招クト云フヤウナ一ツノ弊ヲ導イテ來タト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマスカラシテ、農村振興ト云フ聲ガ之ニ對シテ起ッタト云フコトモ偶然デハナイ、農林省ト致シマシテハ、無論此農村ノ振興ト云フコトニ對シテハ十分ノ努力ヲシナケレバナラニナルノハ無論ソレデアアル、農業政策ヲドウシテ居ルカト御尋ニナルノモ、矢張其趣意カラ來タノデアリマセウ、詰リ農村ノ振興ト云フ點ニ付キマシテハ、農林大臣トシテハ無論十分ニ努メナケレバナラヌト云フ決心ヲ持ッテ居ルノデアリマス、此事ヲ詳シク此席デ申スノハ、却テ其場所ヲ得ナイコトニナルデアリマセウカラシテ、ソレハ別ト致シマシテ、サウ云フ考ヲ持ッテ居ル、詰リ農業ノ保護、農業ノ生産ニ對スル保護ヲ全フシナケレバナラヌト云フ考ハ、私農林大臣トシテ深ク考ヘテ居ル、關稅改正ヲ企テルト云フコトニ付キマシテハ、矢張此方針デ臨ンデ居ル、ソレデ

アリマスカラシテ、無論、此農林省關係ノ品物、即チ農村ニ關係ノアル品物ハ澤山アリマス、農林省關係デ申スト云フト、農村ト云ヒ一方ニハ漁村ト云ヒマスガ、是ハ一緒ニシテ見テモ宜イ、或ハ山林ニ關係ノアル物モアル、サウ云フ物ハ澤山ニアルノデアリマス、是ハ何レ此案ヲ御覽下サレバ御分リニナルト信ズルノデアリマスルガ、要スルニ大體ノ方針ト云フモノハ、只今申シタ通りデアツテ、此農業ノ生産物ニ對シテハ、相當ノ保護ヲ加ヘナケレバナラヌト云フノハ其方針カラ割出シテアルノデアリマス、私ハ決シテ前刻ノヤウナ論ヲシテ、一般ノ國民ノ生活ヲ考ヘナケレバナラヌト云フ議論ヲスルカラト云ツテ、ソレデ農村ヲ輕シテ居ルト云フ意味デハナイ、ソレハ全體ノ關稅ノ稅率ヲ定メル上ニ付テ、此兩者間ノ調和ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ說ヲ唱ヘタノデアアル、要スルニ農業ノ政策トシテ、一般ノ農產物ニ對シテハ相當ノ保護ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ考ハ私持ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、所謂農村振興ト云フ農業政策カラ割出シタル大體ノ方針ハ、此關稅ノ改正ヲスルト云フコトニ付テモ私ハ動イテ居ルノデアリマセヌ、其方針ヲ以テ此關稅改正ニハ臨ンデ居ル、大體ハ之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○星島委員 私ノ質問ガ頗ル漠トシテ居リマシタカラ、モウ少シ具體的ニ申

上ゲヤウト思ヒマス、詰リ關稅改正ニ當リマシテ、農林當局ト致サレマシテ、此自由貿易主義デ以テドンドン安イ物ガ這入ッテ來レバ、日本ノ農村漁村ノ産業ハ興ラナイ、斯ウ云フ品物ノ關稅ヲ上ゲテ保護セヨト云フヤウナ政策ガ示サレテ此案ガ出來タカ、サウ云フ具體的ノモノデアリマス、詰リ用意デアリマス、改正案ニ對スル初メ政府ノ臨マルル一ツノ根本ノ思想デス、今一ツハ矢張是ハ非常ニ重大ナル影響ヲ持來スト思ヒマスルガ故ニ、其用意ガアッタダラウカ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、先程モ岡田サンカラ此問題ニ觸レラレタヤウデアリマスルガ、私ハ此最近ノ世界ノ思潮ト云ヒマスカ、國際關係ノ一ツノ傾向トシマシテ、各國所謂帝國主義的ニ固ツテ來居ル狀態ガ段々解ケテ、銘々ノ立場國柄ノ、詰リ地理的關係ニ於テ綜合的ニ固マリツ、アルト云フ狀態デアリマス、最モ其顯著ナル例ハ、先般アリマシタル彼ノ有名ナル「ロカルノ」ノ會議、是等ガアレ程佛蘭西ト獨逸トノ仲ノ惡カッタノガ、ドウシテモ歐洲一單位主義ニナツテ、喧嘩シテハ損ダト云フヤウナコトカラ、單ナル協約以外ニ、精神的ニ總テガ纏マリツ、アル、勿論其結果トシマシテ、或ハ伊太利ト獨逸ノ間ニ、或ハ伊太利ト埃地利ノ間ニ、或ハ獨逸ト白耳義ノ間ニ、各方面ノ箇々ノ協約、關稅條約等、色々ノ特惠條約ガ段々起ッテ來ルコト、思

フノデアリマスルガ、根本ノ思想ハ所謂歐洲一單位、或ハ亞米利加ト加奈陀——是ハ英國ガ茶々ヲ入レテ問題ニナラナカッタケレドモ、詰リ一單位ニナラテスルト云フヤウナ譯デ、日本ノ將來ハ東洋一單位トシテ、日本ノ相手ハ支那デアツテ、支那ト日本トハドウシテモ一單位デナケレバナラヌ、是ハ看過スベカラザル世界ノ流レデアリマシテ、實ニ文明史上ニ於ケル一大現象デア

ル、斯ウ云フ問題ガ起ッテ、而モ日本ノ議會ハ今日開會サレテ此問題ガ議セラレニ當ッテハ、政府ハ須ラク此根本ノ精神ヲ捉ヘテ以テ臨マナケレバナラヌ、支那ニ於テハ關稅會議ガ開カレテ居ル際ニ於テ、思想ノ流レハ東洋單一主義ニ向ッテ居ルト云フコトハ、是ハ當然免ルベカラザルモノデアツテ、又是ハ日本ノ國民民福カラ申シマシテモ、東洋平和カラ云ヒマシテモ、當然サウ行クベキモノト私ハ思フノデアリマ

スガ、サウスルト農產物ノ大部分ハ東洋カラ來ルノデ、特ニ佛領印度支那カラ來ルノガ一番近イノデアリマスルガ、關稅ノ改正ノ中ニ、サウ云フ根本思想ヲ入レマス際ニハ、或ハ日支關稅同盟トカ、或ハ日支關稅特別協約トカ申シマスカ、何カサウ云フヤウナ問題ガ現レ來ルコトヲ豫想サレテ、サウシテ此案ノ中ニ多少ノ手心ヲ加ヘラレテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、政府ノ根本ノ御方針ヲ伺ッテ見タイト思

フノデアリマス、大藏大臣ハ單ニ重ナル點ハ三點、即チ國民生活ノ安定、重要産業ノ保護及從價從量兩稅ノ均衡デアルト仰セラレタノデアリマスガ、私ガ前ニ述ベマシタヤウナ思想的背景ト云フヤウナモノヲ以テ、政府ハ今回ノ案ニ臨マレテ居ルモノデアアルカドウカト云フコトニ付キマシテ、若シ農林大臣ニ御答ガ出來マスレバ、此際御答辯ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○早速國務大臣 大體ノ方針ハ私モ繰返シテ申上ゲマシタガ、大藏大臣ガ此案ノ提案ノ理由トシテ説明ヲセラレタルアノ方針ガ、無論初メカラ動イテハ居ラヌノデアリマス、ソレ故ニ委員會ニ臨ムニ當リマシテモ、最初ニ於テ其大體ノ方針ト云フモノハ決定ヲシ來ッテ居ルノデ、其方針ノ下ニ調査ヲ進メルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、ドノ品物ハ關稅ヲ上ゲルトカ、ドノ品物ハ關稅ヲ下ゲルト云フヤウナコトヲ初カラ豫期シテ掛ツタ譯デアリマセヌ、其方針ノ下ニ、例ヘバ農林省トシテハ、農產物ニ付テハ大體斯ウ云フヤウナ方針ノ下ニ、此委員會ニモ臨マナケレバナラヌト云フコトハ定メテ掛ツテ居ル譯デアリマス、併シ何ノ品物ハドウスルト云フコトヲ色々調査シ、色々研究ヲシタ結果ニ依テ定マツタノデアリマスカラシテ、大體ノ方針ハ前ニ定メテ其方針ヲ貫イテ來タト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカ

ラ第二段ノ御尋ノ支那トノ關係デアリマスガ、御說ハ一應御尤デアリマスルケレドモ、是ハ先刻農林省ノ政府委員カラ申述ベラレタ通りデアリマシテ、支那ト日本トノ間ノ關稅ノ關係ト云フモノハ、此關稅會議ガアルガ爲ニ種々ノ經過ヲ經テ來テ居ルノデアリマスルガ、今回提出シテアル關稅ノ改正案ト云フモノモ、サウ云フコトヲ見越シテ居ルカドウカト云フヤウナ御尋ノヤウデアリマスルケレドモガ、此改正案ハ支那トノ關係ヲ今關稅會議ヲ開イテ居ルノデ、國際關係ガ斯ウナツテ來ルト云フヤウナコトヲ豫想シテ、斯様ニナツテ來ルト云フヤウナ其計畫ノ下ニ支那トノ關係ヲ想像シテ、此案ガ定マツテ居ルト云フ譯デアリナイノデアリマス、結論トシテ、支那トノ間ノ關稅ガ、或ハ其協定稅率ガドウナルカト云フヤウナ國際關係カラ割出サレテ、サウ云フコトヲ眼中ニ置イテ、此改正案ガ定マツタト云フ譯デアリナイノデアリマスカラ、左様御承知置ヲ願ヒマス

○星島委員 私が問ハント欲シマスル根本ノ心持ハ、政府ノ此法案ニ對スル用意、即チ只今マデノ御答辯ニ依リマスト、今回ノ改正案ハ噂ニ聞キマス、或ハ黑田主稅局長ノ下ニ、活神トカ、活字引ト言ハレルヤウナ方々ニ大體ハ委サレテ、大シテ大キナ問題デアリナイヤウニ思ハレテ居ルカノ如ク解セラレルノデアリマスガ、苟モ此様ナ大法案ヲ改

正セラレルニ當リマシテハ、少クトモ世界ノ大勢、或ハ國家ノ行クベキ方向、方針ノ下ニ確然タル目的ヲ立テ、農村ノ保護、農村ノ文化生活ヲ向上セシムベシト云フ決意ノ下ニ、農村關係ノ稅率ハ斯ク引上ゲルト云フ方針ノ下ニ仕事ヲヤツテ見ヤウト云フヤウナコトハ、初カラビタリト定メテ置カネバラヌ筈デアアル、或ハ東洋單一主義カラシテ、支那トノ物價問題ニ付テハ色ミ互讓的ノモノガアルダラウカラ、ソレニ付テハ斯ク々々ノ方針ヲ以テ進ムベキデアルト云フ大方針ヲ樹立シテ、其方針ノ範圍ニ於テセラル、ノガ宜シイト思フノデアリマス、何カ今回ノ改正ニ對シマシテハ、確然タル思想ヲ以テ臨ミ、此精神ニ反スルモノナラバ斷ジテ讓歩シナイト云フ信念ガアルト云フナラバ、吾々委員トシテモ一番光榮アル委員トシテ大ニヤラウト思フテ居リマシタガ、ソレガ無イト云フヤウナ風デ、何トナシニ腰ガ弱イノデアリマシテ、私ハ根本ノ信念ヲ問ウタノデアリマスガ、併ナガラ左様ナコトナレバ、私ハ農林大臣ニハ是レ以上答辯ヲ求メヤウトハ思ヒマセスガ、幸ニ外務省ノ次官ガ出ラレマシタカラ、此機會ニ於テ伺ヒマスルガ、簡單ニ申シマスレバ「ロカル」ノ會議タル、即チ歐洲單一主義——言葉ハ惡イカモ知レヌケレドモ、東洋單一主義、亞細亞單一主義ト申シマスカ、サウ云フ思想ガ最近ノ國際間ニ

現レテ居リマスルガ、延イテハ此關稅協約ノ點ニ付キマシテ、近キ將來ニ於テ日支互惠條約ト申シマスルカ、或ハ關稅同盟ト云フヤウナコトニ付テ、政府ハ既ニ別段ノ御用意ガアルヤ否ヤ、簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス。○外務次官出淵勝次君 只今ノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、只今星島君ノ仰セニナリマシタヤウナ東洋或ハ亞細亞ヲ一丸トシテ關稅同盟、或ハ支那ト日本トノ關稅同盟ト云フガ如キコトヲ、吾々ノ理想トシテハ個人トシテ考ヘル場合モアリマスルガ、現在實際問題トシテハ其程度ノコトヲ考ヘテ、日本ノ關稅率ヲ定メルト云フ場合ニハ勿論ナツテ居リマセヌ、唯先程モ岡田君ノ御質問ニ御答致シマシタガ、最近ノ支那ノ關稅會議ニ於キマシテ、日本ト支那トノ間ニ於テ、支那ガ自主權ヲ回復シタ後ニ於テ、協定稅率ヲ設ケル、互惠的ノ協定稅率ヲ設ケルト云フコトハ、支那ニ於キマシテモ日支兩國ノ共存共榮ノ必要ヲ認メテ初テ茲ニ爲シ得ルノデ、此精神ヲ將來ニ於テ更ニ擴大シ、又今回ノ協定稅率實施ノ曉ニ於テ、兩國共是ガ爲ニ非常ナル利益ヲ發見致シタ際ニ於テ、或ハ將來ニ於テ日支ノ間ニ更ニ關稅上有利ナル協約ノ如キモノガ出來ル機會ガナイデハナイカト思ヒマス、併シ是ハ只今カラ全ク豫想ノ出來ナイ事デアリマシテ、唯吾々ト致シマシテハ、尠クトモ支那ト日本トノ間ニ

於テ物質ヲ有無相通ズル關係ヲ一層便利ニシタイト云フコトハ考ヘテ居リマス。○星島委員 私ノ農林大臣、商工大臣ニ對スル質問ハ保留致シマス。○加藤委員長 他ニ大藏大臣ニ對スル質疑ノ申込デスガ、大藏大臣ハ明日午前十時カラ……。○長田委員 私ハ農林大臣ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、一言御聽シテモ宜シウゴザイマス。○加藤委員長 宜シウゴザイマス。○長田委員 只今星島君ノ御尋ニ依テ、稍私共ノ伺ハント欲スル所ニ御質問ガ觸レタノデアリマスガ、私ノ一言伺ツテ置キタイノハ、實ハ多年農林、商工、兩省ノ獨立ヲ圖ツテ、農林省ノ出來上ツタ場合ニ、此疲弊セル農村ノ管理者トシテ、農林大臣ハ必ズ農產物ノ關稅等ニ對シテ農民ノ期待ニ副フヤウナ御答辯ヲ得ルコトト確信シテ居タノデアリマス、然ルニ只今マデノ御答ヲ伺ツテ見レバ、勿論農民モ深ク遺憾ニ思フコトデアラウト私ハ信ジテ居リマス、實ハ此農產物ノ關稅問題ニ付キマシテハ、農林省ノ獨立以前カラ兎角世間ノ一部ニモ誤解ガアリ、殊ニ此關稅ヲ御協議ニナツテ居ル大藏省ノ中ニ大ナル隔ガ横ツテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ッタノデアリマス、故ニ農林省ガ假令獨立致シマシテモ、大藏省内ノ農產物關稅ニ對スル隔ニ向ツテ大ナル「メ

ス」ヲ加ヘナケレバ、此目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトヲ吾々聞及ンデ居ッタノデアリマス、併ナガラ此隔ニ「メス」ヲ當テル方法ハドウシタラバ宜イカト云フコトハ、此農產物關稅ヲ心配シテ居ル者ノ頭カラ離レルコトノ出來ナイ平素ノ心配デアツタ、即チ昨年ノ五十議會ニ於キマシテ所謂三派、ソレニ無所屬ノ方ミガ御加ハリニナリマシテ、農村振興ノ問題ヲ建議案トシテ出シマシタ際ニ、既ニ其中ノ一部トシテ農產物ノ關稅改正、即チ建議案ニ書キマシタ文字トシテハ米麥其他農產物關稅ノ引上ト云フ文字ヲ加ヘテ來タノデアリマスケレドモ、從來カラアル隔ニ向ツテ「メス」ヲ加ヘナケレバナラスト考ヘタカラ、其米麥其他農產物關稅ノ引上ノ建議案ハ、態々同ジ形式ヲ取ツテ別々ニ出シマシタ、憲政會ハ筆頭ニ加ハリ、政友會、革新俱樂部、無所屬ノ方ミ十五名ガ提出者トナツテ、幸ニ委員長加藤君モ此提出者ノ中ニ加ハツテ、其他小山君初メ武内君——當時マダ御任官ニナツテ居ラナカッタ方ミガ皆賛成者ノ中ニ這入ツテ居ラレマス、斯様ニ致シテ議會ノ有様ヲ見マスルト、此數ハ三百八名ノ多キニ達シテ居リマス、殘餘ノ本黨ノ方ミト雖モ提出ノ際ノ行懸リ上違ツタ建議案ヲ出シテ居ラレマスケレドモ、其精神ニ於テハ其當時ト雖モ御反對デハナカッタ、所謂議會全體——昨年ノ五十議會ノ狀態ニ於テハ議會全部

ノ纏マツタ意見ハ、國論トモ輿論トモ言ッ
テ宜イ程ノ形式ヲ以テ建議案ヲ提出シ
タ、無論即決可決デアリマス、而モ其意
味ハ年來大藏省ニ蟠屈スル癌ニ向ッテ、
輿論カラ言ヘバ消費者ヲ保護スル爲ニ
生産者ノ一部ニハ我慢ヲシテ貫ハナケ
レバナラヌト云フヤウナ議論ヲ唱ヘル
コトノ出来ナイヤウニ、大ナル癌ニ向ッ
テ「メス」ヲ取ツタノデアル故ニ此建議
ヲ受ケタル農林大臣ハ、此輿論ヲ背景
トシテ大藏省ニ年來蟠屈スル毛ノ生エ
タル癌ニ向ッテ大ナル「メス」ヲ加ヘラレ
ルコトト信ジテ居ッタ、然ルニ豈圖ラン
ヤ主タル農産物ノ關稅ハ全部其儘デ、
否、寧ロ引上ゲテ居ラレル、實ニ意外千
萬デ、輿論ノ背景ガアツテモ切ルコトノ
出来ナイ癌ハ他ニドウシテ切ルコトガ
出来マセウ、私ハ農村民三百萬ノ爲ニ
此癌ニ向ッテ怨ミヲ申サナケレバナラ
ヌ、只今星島君ハ内容ヲ詳シク御尋ニ
ナリマセヌデシタガ、關稅委員會ト云
フ大藏省內ノ組織及之ニ出席モラレタ
方ニ御名前ヲ、此場合伺フコトガ出
來レバ仕合ト存ジマス、又其内容ヲ伺
フコトガ出來レバ結構デアリマス、之
ヲ伺ッテ對策ヲ講ズルコトガ出來ナケ
レバ、私共年來三百萬ノ農村民ニ代ッテ
解決シヤウト思ッテモ、到底此問題ハ解
決ガ出來ナイト思ヒマス、故加藤總理
大臣ノ御任官以來、二回ノ加藏內閣及
其間ニ於ケル大ナル問題トシテ、農村
問題ハ農商務省カラ農林省ノ獨立ニ依

テ片付キマシタ、又農村振興ニ對スル
起源ヲ御作リニナツタコトハ此內閣ノ
賜デアリマス、又米穀ノ價格調節ハ其
機能上ニ付テハ反對アルニ拘ラズ成
功デアルト思フノデアリマスガ、ソレ
モ此內閣ノ力ニ依テ完成スルコトガ出
來タ、農村民ハ此內閣ニ期待スル所大
ナルモノガアルノデアリマス、然ルニ
主タル要求ノ一部、即チ農産物關稅ノ
引キ上ガ一ツ殘ッタ爲ニ、是コソ此內閣
ノ力ニ依テ成功ガ出來ルト信ジテ居ッ
タノデアリマスガ、ソレガ成功スルコ
トガ出來ナイデ此原案ガ出タノデアリ
マスカラ、將來如何ナル方法ヲ取ルカ農
民ハ惑フト思ヒマス、ソレデ私ハ此場
合ニ於テ農林大臣ガ御執リニナツタ方
法ト、其癌ノ内容ノ如何ヲ忌憚ナク御話
下サルコトヲ切ニ希望スル者デアリマ
ス

○早速國務大臣 農産物ノ關稅ニ關シ
テ此議會ノ意見ガ表明サレタコトハ私
承知シテ居リマス、之ニ關シテ多年色
色ノ御意見ヲ立テラレタト云フコトニ
付テ私之ヲ承知シナイト云フ譯デハナ
イノデアリマス、諸君ノ御意見ガ直ニ
今回ノ關稅改正案ニ現レルコトガ出來
ナカッタト云フコトハ、勿論遺憾ノ至リ
デアリマスケレドモ、併シ是ハ必シモ
大藏省ガ斯様ナ事ヲシタノデ、農林省
ガ手ヲ著ケナカッタト云フヤウナ事情
デハゴザイマセヌ、是ハ前カラ度々申
シマシタヤウナ方針ノ下ニ此關稅改正

案ガ成立ッダノデアリマス、別ニ此事ニ
關シテ意見ヲ申上ゲル譯デハナイノデ
アリマス、關稅ノ改正、關稅ノ問題ニ關
シテ大藏省ニ應スベカラザル癌ガアッ
タトハ信ジナイノデアリマス、而シテ
農林省ガ叩付ケニ行カナケレバナラヌ
トハ私共考ヘテ居リマセヌ、段々先刻
申シマス通りニ、關稅改正ヲスルニ付
テハ餘程審議ヲ凝ラシタノデアリマ
ス、ソレハ農林省モ、商工省モ、大藏省
モ、外務省モ、ソレト關係當局者ガ相
集マツテ、詰リ一體ノ方針ノ下ニ十分ニ
調査研究ヲ遂ゲタト云フ譯ナノデアリ
マスカラ、其結果ガ此案ニナツタ、希望
スル方カラ言ハ、此稅率ヲ舉ゲテ貫フ
積リデアッタガ、此案ニ於テハ上ッテ居
ラヌカラ甚ダ遺憾デアアル、此稅ハ安ク
シテ貫フ積リデアッタガ、此案ニハ安ク
ナッテ居ラヌカラ憤慨ニ堪ヘヌト云フ
コトモ、ソレハ種々アルデアリマセウ、
農産物保護ニ關スル大體ノ方針ハ、私
ガ度々繰返シテ申シヤウニ、保護スル
ト云フ點ニ於テ諸君ト意見ヲ異ニシテ
居ル譯デハナイ、併ナガラ一般ニ於テ
方針トシテ多數國民ノ生活ノ安定ト云
フコトモ考ヘナケレバナラヌガ爲ニ、
此結果双方ノ調和ヲ取ッテ此案ガ出來
タト云フコトヲ説明致シタノデアリマ
ス、サウ云フヤウナ意義ニ於テ此案ガ
出來タノデアリマスカラ、必シモ委員
會ノ一部分ニ一種ノ間違ッタ議論ヲス
ル者ガ居ッテ、ソレガ爲ニ斯様ニナツタ

ト云フ事情デハナイト云フコトダケハ
御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、委員
ノ名前ハソレハ公ケニナツテ居ルノデ
アリマスカラシテ、大藏省ノ方カラデ
モ委員ノ名前ヲ申上ゲルコトハ出來ナ
イ譯デハナイガ、委員會デドウ云フ議
論ガアツテ、或ハ農林省ノ委員ガ大藏省
ノ委員ト爭ヒヤウガ足ラナカッタトカ
云フ御考ヲ抱イテ下スツテハ迷惑ナノ
デアッテ、決シテサウ云フ譯デモナイノ
デアリマス、ソレデ委員會ノ其審議ノ
内容ハ、實際ニ於テ之ヲ申上ゲル譯ニハ
行カナイノデアリマスカラ、是ハ御了
承ヲ願ヒタイノデアリマス、要スルニ
大體ノ方針ハ、是マデ繰返シテ申シタ
方針ノ下ニ出來タノデアリマスカラシ
テ、多數ノ諸君ノ意見ガアツテ、其意見
ヲ全部容レルコトガ出來ナカッタコト
ハ遺憾ニ存ジマスケレドモ、併シ大體
ノ方針ノ下ニ此案ガ決定サレタノデア
レバ蓋シ已ムヲ得ヌノデアリマス、ド
ウゾ其點ハ繰返シテ私ガ申シタコトヲ
能ク御了承下サルコトヲ希望スルノデ
アリマス

○永田委員 一寸外務省ノ政府委員ニ
御伺シタイ、此中ニ伊太利協定モアリ
マスガ、國定稅率ヲ作ッテモ協定稅率ノ
適用ヲ受ケナケレバ實際ノ效果ハ現ハ
レナイノデアリマス、苟モ國定稅率ノ
改廢ヲ行ッテ居リマスル以上ハ、是ガ成
ベク近イ時日ノ間ニ實現サレベキモノ
デアリ、又實現サセルト云フ御趣旨デ

アッタノダラウト信ズルノデアリマスガ、ソレニ對シテドウ云フ御考デアリマシタカ、又現在ノ御考ト本案通過後ノ御決心ヲ承テ置キタイノデアリマス

ト致シマシテハ出來ルダケ協定ノ品目ヲ少クシ、或ハ之ヲ別ニシタイト考ヘテ居リマス

ニ或ハ委員會ヲ設ケマシテ稅率ノ上下ヲスルト云フヤウナコトモ、是ハ一ツノ方法デアラウカト思ヒマスガ、議會ノ閉會中ニ於キマシテ急速ニ稅率ヲ變更シナケレバナラヌ、而モソレガ公安ニ關係スルト云フ必要ノアリマス場合ニハ、緊急勅令ニ依マシテサウ云フコトモ出來得ルノデアリマスカラ、必シモ議會ノ閉會中ニ於テ急速ニ此稅率ヲ動サナクチャナラスト云フ場合ハ極メテ少イコトデアアラウト思フノデアリマス、又元來是等ノ稅率ト云フモノハ國民ノ負擔ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボスモノデアリマスカラ、憲法ニ於キマシテモ法律ヲ定メルト云フコトニナツテ居ルコトノ必要ガ餘リナイト云フモノニ付キマシテ、特ニ其權限ヲ委任ヲ受ケテ、サウシテ重大ナ影響ヲ及ボシマスモノヲ委員會ノ調査ニ依テ直ニ變更スルト云フコトハ、却テ穩デナイデハナカラウカト云フ風ナ考モアルノデアリマス、ソレデ前同申上ゲマシタヤウニ、委員會ヲ常設シテ置キマシテ、稅率適用ノ上ニ於テ實際ノ適用狀況ヲ常ニ調査致シマシテ、若シ是ガ實際ニ適合シナイヤウナ狀況ニ至リマシタ時分ニハ、十分ニ之ヲ調査致シマシテ、近キ議會ニ提案シテ御協賛ヲ仰イデ變更スルト云フコトガ適當デハナカラウカト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、ソレナラバ只今御尋ノヤウニ大藏省ノ主稅局ニ

○矢吹政府委員 伊太利トノ協定問題ニ付キマシテハ御承知トハ存ジマス

○永田委員 先般伺ヒマシタガ、關稅常設委員會ノ其内容ハ、何レ出來マスレバハッキリ致シマセウガ、世間デ伺ヒマスニハ、或ル程度ノ稅率ノ高ヲ法律

於テ當然ヤツテ居ルコトデハナイカト云フ御話デアリマスガ、寔ニ御尤ノコトデアリマシテ、勿論主稅局ニ於キマシテ常ニ調査ハ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此事ハ大藏省ノミデハ決定ガ出來ナイノデアリマシテ、御承知

○矢吹政府委員 伊太利トノ協定問題ニ付キマシテハ御承知トハ存ジマスガ、只今ノ所先年以來新シク日伊ノ間ニ通商條約ヲ結ブコトニ付キマシテ、羅馬ニ居リマス日本ノ大使ハ伊太利政府ト目下交渉中デアリマス而シテ我國カラ主張シテ居リマス羽二重ヲ除ク外ノ絹織物ニ對シテノ最惠國條款適用等ノコトニ對シテ、伊太利政府ハマダ承認ヲ與ヘズ、異議ヲ唱ヘテ居リマス、隨テ新シイ通商條約ノ締結ト云フ所マデハマダ參ラナイノデアリマス、併ナガラ早晚ハ其域ニ達スベキコトト考ヘテ居リマス、所デ御尋ノ今回ノ國定稅率ノ改正ニ當ツテ、伊太利トノ協定サレテ居ル部分ニ付テハ如何ニスルカト云フ點デアリマスガ、是ハ出來ルダケ今回ノ新シキ國定稅率ノ施行ニ依リマシテ伊太利トノ協定ノ範圍ヲ狹メ、或ハ全然無クスルト云フコトノ交渉ヲ以テ參リタイノデアリマス、併ナガラ又双方トモ協定スルト云フ方針ノ下ニ、何等カ日本モ讓ル所ガナケレバナラスト云フヤウナ意味ニ於テ、此國定稅率ノ中ニ只今ノ伊太利カラ輸入サルベキ商品ニ付テ協定ヲ爲スノ已ムヲ得ザル場合ガアルカモ知レマセヌ、希望

○矢吹政府委員 伊太利トノ協定問題ニ付キマシテハ御承知トハ存ジマスガ、只今ノ所先年以來新シク日伊ノ間ニ通商條約ヲ結ブコトニ付キマシテ、羅馬ニ居リマス日本ノ大使ハ伊太利政府ト目下交渉中デアリマス而シテ我國カラ主張シテ居リマス羽二重ヲ除ク外ノ絹織物ニ對シテノ最惠國條款適用等ノコトニ對シテ、伊太利政府ハマダ承認ヲ與ヘズ、異議ヲ唱ヘテ居リマス、隨テ新シイ通商條約ノ締結ト云フ所マデハマダ參ラナイノデアリマス、併ナガラ早晚ハ其域ニ達スベキコトト考ヘテ居リマス、所デ御尋ノ今回ノ國定稅率ノ改正ニ當ツテ、伊太利トノ協定サレテ居ル部分ニ付テハ如何ニスルカト云フ點デアリマスガ、是ハ出來ルダケ今回ノ新シキ國定稅率ノ施行ニ依リマシテ伊太利トノ協定ノ範圍ヲ狹メ、或ハ全然無クスルト云フコトノ交渉ヲ以テ參リタイノデアリマス、併ナガラ又双方トモ協定スルト云フ方針ノ下ニ、何等カ日本モ讓ル所ガナケレバナラスト云フヤウナ意味ニ於テ、此國定稅率ノ中ニ只今ノ伊太利カラ輸入サルベキ商品ニ付テ協定ヲ爲スノ已ムヲ得ザル場合ガアルカモ知レマセヌ、希望

○矢吹政府委員 伊太利トノ協定問題ニ付キマシテハ御承知トハ存ジマスガ、只今ノ所先年以來新シク日伊ノ間ニ通商條約ヲ結ブコトニ付キマシテ、羅馬ニ居リマス日本ノ大使ハ伊太利政府ト目下交渉中デアリマス而シテ我國カラ主張シテ居リマス羽二重ヲ除ク外ノ絹織物ニ對シテノ最惠國條款適用等ノコトニ對シテ、伊太利政府ハマダ承認ヲ與ヘズ、異議ヲ唱ヘテ居リマス、隨テ新シイ通商條約ノ締結ト云フ所マデハマダ參ラナイノデアリマス、併ナガラ早晚ハ其域ニ達スベキコトト考ヘテ居リマス、所デ御尋ノ今回ノ國定稅率ノ改正ニ當ツテ、伊太利トノ協定サレテ居ル部分ニ付テハ如何ニスルカト云フ點デアリマスガ、是ハ出來ルダケ今回ノ新シキ國定稅率ノ施行ニ依リマシテ伊太利トノ協定ノ範圍ヲ狹メ、或ハ全然無クスルト云フコトノ交渉ヲ以テ參リタイノデアリマス、併ナガラ又双方トモ協定スルト云フ方針ノ下ニ、何等カ日本モ讓ル所ガナケレバナラスト云フヤウナ意味ニ於テ、此國定稅率ノ中ニ只今ノ伊太利カラ輸入サルベキ商品ニ付テ協定ヲ爲スノ已ムヲ得ザル場合ガアルカモ知レマセヌ、希望

マシタナラバ、其組織權限等ハ更ニ定
メラレルコト、考ヘルノデアリマス
レドモ、今申上ゲマシタヤウニ途中ニ
於テ税率ノ變更マデ此委員會ニ權限ヲ
與ヘマスト云フコトハ、聊カ穩デナイ
ノデハナカラウカト云フ考ヲ持ツ次第
デアリマス

○永田委員 是ハ只今政友會ノ御方カ
ラモ御聽ニナッタコトデスガ、今度ノ改
正ニ對シテ稅ノ盛リ方、是レ々々ノ產
業ヲ確立スル爲ニ斯ウスルト云フコト
ヲ御決メニナツテ今度ノ稅率ガ設ケラ
レタ譯デアリマスガ、其稅率ヲ設ケラ
レルニ當ッテ此產業ハ一ツ保護シテ行
カウ、斯ウ云フ保護シテ行カウ或ハシ
ナイト云フ考ヲ起シタ基礎ガ何所ニ在
ルカ、之ヲ端的ニ申シマスレバ、政府デ
御考ニナツテ俺達ハサウ思フカラ是デ
宜カラウト斯ウ仰シヤルノカ、或ハソ
レゾレノ產業ニ從事シテ居ル當業者ガ
斯ウ々々云フ風ニ考ヘテ居ルト云フコ
トヲ數年間當局ニ陳情シテ居ルカラ、
ソレモ參考ニスルノダ、陳情シテハ居
ルガソレハ間違ッテ居ルカラ一向取ル
ニ足ラヌト云フノデアルカ、是ハ澤山
ノ稅種ノ中デアルカラ色ミアリマセウ
ガ、此中ニ見通スコトノ出來ナイ一ツ
ノ事ガ私ハアラウト思フ、公式ノ公的
ノ意味ニ於テ見通スコトノ出來ナイモ
ノガアル、ソレハ詰リ議會ニ現レタ議
會ノ意思デアラウト私ハ思フ、即チ請
願ノ形ニ於キ、或ハ建議案ノ形ニ於キ、

或ハ法律案ノ形ニ於テ、サウシテ茲ニ
議會ガ此意思ヲ發表ヲ致シテ居ル、
是ガ四十二年以來今日ニ至ッテ少クナ
イ品目ニ上ッテ居ルト私ハ思ウテ居ル、
無論十年モ前ノモノヲ今日活カシテ、
サウシテ之ヲ議會ノ意思ナリト云フ譯
ニハ參リマスマイガ、年々若モ是ガ引
續イテ居ルヤウナモノガアレバ、是ハ
明ニ議會ノ意思ダト云フコトヲ見ナケ
レバナラヌト思フ、サウシテ斯ウ云フ
形式ニ於テ現レタル意思ト云フモノ
ハ、是ハ當業者ノ陳情ヤ、或ハ學者ノ議
論ト事ガ違ッテ、取扱方ヲ異ニシナケレ
バナラナイ、斯様ニ私ハ思ッテ居ル、故
ニ今回ノ改正ニ當リマシテ、當局ニ於
キマシテハ此點ニ付テハドウ云フ風ナ
御考ノ下ニ御取扱ニナラレタカ、端的
ニ此點ヲ伺ッテ見タイ

○黒田政府委員 此調査ヲ致シマスル
ニ際シマシテハ勿論議會ニ於キマシテ或
ハ建議、或ハ請願ト云フ風ナ形ニ於テ
色ミ御意見ガ出テ居リマスルモノハ、
勿論十分ニ參考ニ致シマシタノデアリ
マス、又民間ニ於キマシテ色ミナ請願
ガ出テ居リマス、或ハ色ミナ際ニ於キ
マシテ意見ガ出テ居リマス云フモノ
モ十分ニ參考ニ致シマシテ、ソレゾレ
關係ノ省ニ於キマシテ、或ハ商工省、或
ハ農林省等ニ於キマシテ十分ニソレ等
ノ點ニ付テ調査ヲ致シタノデアリマ
ス、其結果ヲ委員會ニ提案ヲ致シマシ
テ、サウシテ委員會ニ於キマシテ十分

ニ議論ヲナシ、質問モアリ、又更ニ調査
モスル、色ミ調査ヲ重ネマシテ、其結果
ガ茲ニ現レマシタヤウナモノニナッタ
ノデアリマス、決シテ色ミナ形ニ於テ
現レテ居リマス所ノ意見ハ、勿論是ハ無
視シテ顧ミナカッタト云フ次第デハ毫
モナイノデアリマス、ソレニ又意見ガ
出テ居リマセヌデモ、政府ニ於テ色ミ
調査研究シマシタ結果トシテ、相當ノ
稅率ヲ盛ッテサウシテ之ヲ起スノガ必
要ダト云フモノモ無論這入ッテ居リマ
スガ、苟モ形ニ於テ現レテ居リマス意
見ハ勿論十分參考ニ致シマシテ、其結
果委員會ニ於キマシテ色ミ研究ノ結果
ガココニナッタノデアリマスカラ、決シ
テ無視シテ居ルト云フ風ナ次第デハナ
イノデゴザイマス

○永田委員 簡單デスガ、不當廉賣ノ
コトガ大分世ノ中ニヤカマシウゴザイ
マスカラ、此第五條ノ——是ハ各論ニ
讓ッテモ宜シウゴザイマスガ、是ハ總體
ノモノト思ヒマスガ、今度ハ更ニ手ヲ
御着ケニナツテ居ラヌヤウデアリマス
ガ、此點ヲ御説明ヲ願ッテ置キタイ思
ヒマス

○黒田政府委員 工業ヲ獎勵スル爲メ
又發達セシムル爲メ外國カラ輸入致シ
マス物ニ對シテ相當ナル制限ヲ設ケマ
スト云フト、折角内地デ發達シツツア
ル工業又ハ產業是等ノモノガ中途デ優
勝劣敗、挫折サレタリ、或ハ又力ニ於テ
比較的外國品ガ優良デ、又廉價デ、而シ

テ便宜ニ出來テ居ルヤウナ品物ガアル
ノデアリマス、是等ノ品物ニ對シテ内
地ニ於テ何ト申シマシタ所デ、是等ノ
同種類又ハ類似ノ種類ノ物ニ對シマシ
テハ相當ニ發達サセナケレバナラヌ、
サウデナイト云フト、ドウシテモ日本
ノ將來ノ工業ノ發展ト云フモノハ望ム
コトハ出來マセヌ、併ナガラ永田君モ
御承知ノ通りニ商賣ノ事デアリマスカ
ラ、動トモスルト云フト、向フハ大キイ
資本ト商賣ノ懸引ノ上手ト、此關係ニ
於テ所謂捨賣、投賣ヲ致シマシテ、内地
ノ同一種類又ハ類似ノ種類ノ發達ノ氣
勢ヲ殺ギ、或ハ其發達ヲ妨ゲ、終ニ餘儀
ナク内地ノ此工業者ヲシテ止メサセル
ヤウナ所ノコトガアルノデアリマス、
此點ニ付テハ當業者ハ非常ニ打撃ヲ被
リ、又大ニ苦心ヲスルノデアリマス、當
局ト致シマシテモ商工業發達ノ爲メ非
常ニ注意致シマシテ、此不當廉賣ニ對シ
テ如何ニシタナラハ投資、賣崩ニ對シ
テノ取締ガ出來ルカ、適當ニ順調ニ日
本ノ工業ヲ發達セシムル色ミ方法ニ付
テ苦心ヲ重ネマシタガ、外國ニ於テモ
此不當廉賣取締ニ對シテハ方法ハ幾種
モアリマスガ、倍ソレヲ直ニ採ッテ以テ
之ヲ雛形トシテ實行スルト云フコトモ
色ミ支障ヲ生ズルノデアリマス、是ニ
於テ此點ニ付テハ商工省ト致シマシテ
ハ屢會議ヲ致シサウシテ色ミ苦心ヲシ
タノデアリマスガ、未ダ此不當廉賣ニ
對スル確定的ノ成案ハアリマセヌガ、

午後四時三十一分散會

兎モ角大體ニ於キマシテハ外國カラ輸入致シマス其品物ニ對シテ、所謂外國ノ本國ニ於ケル生産費用、或ハ運送費用、是等ノモノヲ調査シテ、果シテ適當ナル時價デアレバ是ハ已ムヲ得マセヌガ、内地ノ産業ヲ打崩ス爲ニ所謂投資等ノ行爲ニ出ルヤウナコトガアッタナラバ、之ニ對シテ相當ノ方法ヲ講ズル、此意味合ニ於テ今商工省ト致シマシテハ其方法ヲ攻究中デアリマス、サウシテ成ベク内地ノ是ヨリ發達セントスル工業ニ對シテ、サウシテ完全ニ順調ニ進歩セシムルヤウニ、政府ト致シマシテハ助長セシムル考デ居ルノデアリマス、而シテ其具體案ニ至リマシテハ未ダ確定的ニナツテ居リマセヌカラ、今此所デドウ云フ案デドウ云フ方法デアルト云フコトヲ逐條的ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、併シ大體ノ方針ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタ通りニ外國ノ生産費、運賃、是等ヲ加算シテ、サウシテ大體ノ目安ニスル考デアリマス、殊ニ今日行ハレテ居ル所ハ多クハ生産費モ構ハズ、運賃モ構ハズ、ウント日本内地ノ物ヲ打壞ス爲ニ非常ニ安ク賣ルノデアリマス、是ガ爲ニ非常ニ迷惑ヲ被ッテ居ル者モアルノデアリマスカラ、此點ニ付テハ相當考慮ヲスル考デアリマス

○加藤委員長 今日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ——大藏大臣ガ出席サレマス